hp psc 2550 photosmart all-in-one

リファレンス
ガイド

hp psc 2550 photosmart all-in-one

この製品は米国 4,558,302 特許権を取った LZW インプリメンテーションを含んでいる Adobe の PDF 技術を組み込んでいます。

Adobe および Acrobat のロゴは、米国やその他の国 / 地域における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

Apple、Apple のロゴ、Mac、Mac のロゴ、Macintosh、および Mac OS は、米国およびその他の国 / 地域で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。

出版番号：Q3093-90200

初版：2003 年 7 月

アメリカ、ドイツ、シンガポールまたはマレーシアで印刷

Windows®、Windows NT®、Windows ME®、Windows XP®、および Windows 2000® は米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Intel® および Pentium® は、Intel Corporation の登録商標です。

注意

本書に記載されている内容は事前の通知なしに変更されることがあり、Hewlett-Packard Company がその内容を保証するものではありません。

Hewlett-Packard は本書の内容に瑕疵があった場合でもそれについて責任を負いません。また、特定目的のための市場商品力および適合性に関する暗黙の保証を含め、ただしこれに限らず、本製品の内容に関する明示的あるいは暗黙の保証もいたしません。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

ご注意：規制情報は本ガイドの「技術情報」という章に記載されています。

多くの地域において、次のものをコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：
  - 郵便切手
  - 食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズ チェック、郵便為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報

警告！ 発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

警告！ 感電の危険性があります

1. セットアップ ポスタに記述されている指示すべてをお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2. 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5. 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6. 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7. だれかが電源コードを踏みつけたりつまずいたりすることのない、また電源コードが損傷することのない、安全な場所に本製品を設置してください。
8. 本製品が正常に動作しない場合については、オンラインヘルプのトラブルシューティングの項を参照してください。
9. お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10. 風通しのよいところでご使用ください。

目次

ヘルプ情報

このリファレンス ガイドでは HP PSC の使用方法を説明し、インストールに役立つトラブルシューティングについて補足します。また、サプライ品とアクセサリの注文方法、技術仕様、サポート、保証に関する情報についても説明します。

以下の表は、HP PSC についての補足説明をまとめたものです。

ヘルプ	説明
製品ツアー	製品ツアーには、HP PSC の概要と機能が説明されています。このため、この製品をすぐに使用することができます。この製品ツアーは HP PSC ソフトウェアをインストール後すぐに使用できます。また、後からいつでも開くことができます。その場合は製品ごとのオンライン ヘルプを参照してください。
HP フォト イメージング ヘルプ	HP フォト イメージング ヘルプには、HP PSC 用ソフトウェアの使用方法が詳しく説明されています。 **Windows ユーザーの場合** : **[HP ディレクタ]** から、**[ヘルプ]** をクリックします。 **Macintosh ユーザーの場合** : **[HP ディレクタ]** から、**[ヘルプ]** をクリックし、**[HP フォト イメージング ヘルプ]** をクリックします。
トラブルシューティング ヘルプ	トラブルシューティングに関する情報を表示するには、**[HP ディレクタ]** から **[ヘルプ]** をクリックします。[HP フォト イメージング ヘルプ] のトラブルシューティングを開き、総合トラブルシューティングのリンクを辿るか、ご使用の HP PSC に関するトラブルシューティング ヘルプのリンクを辿ってください。またトラブルシューティングは、エラー メッセージに表示される **[ヘルプ]** ボタンを押すことでも開けることがあります。本リファレンス ガイドの「トラブルシューティング」の章で説明しています。
インターネット上のヘルプと技術サポート	インターネットにアクセス可能な場合は、次の HP Web サイトからヘルプ情報を入手することができます **www.hp.com/jp/hho** この Web サイトには、よくある質問に対する回答も掲載されています。
Readme ファイル	ソフトウェアをインストールすると、HP PSC CD-ROM または HP PSC プログラム フォルダのいずれからでも Readme ファイルがあれば Readme ファイルを表示できます。Readme ファイルには、このリファレンス ガイドやオンライン ヘルプにまだ載っていない最新情報が掲載されています。

ヘルプ	説明
ダイアログボックスヘルプ (Windows のみ)	**Windows の場合** : その機能の説明を表示するには、次のいずれかを実行してください。 • その機能を右クリックする • その機能を選択してから、**[F1]** を押す • 右上にある **[?]** を選択してから、その機能をクリックする

メニューの概要

次の図は、HP PSC のカラー グラフィック ディスプレイに表示されるメニューの一覧を示したものです。

コピー

1. フチなし
2. 縮小 / 拡大
3. コピー品質
4. 用紙サイズ
5. 用紙の種類
6. 薄く / 濃く
7. 強調
8. 色の濃さ
9. 新しいデフォルトの設定

スキャン

1. HP フォト イメージング ギャラリ
2. HP Instant Share
3. メモリ カード

注意 : このメニューの内容は、コンピュータから使用できるスキャン先の数によって異なります。

フォト

1. 部数
2. フチなし
3. 画像サイズ
4. 用紙サイズ
5. 用紙の種類
6. レイアウト スタイル
7. フチとフレーム
8. コンピュータへ転送
9. HP Instant Share

0. 新しいデフォルトの設定

ファクス

1. 解像度
2. 薄く / 濃く
3. 新しいデフォルトの設定

スライド ショー

注意 : このボタンを押すと、フォト メモリ カード内のすべての写真をカラー グラフィック ディスプレイに連続表示します。

E メール

注意 : このボタンを押すと、現在表示している写真をコンピュータの HP フォト イメージング ギャラリにアップロードします。適切な電子メール アドレスを入力すれば、その写真を電子メールで送信できます。

回転

注意：このボタンを押すと、カラー グラフィック ディスプレイに表示している写真を 90 度回転します。続けて押すと、写真を 90 度ずつ回転します。

フォト シート

1. フォト シートの印刷
2. フォト シートのスキャン

セットアップ

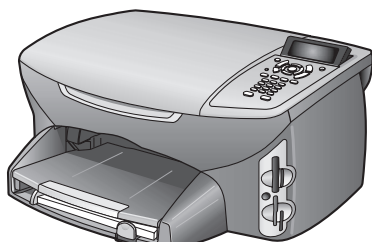
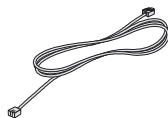
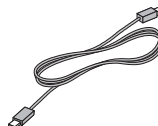
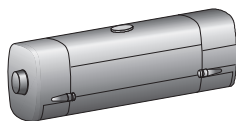
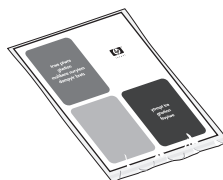
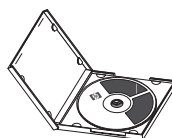
1. レポートの印刷
2. 短縮ダイヤルのセットアップ
3. ファクスの基本的な設定
4. ファクスの詳細設定
5. ツール
6. ネットワーク
7. プリファレンス

梱包内容と機能部品

このセクションでは、HP PSC と機能部分に含まれる項目について説明します。

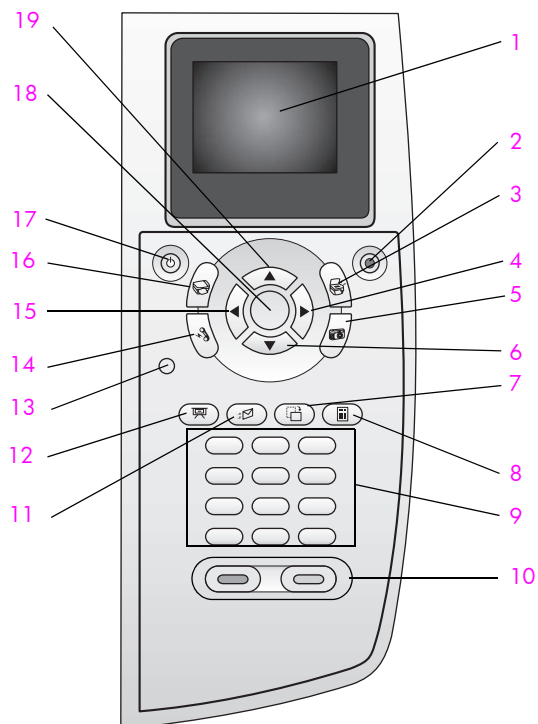
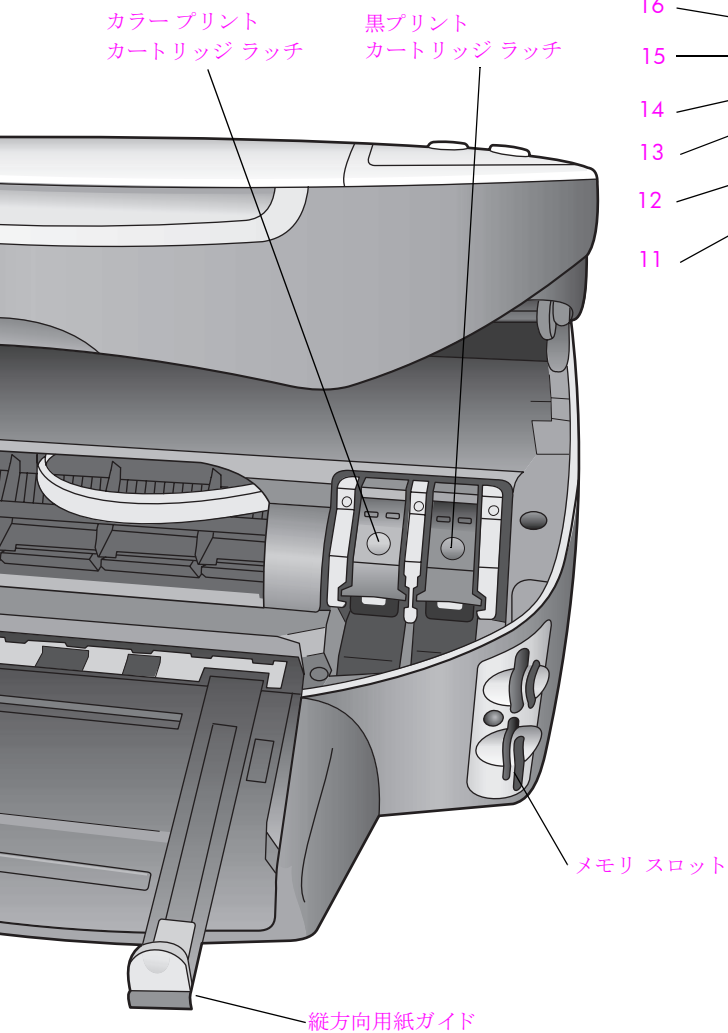
梱包内容

梱包を開き、次のすべてのアイテムがあることを確認してください。アイテムがないか、または壊れている場合、カスタマ ケア センターに連絡してください。

> **ご注意:** プリンタを輸送する必要が生じた場合に備え、梱包材料はすべて保存しておいてください。

> **ご注意:** USB ケーブルを接続する前に、HP PSC 2400/2500 Series CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入してください。

機能部品

コピー ガラス カバー
コピー ガラス
原稿をここに
セットしてください
電源コネクタ
USB ポート
電話と留守番電話用
プラグ差込み口
横方向用紙ガイド

1 カラーグラフィックディスプレイ
2 キャンセル
3 スキャン
4 右向き矢印
5 フォト
6 下向き矢印
7 回転
8 フォト シート
9 キーパッド
10 スタート モノクロ、カラー
11 **E** メール
12 スライド ショー
13 セットアップ
14 ファクス
15 左向き矢印
16 コピー
17 **On**
18 **OK**
19 上向き矢印

1 セットアップ

all-in-one ユニットをセットアップするには、CD-ROM にあるソフトウェアをインストールして、HP PSC 自体をセットアップする必要があります。次の手順を順序どおりに行ってください。USB ケーブルは、指示があるまで接続しないでください。ソフトウェアが正しくインストールできない恐れがあります。箱の梱包内容と、システム要件を確認してください。

このセクションでは PC のセットアップ方法について説明します。Macintosh の場合は、21 ページの「Mac のセットアップ」を参照してください。

> **ご注意：** HP PSC を接続する場合は、『ネットワーク セットアップ ガイド』も参照してください。

PC のセットアップ

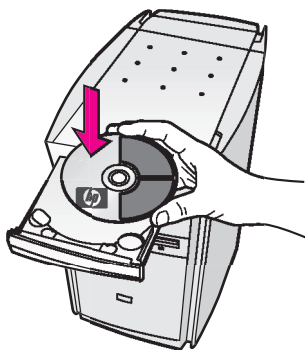
1 コンピュータの電源を入れます。

a. コンピュータの電源を入れ、Windows のディスクトップが表示されるまで待ちます。

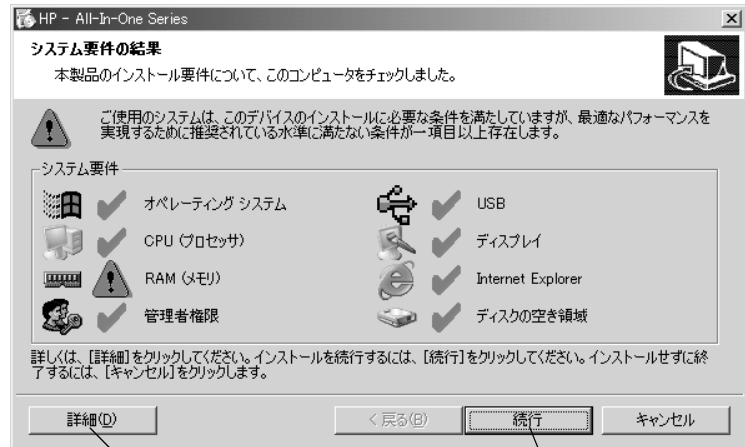
b. ウィルスソフトや常駐関連の動作中のプログラムをすべて閉じます。

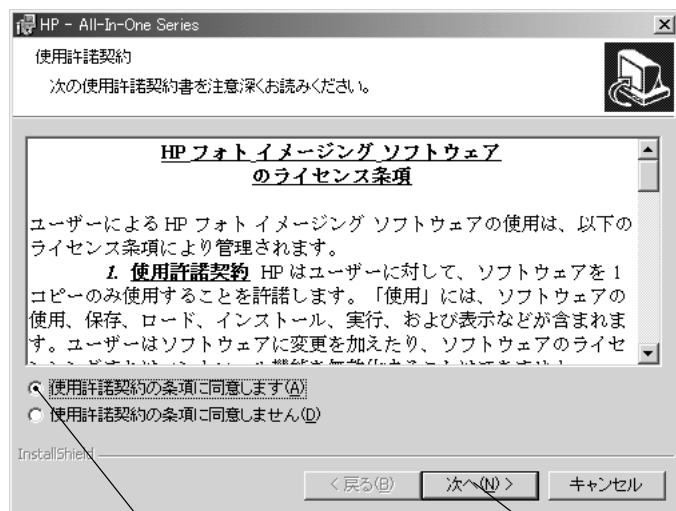
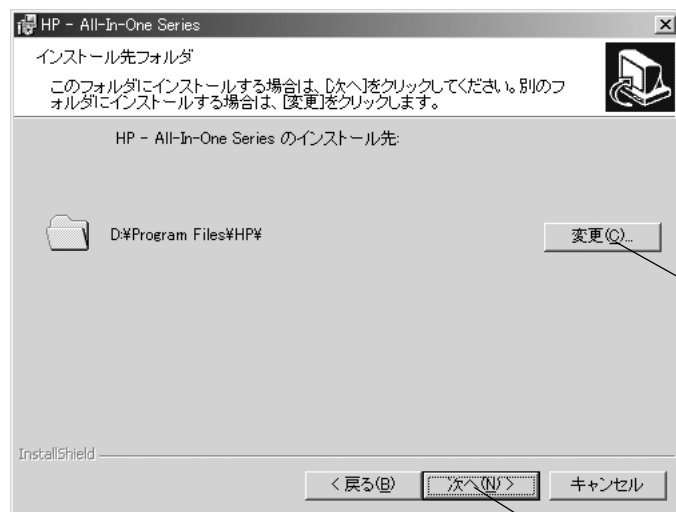
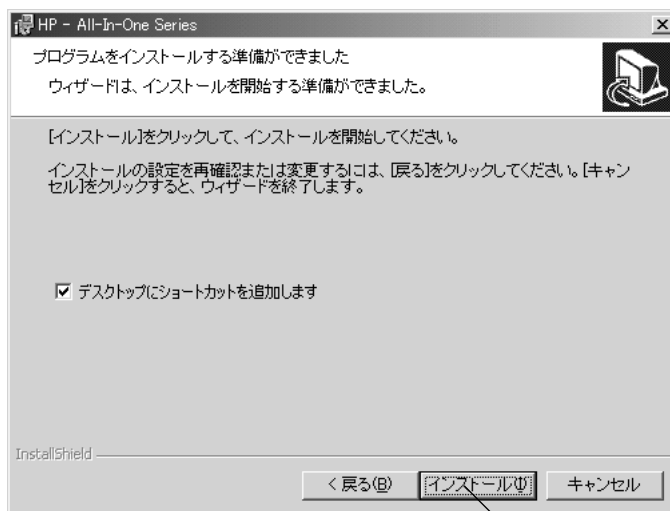
2 ソフトウェアのインストールを開始します。

a. HP PSC Windows CD を挿入します。

b. 画面上の指示に従って操作します。

ご注意： CD 挿入後にソフトウェアがコンピュータの画面上に表示されない場合は、CD 上の setup.exe を検索し、このファイルをダブルクリックします。

c. USB ケーブルはまだ接続しないでください。6 ページの [デバイスを今すぐセットアップする] 画面が表示されたら、ステップ **hp psc をセットアップ**に進みます。

3 **[次へ]** をクリックします。
[システム用件の結果] 画面が表示されます。

4 いずれかの項目の横に黄色の三角が表示される場合は、**[詳細]** ボタンをクリックして詳しい情報を入手してください。それ以外は、**[続行]** をクリックします。

[使用許諾契約] が表示されます。

5　すべての項目を注意して読み終わると、**[使用許諾契約の条項に同意します]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。

6 [次へ] をクリックして、デフォルトのフォルダにインストールします。または、[変更] をクリックして別のフォルダにインストールし、[次へ] をクリックします。

7 [インストール] ボタンをクリックします。
[接続タイプ] 画面が表示されます。

8 [このコンピュータに直接接続] を選択して、[次へ] をクリックします。「ネットワークを介して接続」については『ネットワークのセットアップガイド』を参照してください。

ソフトウェアのインストールが始まります。

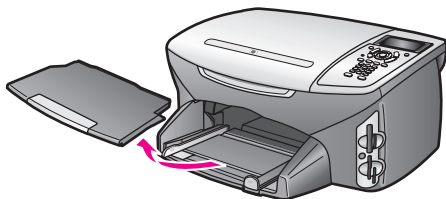
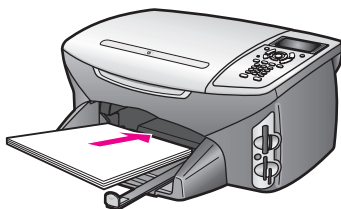
ご注意： ソフトウェアのインストールには、システムの環境によりおおよそ　20 分から 1 時間程度かかります。

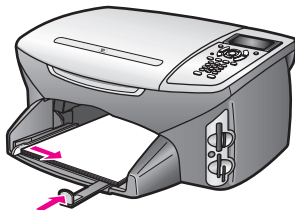
ソフトウェアのインストールが完了したら、デバイスのセットアップウィザードが表示します。

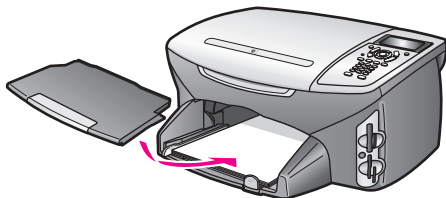
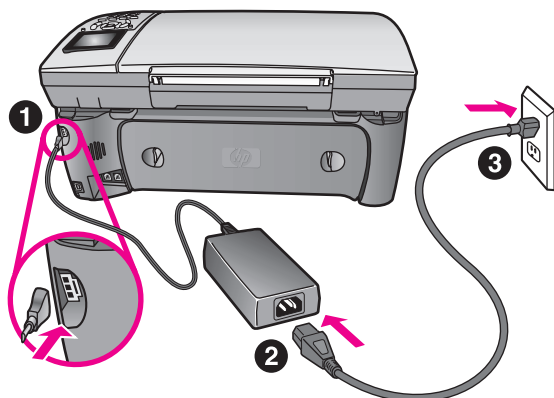
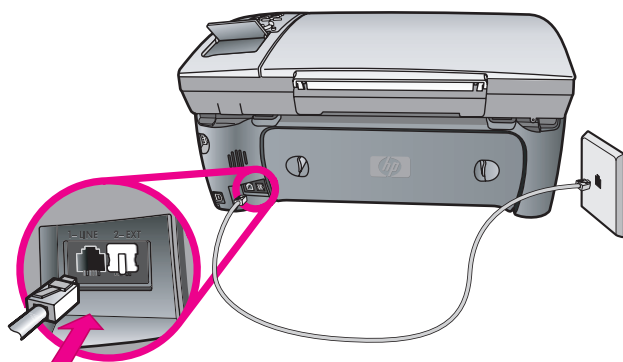
9 電源コードと USB ケーブルを接続し、次のセクション **hp psc をセットアップ**の説明に従って、設備をセットアップ、電源をオンにします。

hp psc をセットアップ

1 次の手順に従って、用紙をセットしてください。

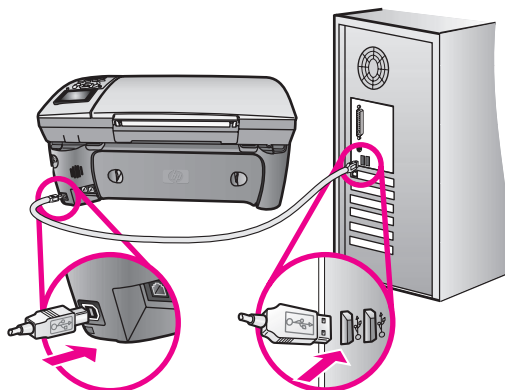
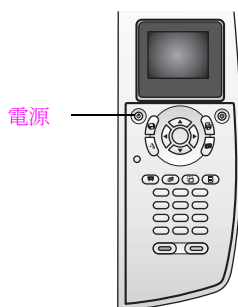
a. トレイを取り外します。

b. 用紙ガイドを引き出し、用紙をセットします。

ご注意： 調整ページを印刷するために白い普通紙をセットします。

c. 用紙ガイドを用紙にあわせて、ゆっくり押し込みます。

ヒント： 調整ページを印刷するために白い普通紙をセットします。

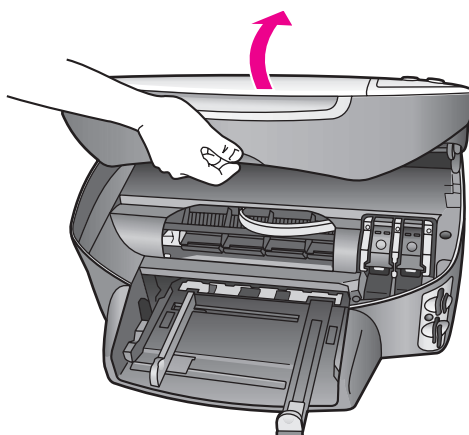
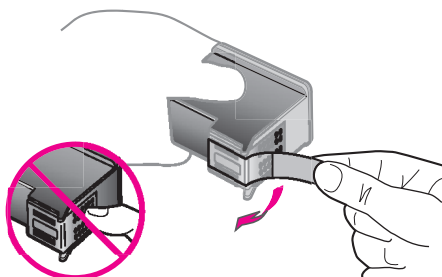
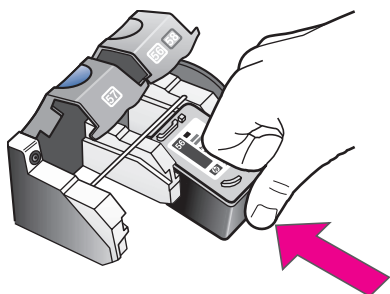
d. 排紙トレイを元に戻します。

2 電源コードを接続します。

3 電話コードを接続します。

a. ファクスを使用する場合は付属の電話コードを左側の電話ジャック (1-LINE) に接続します。

b. 他の装置を接続するか、別のコードを使用するには、159 ページの「ファクスのセットアップ」を参照してください。

4 USB ケーブルを接続します (Windows の場合のみ)。

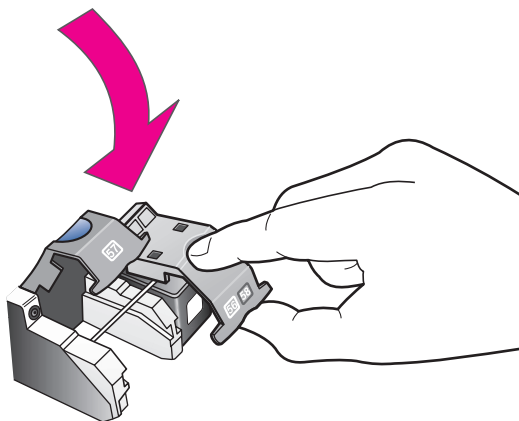
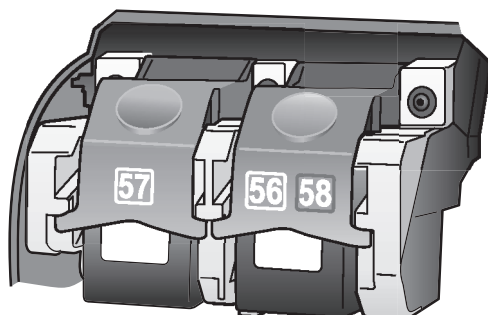
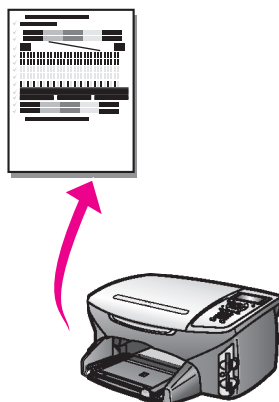
ご注意： USB ケーブルを接続する前に、デバイス設定画面が表示されていることを確認します。USB ケーブルは、キーボードには接続しないでください。

5 HP PSC の電源をオンにします。

プリント カートリッジの挿入と調整

ご注意： HP PSC 内の梱包材が、すべて取り除かれていることを確認します。

1 電源がオンになっていることを確認してください。プリント キャリッジの扉をラッチが留まるまで持ち上げます。青とグレーのラッチを上げます。

2 両方のプリント カートリッジから明るいピンク色のテープを剥がします。金色の接点に触ったり、テープを貼り付け直したりしないでください。

3 黒プリント カートリッジを、HP ラベルを上にして持ちます。カートリッジを右側（グレーのラッチ）のプリント キャリッジにスライドさせて取り付けます。

- 58 ページの 「フォト シートをスキャンしてビデオ アクション プリント を作成する」

ヒント： フォト プリント カートリッジを使用することで、HP PSC で印刷する写真の品質を最適化することができます。黒プリント カートリッジを取り外して代わりにフォト プリント カートリッジをセットしてください。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをセットすることで 6 色インクシステムが実現され、写真の品質が向上します。通常のテキスト文書を印刷するには、黒プリント カートリッジを元に戻してください。

詳しくは、119 ページの 「消耗品の注文」を参照してください。

4 所定の位置にロックされるまで、グレーのラッチを押し込みます。カラー カートリッジを左側に挿入し、所定の位置にロックします。

5 両方のラッチが所定の位置に固定されていることを確認してください。プリント カートリッジ交換用カバーを閉じます。

6 フロントパネルの **[OK]** ボタンを押し、調整を開始します。一ページが印刷されたら、調整は完了しました。

7 ハードウェアの設定が完了しました。コンピュータに戻ってください。

ソフトウェアのセットアップを終了する

ご使用のオペレーティング システムの説明については、次に示します。

windows Me/2000/XP の場合

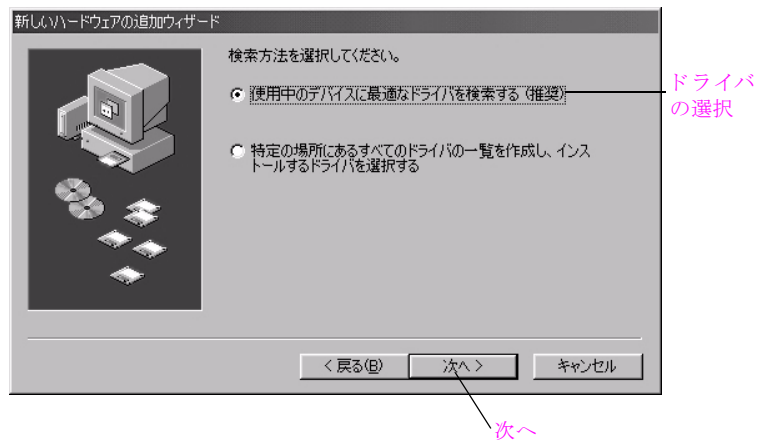
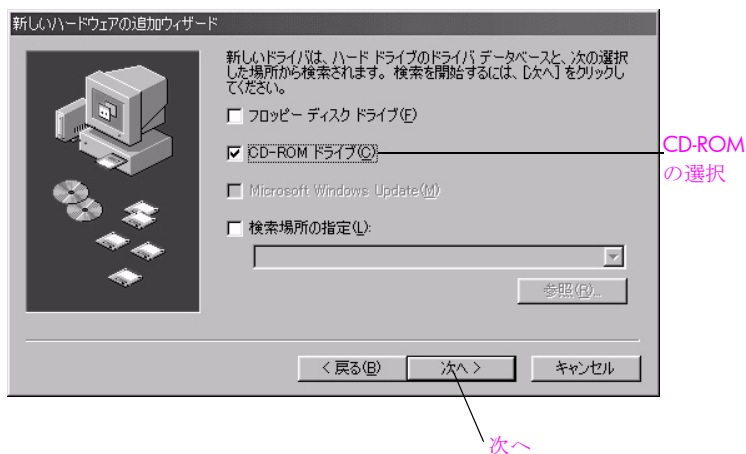
緑のチェックマークを持つダイアログ ボックスが表示されます。

1 **[次へ]** をクリックします。
システムによっては、ソフトウェアのインストールが終了するまで 20 分から 1 時間程度かかることがあります。

2 **[再起動]** ダイアログボックスが表示されると、**[再起動]** をクリックしてください。

windows 98 の場合

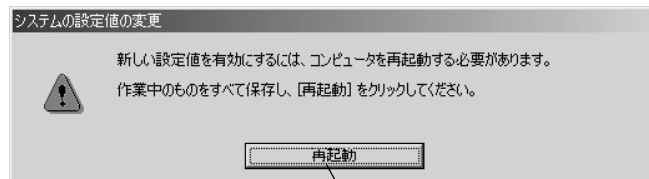
Windows 98 に次の画面が表示されます。

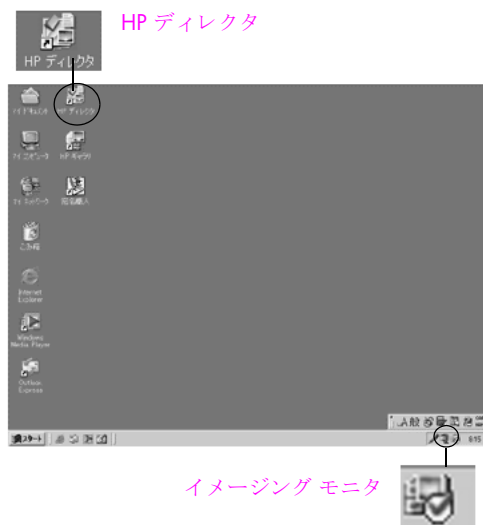
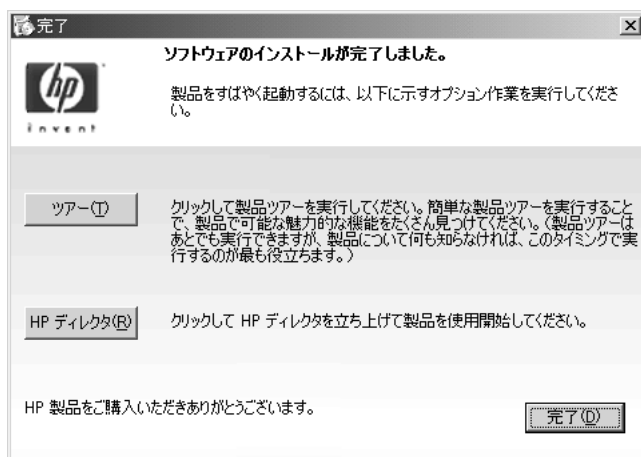
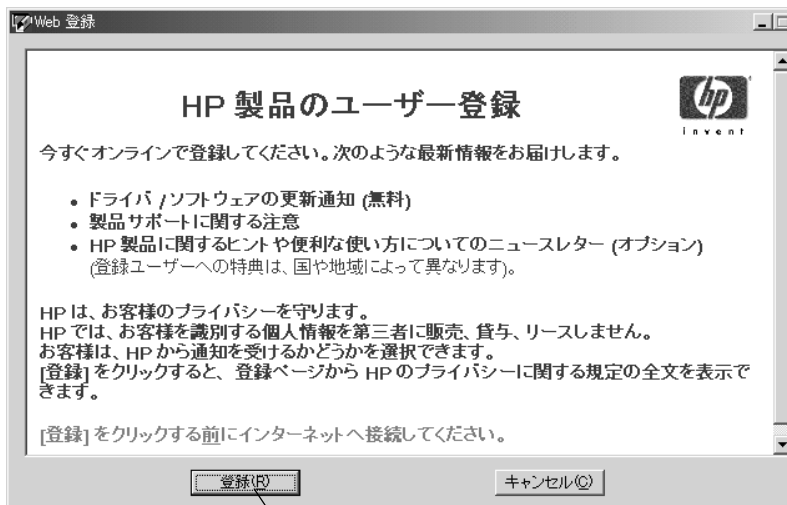
1 **[次へ]** をクリックします。

2 ドライバを選択して、**［次へ］** をクリックします。推奨されるドライバが強調表示されます。

3 CD-ROM ドライブ チェックボックスだけを選択して、**[次へ]** をクリックします。

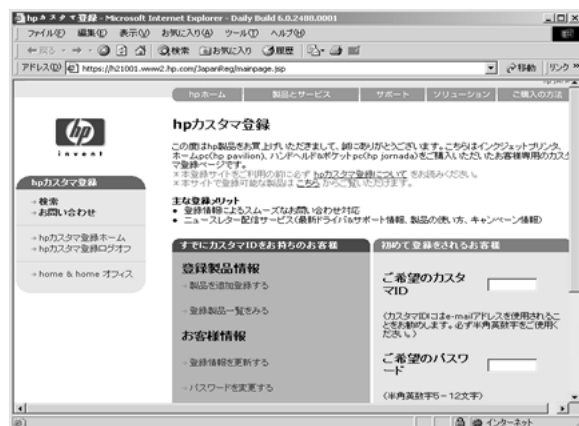
4 **[次へ]** をクリックします。

5 **[完了]** をクリックします。

いくつかの追加ソフトウェアが、コンピュータにコピーされます。

次の画面が表示されると、**[再起動]** をクリックします。再起動後にインストールは続行されます。

注意！ 再起動するとき、CD-ROM をコンピュータから取り出さないでください。CD-ROM を取り出すと、インストールが正常に終了しなくなります。

HP イメージング ディレクタへのショートカットがデスクトップ上に表示され、hp psc のアイコンが画面右下のタスク バーに追加されます。

コンピュータを再起動したら、ファクス セットアップ ウィザードが表示されます。画面上の指示に従って操作します。**[完了]** ダイアログ ボックスが表示されると、HP PSC を使用する準備が整ったことになります。ファクスのセットアップは「キャンセル」してもインストール後に HP ディレクターから行うことができます。ファクスの設定については 18 ページを参照してください。

登録

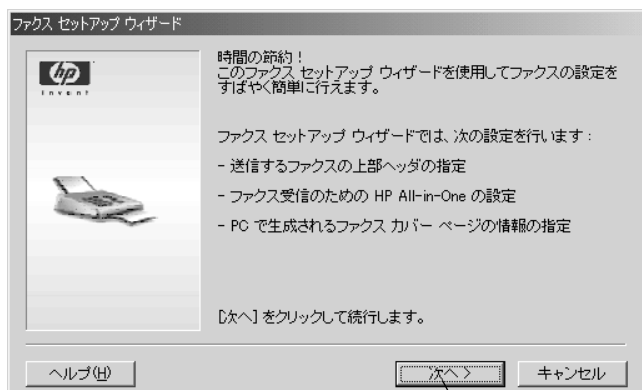
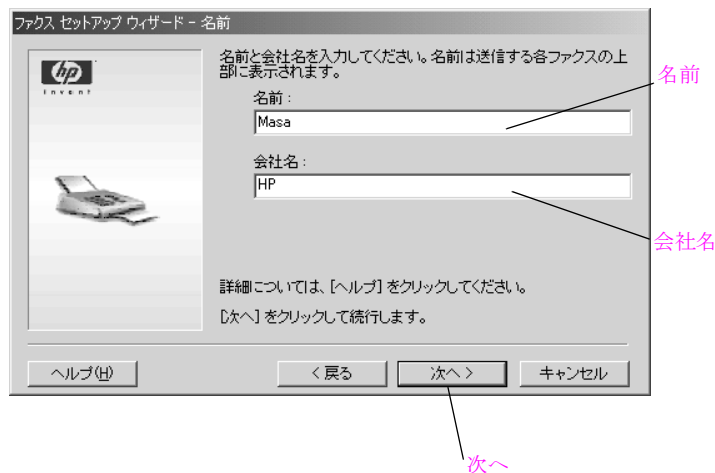
1 **[登録]** をクリックすると、オンライン登録に進みます。
HP は製品のオンライン登録をお勧めします。製品を登録すると、HP の最新ニュースやキャンペーン情報、サポート情報などを受け取ることができます。

ご注意： Windows プログラム メニューを使えば、製品をいつでも登録できます。

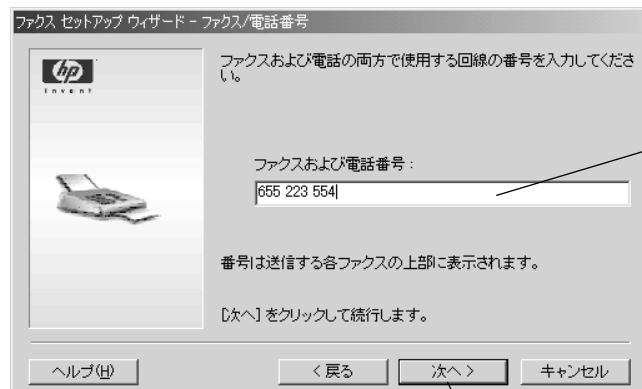
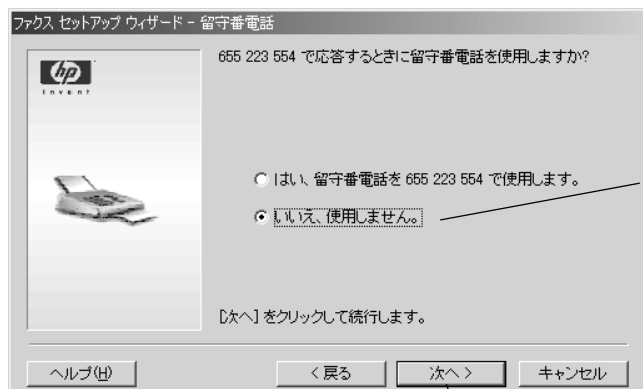
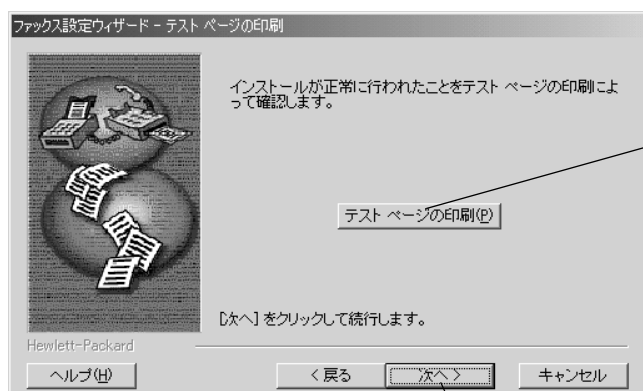
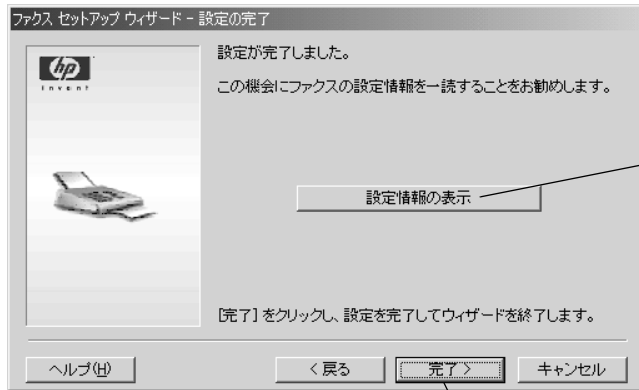
これでソフトウェアのインストールが完了します。CD-ROM をコンピュータから取り出してください。

セットアップ

ファクスをセットアップして 製品ツアーを実行する

画面の指示に従って、自分の名前、電話番号やその他の重要な設定を入力します。

新しい HP PSC について知りたいときは製品ツアーを実行してください。

1 **[次へ]** をクリックします。[名前] 画面が表示します。

2 お名前や会社の名前を入力して、**[次へ]** をクリックします。
[電話回線] 画面が表示されます。

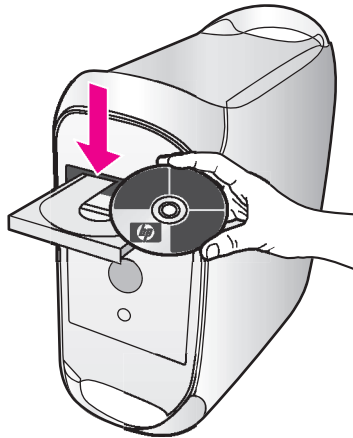
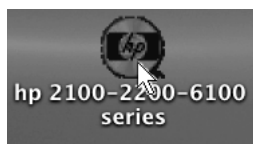
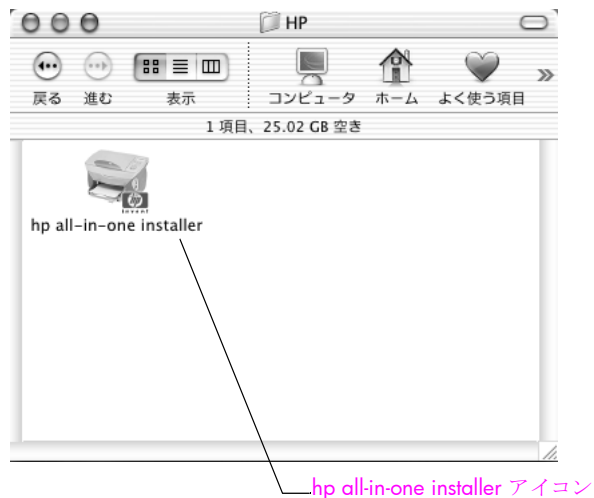
3 別の回線を使用して、ファクスと電話を受信する場合は、**[はい]** を選択します。それ以外の場合は、**[いいえ]** を選択します。それから **[次へ]** をクリックします。

4 ファクスと電話番号を入力します。それから **[次へ]** をクリックします。

5 留守番電話またはボイスメールをファクス回線に使用する場合は、[はい] を選択して、[次へ] をクリックします。使用しない場合は、[いいえ] を選択して、[次へ] をクリックします。

6 テストページを印刷する場合は、[テスト ページの印刷] をクリックして、 [次へ] をクリックします。これは、ソフトウェアが正常にインストールされたかを検証します。テストページを印刷しない場合は、[次へ] をクリックするだけです。

7　セットアップ情報を表示するには、[設定情報の表示] ボタンをクリックして、[完了] をクリックします。入力したすべてのセットアップ情報を示すテキスト ファイルが表示されます。これらの情報を表示しない場合は、[完了] をクリックするだけです。

　登録ページが表示されます。詳しくは、17 ページの 「登録」を参照してください。

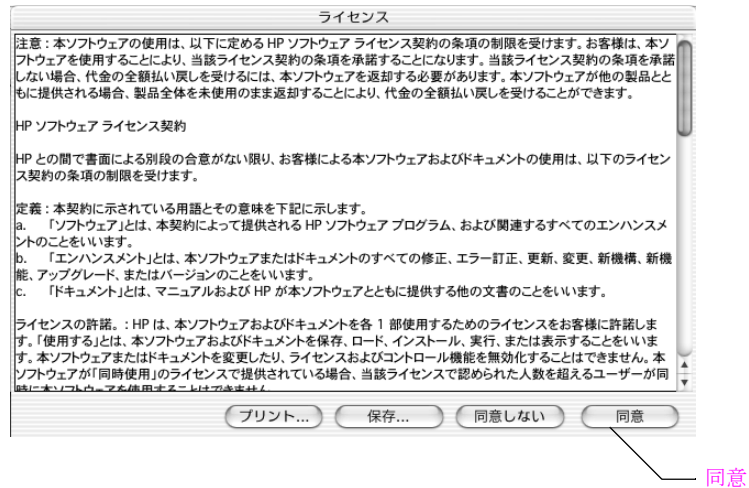
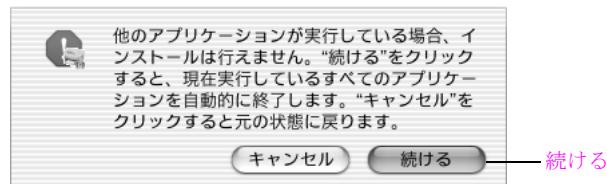
Mac のセットアップ

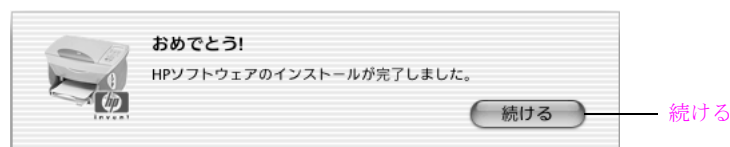
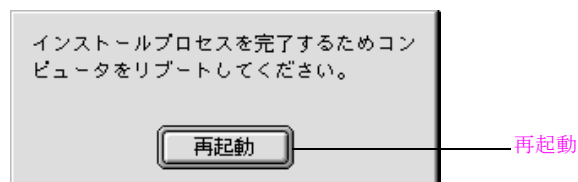
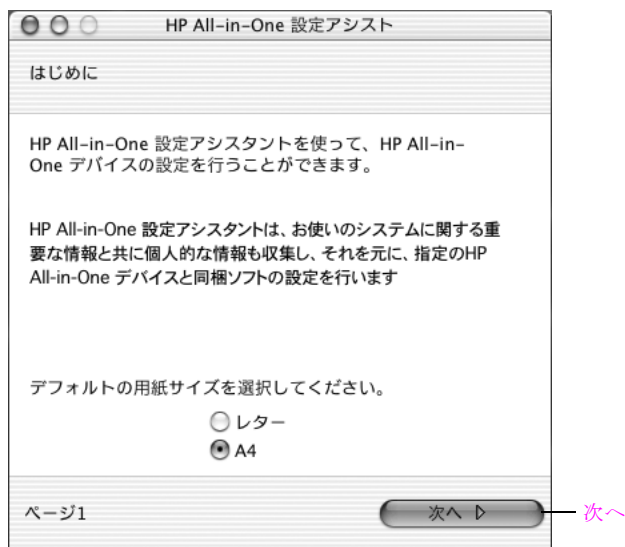
1　Macintosh ソフトウェアのインストールを開始する前に 7 ページののデバイスセットアップの手順を完了してください。

　ご注意 : USB ケーブルが接続されていることを確認してください。

2　CD-ROM を挿入します。

hp HP PSC アイコンがデスクトップに表示されます。

3 デスクトップで hp アイコンをダブルクリックします。
インストーラウィンドウを開きます。

4 ［hp all-in-one installer］アイコンをダブルクリックします。
OS X の場合、[認証] ダイアログボックスが表示されます。OS 9 の場合、ステップ 5 のダイアログボックスが表示されます。

5 名前とパスワードまたはフレーズを入力して、**[OK]** をクリックします。
次のダイアログ ボックスが表示されます。

6 **[psc 2550 series]** を選択して、**[続ける]** をクリックします。
[ライセンス] が表示されます。

7 ライセンス同意書を読み、**[同意]** をクリックして、先に進みます。
起動中のすべてのプログラムを閉じるよう、警告が表示されます。

8 [続ける] をクリックします。
ほかのプログラムはすべて終了します。([キャンセル] ボタンを押すと、ファイルを何もインストールせずにインストールを中止します。)
インストールが始まります。

OS X の場合、インストールが完了したら、次の画面が表示されます。

OS 9 では、コンピュータを再起動するよう要求されます。

9 OS X では、[続ける] を、OS 9 では、[再起動] をクリックして、システムを再起動してください。
hp all-in-one 設定アシストの 1 ページ目が表示されます。

10 デフォルトの用紙サイズを選択して、**［次へ］**をクリックします。
設定アシストの 2 ページ目が表示されます。

ソフトウェアはデバイスを検索します。デフォルトの設定は [USB (直接接続)] です。ネットワーク経由でプリンタに接続する場合、[TCP/IP(ネットワーク)] を選択してください。ソフトウェアがデバイスを検出したとき、[psc 2550 Series] が一覧に表示されます。

ご注意： HP PSC が一覧に表示されなかった場合、プラグが繋がれて、スイッチがオンになっており、コンピュータに接続されているかを確認してください。それから **［USB を再度チェックします］**をクリックします。

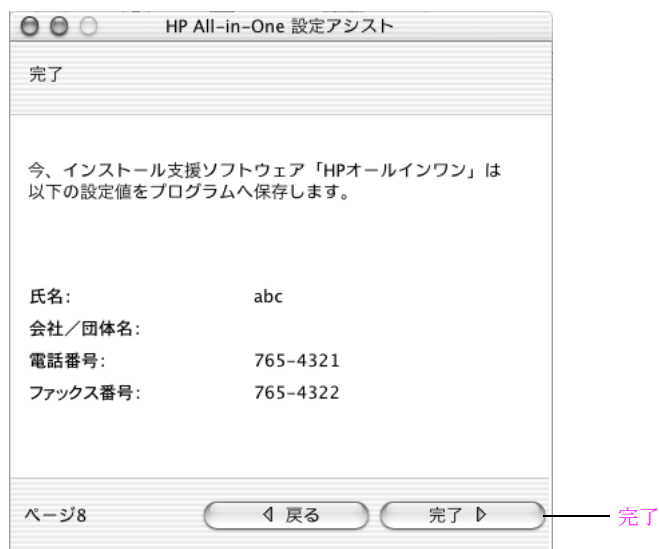
11 psc 2550 Series を選択して、［次へ］ をクリックします。
設定アシストの 3 ページ目が表示されます。

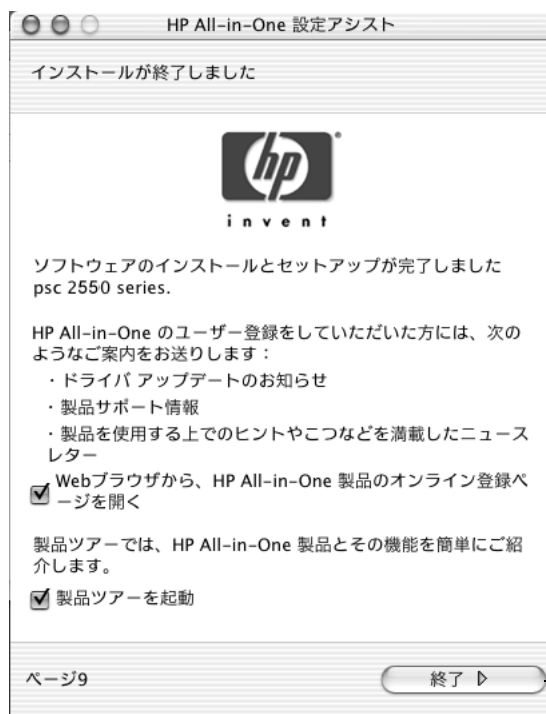
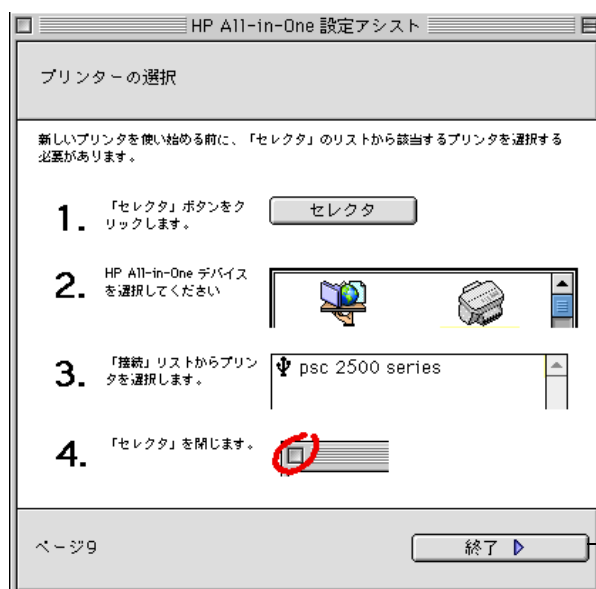
12 3 ページから 7 ページまで、必要情報を入力して、[次へ] をクリックします。
ページ 4 (外線):

ページ 5 (電話回線):

ページ 6 (ファクス番号):

ページ 7 (PC モデム):

ページ 7 で [次へ] をクリックすると、次の画面が表示され、入力したすべてのセットアップ情報を示します。

13 ページ 8 の［完了］をクリックします。

OS X の場合、設定アシストのページ 9 が表示されます。**[終了]** をクリックします。

OS 9 の場合、**[プリンターの選択]** ダイアログが表示されます。ダイアログボックスの内容を完了したら、**[終了]** をクリックします。

OS X または OS 9 で [終了] をクリックします。HP PSC 2400/ 2500 Series ツアーが表示されます。

14 新しい HP PSC について知りたいときは製品ツアーを実行してください。

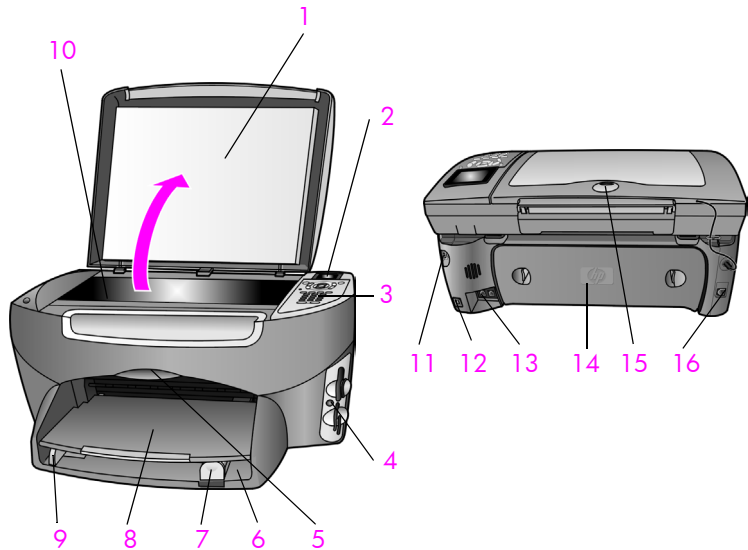
2 hp psc の概要

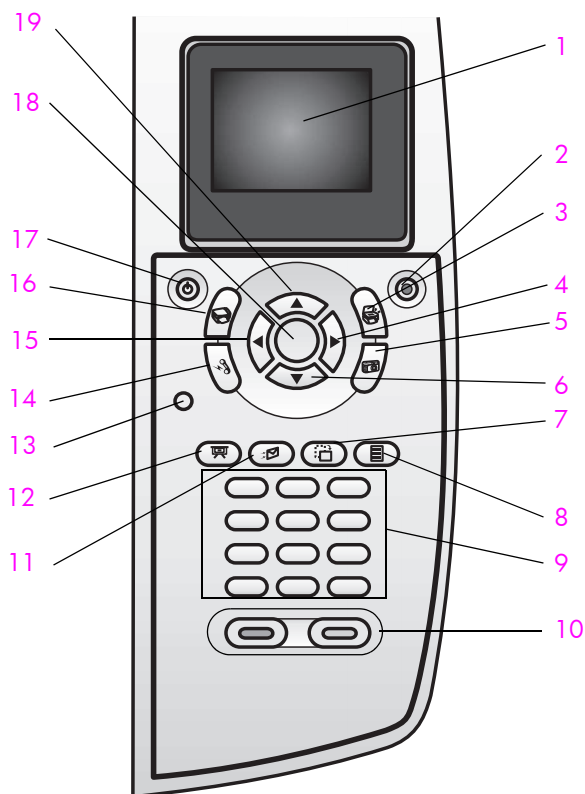
HP PSC の機能の多くはコンピュータに接続しなくても使用できます。コピー、ファクスの送信、メモリ カードからの写真の印刷などのタスクは、HP PSC 上で簡単にすぐ実行できます。

> **ヒント：** 最初にセットアップするときにインストールするソフトウェア HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) を利用すると、HP PSC をさらに活用することができます。HP ディレクタからは、トラブルシューティングのヒント、製品ごとのヘルプ、高画質コピー、ファクス、スキャン、写真機能などが利用できます。HP ディレクタの使用の詳細については、37 ページの 「hp ディレクタ ソフトウェアによる hp psc のフル活用」を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 32 ページの 「hp psc 2550 の概要」
- 33 ページの 「フロント パネルの概要」
- 35 ページの 「メニューの概要」
- 37 ページの 「hp ディレクタ ソフトウェアによる hp psc のフル活用」

hp psc 2550 の概要

機能	用途
1	カバー
2	カラー グラフィック ディスプレイ
3	フロント パネル
4	メモリ カード スロット
5	プリント カートリッジ交換用カバー
6	給紙トレイ
7	縦方向用紙ガイド
8	排紙トレイ
9	横方向用紙ガイド
10	ガラス板
11	電源コネクタ
12	USB ポート
13	電話と留守番電話用プラグ差込み口
14	後部アクセスドア
15	ネットワーク接続中に点灯する LED
16	Ethernet 用プラグ差込み口

フロント パネルの概要

ボタン	用途
1	カラー グラフィック ディスプレイ : メニュー、写真、およびメッセージを表示します。
2	キャンセル : ジョブの停止、メニューの終了、設定の終了を行います。
3	スキャン : スキャン機能を選択します。このボタンが点灯しているときは、スキャン機能が選択されています。
4	右向き矢印 : カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示したときに、値を増やしたり次に進みます。
5	フォト : フォト機能を選択します。このボタンが点灯しているときは、フォト機能が選択されています。メモリ カードから写真を印刷するときやコンピュータに写真を保存するときはこのボタンを使用してください。
6	下向き矢印 : メニュー オプションを下にスクロールします。
7	回転 : 現在カラー グラフィック ディスプレイに表示している写真の向きを 90 度回転します。続けて押すと、90 度ずつ回転します。

ボタン	用途
8	**フォト シート**：メモリ カード スロットにメモリ カードが挿入されているときにフォト シートを印刷します。フォト シートには、メモリ カード内のすべての写真のサムネイル ビューが表示されます。フォト シート上で写真を選択し、そのフォト シートをスキャンすることでその写真を印刷できます。
9	**キーパッド**：ファクス番号や値、文字を入力します。
10	**スタート - モノクロ** ボタンと **スタート - カラー** ボタン：モノクロまたはカラーでコピー、スキャン、ファクス、フォト メモリ カードの印刷ジョブを開始します。
11	**E メール**：現在カラー グラフィック ディスプレイに表示している写真を、コンピュータの HP フォト イメージング ギャラリにアップロードします。電子メール アドレスを入力すれば、その写真はいつでも電子メールで送信できます。
12	**スライド ショー**：現在挿入中のフォト メモリ カードにある写真をすべて 5 秒おきに表示します。
13	**セットアップ**：レポートの印刷やファクス設定、保守を行うためのメニュー システムを呼び出します。
14	**ファクス**： ファクス機能を選択します。このボタンが点灯しているときは、ファクス機能が選択されています。
15	**左向き矢印**： カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示したときに、値を減らしたり前に戻ります。
16	**コピー**： コピー機能を選択します。このボタンが点灯しているときは、コピー 機能が選択されています。このボタンはデフォルトで点灯しています。
17	**On**: HP PSC の電源をオン / オフします。 **警告！** HP PSC の電源をオフにしていても、本体には必要最小限の電力が供給されています。HP PSC の電源を完全に切るには、電源コードを抜いてください。
18	**OK**: カラー グラフィック ディスプレイに表示、選択されているメニュー、設定、値を確定します。
19	**上向き矢印**：メニュー オプションを上にスクロールします。

hp psc の概要

メニューの概要

次の図は、HP PSC のカラー グラフィック ディスプレイに表示されるメニューの一覧を示したものです。

コピー

1. フチなし
2. 縮小 / 拡大
3. コピー品質
4. 用紙サイズ
5. 用紙の種類
6. 薄く / 濃く
7. 強調
8. 色の濃さ
9. 新しいデフォルトの設定

スキャン

1. HP フォト イメージング ギャラリ
2. HP Instant Share
3. メモリ カード

注意 : このメニューの内容は、コンピュータから使用できるスキャン先の数によって異なります。

フォト

1. 部数
2. フチなし
3. 画像サイズ
4. 用紙サイズ
5. 用紙の種類
6. レイアウト スタイル
7. フチとフレーム
8. コンピュータへ転送
9. HP Instant Share
0. 新しいデフォルトの設定

ファクス

1. 解像度
2. 薄く / 濃く
3. 新しいデフォルトの設定

スライド ショー

注意 : このボタンを押すと、フォト メモリ カード内のすべての写真をカラー グラフィック ディスプレイに連続表示します。

E メール

注意 : このボタンを押すと、現在表示している写真をコンピュータの HP フォト イメージング ギャラリにアップロードします。適切な電子メール アドレスを入力すれば、その写真を電子メールで送信できます。

回転

注意：このボタンを押すと、カラー グラフィック ディスプレイに表示している写真を 90 度回転します。続けて押すと、写真を 90 度ずつ回転します。

フォト シート

1. フォト シートの印刷
2. フォト シートのスキャン

セットアップ

1. レポートの印刷
2. 短縮ダイヤルのセットアップ
3. ファクスの基本的な設定
4. ファクスの詳細設定
5. ツール
6. ネットワーク
7. プリファレンス

hp ディレクタ ソフトウェアによる hp psc のフル活用

セットアップ時に HP PSC ソフトウェアをコンピュータに初めてインストールすると、HP ディレクタがコンピュータに自動的にインストールされます。

HP PSC の機能の拡張は、すばやく簡単に行えます。本書全体を通して、このようなボックスを見ると、トピックに固有なヒントやプロジェクトに役立つ情報が得られます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

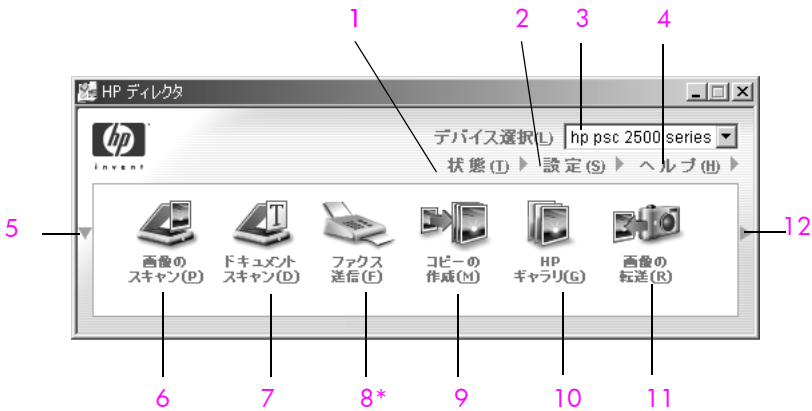
- 37 ページの 「hp ディレクタを開く (Windows ユーザーの場合)」
- 39 ページの 「hp ディレクタを開く (Macintosh ユーザーの場合)」

hp ディレクタを開く (Windows ユーザーの場合)

1 以下のいずれかを実行してください。
   – デスクトップ上の **HP ディレクタ**のアイコンをダブルクリックします。
   – Windows のタスクバーで、**[スタート]** をクリックした後、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム] (XP)** をポイントします。次に、**[HP]**、**[PSC All-In-One 2500 Series]** の順にポイントします。
2 **[デバイス選択]** ボックスで、インストールされている HP デバイスのリストを、クリックして表示します。
3 **[HP PSC 2500 Series]** を選択します。

   HP ディレクタ には、選択したデバイスに適したアイコンだけが表示されます。

   注意： 下記の HP ディレクタのグラフィックに表示されるアイコンは、デバイスによって異なります。HP ディレクタは、選択されている HP デバイスに関連付けられているアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能のアイコンが HP ディレクタに表示されないこともあります。

   ヒント： コンピュータ上の HP ディレクタ にアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して HP ディレクタ ソフトウェアを完全にアンインストールしてから、HP ディレクタを再インストールします。詳しくは、198 ページの 「ソフトウェアおよびハードウェアのインストール時のトラブルシューティング」を参照してください。

機能	用途
1	状態 : この機能を使用すると、HP PSC の現在の状態が表示されます。
2	設定 : この機能を使用すると、印刷、スキャン、コピー、ファクスなど、HP PSC の各種設定値を表示したり、変更したりできます。
3	デバイス選択 : この機能を使用すると、インストールされている HP デバイスのリストから、使用するデバイスを選択することができます。
4	ヘルプ : この機能を使用すると、HP フォト イメージング ヘルプにアクセスし、HP PSC のソフトウェア ヘルプ、製品ツアー、トラブルシューティング情報や HP PSC 製品に固有なヘルプ情報を得ることができます。
5	この矢印をクリックすると、第 1 行に表示されなかったボタンがあった場合、それらのボタンが第 2 行に表示されます。
6	画像のスキャン : この機能を使用すると、画像をスキャンして、HP フォト イメージング ギャラリに表示することができます。
7	ドキュメント スキャン : この機能を使用すると、テキストをスキャンし、選択したテキスト編集ソフトウェア プログラムで表示することができます。
8	ファクス送信 : この機能を使用して [ファクス] ダイアログ ボックスを開き、適切な情報を入力すると、ファクスを送信することができます。
9	コピーの作成 : この機能を使用して表示する [コピー] ダイアログ ボックスでは、コピー品質、コピー部数、カラー、サイズの選択およびコピーの開始を実行することができます。

機能	用途
10	**HP ギャラリ**：この機能を使用して表示する HP フォト イメージング ギャラリ では、画像の表示と編集、複数のサイズでの写真の印刷、フォト アルバムの作成と印刷が行えます。また、E メールや Web サイト経由での画像の共有や、マルチメディア CD の作成も行えます。
11	**画像の転送**：この機能を使用すると、メモリ カードから画像を転送することができます。
12	この 矢印 をクリックして表示されるヒントには、HP ディレクタ の各オプションの説明が表示されます。

hp ディレクタを開く (Macintosh ユーザーの場合)

使用する Macintosh OS に従って以下のいずれかの方法を使用すると、HP ディレクタ の起動やアクセスが行えます。

hp ディレクタ (all-in-one) を開く (Macintosh OS X の場合)

Macintosh OS X の使用時、HP ディレクタ は HP フォト イメージング ソフトウェアのインストール中に自動的に起動されます。そのため、HP ディレクタ (All-in-One) のアイコンは、デバイスのドック内に作成されます。デバイスの機能には、HP ディレクタ (All-in-One) のアイコンに関連付けられている HP ディレクタ のメニューを使ってアクセスできます。

ヒント： Macintosh を起動するたびに HP ディレクタ を自動的に起動したくない場合、その設定値は HP ディレクタの [設定] メニューで変更できます。

HP ディレクタのメニューを表示するには：

- ドック内で、使用するデバイスの **HP ディレクタ (All-in-One)** のアイコンをクリックします。

  後述のような HP ディレクタのメニューが表示されます。HP ディレクタの一連の機能の簡単な説明については、凡例を参照してください。

  注意： HP デバイスを複数個インストールすると、各デバイスの HP ディレクタのアイコンがドック上に表示されます。たとえば、HP スキャナと HP PSC を 1 台ずつインストールしてあると、HP ディレクタのアイコンがデバイスごとに 1 つずつ、全部で 2 つドックに表示されます。ただし、同じ種類のデバイスを 2 つインストールした場合 (HP PSC デバイスを 2 つインストールした場合など)、HP ディレクタのアイコンはドックに 1 つしか表示されず、同じ種類のデバイスはすべてそのアイコンで表現されます。

機能	用途
1	**画像の転送** : この機能を使用すると、メモリ カードから画像をアンロードすることができます。
2	**画像のスキャン** : この機能を使用すると、画像をスキャンして、HP フォト イメージング ギャラリに表示することができます。
3	**コピーの作成** : この機能を使用すると、モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。
4	**ファクス送信** : この機能を使用して [ファクス] ダイアログ ボックスを開き、適切な情報を入力すると、ファクスを送信することができます。
5	**hp ギャラリ** : この機能を使用して HP フォト イメージング ギャラリを表示すると、画像の表示および編集が行えます。
6	**その他のソフト** : この機能を使用すると、コンピュータ上でほかのアプリケーションを選択することができます。
7	**HP サイト** : この機能を使用すると、HP の Web サイトを選択できます。
8	**HP ヘルプ** : この機能を使用すると、HP PSC に関するヘルプのソースを選択することができます。
9	**設定** : この機能を使用すると、デバイスの設定値を変更できます。

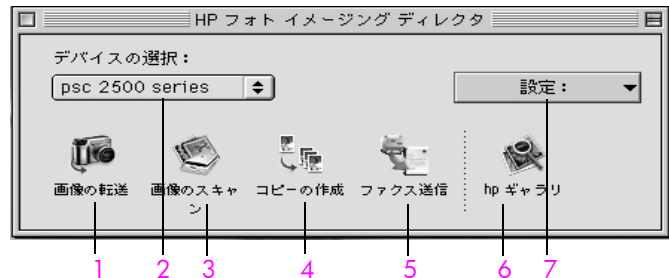
hp ディレクタを開く (Macintosh OS 9 の場合)

Macintosh OS 9 の場合、HP ディレクタは HP フォト イメージング ソフトウェアのインストール中に自動的に起動されます。そのため、HP ディレクタのアイコンはデスクトップ上にエイリアスとして表示されます。HP ディレクタは、以下のいずれかの方法で起動します。

- デスクトップ上の **HP フォト イメージング ディレクタ**のエイリアスをダブルクリックする。
- Applications:Hewlett-Packard:HP Photo and Imaging Software:HP Photo and Imaging Director フォルダ内の **HP Photo and Imaging Director** をダブルクリックする。

HP ディレクタには、選択したデバイスに関連するアイコンだけが表示されます。詳細については、ソフトウェアに添付されているオンラインの hp フォト イメージング ヘルプを参照してください。

Macintosh OS 9 用の HP フォト イメージング ディレクタで利用可能な一部の機能を下図に示します。各機能の簡単な説明については、凡例を参照してください。

> **注意：** 下記の HP フォト イメージング ディレクタのグラフィックは、コンピュータによって異なります。HP フォト イメージング ディレクタは、選択される HP デバイスに基づいてカスタマイズされます。特定の機能がデバイスに搭載されていない場合、その機能のアイコンはコンピュータ上の HP フォト イメージング ディレクタ に表示されません。下図以外のボタンが表示される HP デバイスもあります。

機能	用途
1	**画像の転送**：この機能を使用すると、メモリ カードから画像をアンロードすることができます。
2	**デバイスの選択**：このプルダウン リストを使用して、使用する HP デバイスを選択します。
3	**画像のスキャン**： この機能を使用すると、画像をスキャンして、HP フォト イメージング ギャラリに表示することができます。
4	**コピーの作成**：この機能を使用すると、モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。
5	**ファクス送信**：この機能を使用して [ファクス] ダイアログ ボックスを開き、適切な情報を入力すると、ファクスを送信することができます。

機能	用途
6	**hp ギャラリ** : この機能を使用して HP フォト イメージング ギャラリを表示すると、画像の表示および編集が行えます。
7	**設定** : このプルダウン リストを使用して、デバイスの設定値にアクセスします。

3 原稿および用紙のセット

HP PSC には、フォト用紙、OHP フィルム、連続バナー用紙、封筒など、さまざまなサイズと種類の用紙をセットできます。HP PSC で最高品質のコピーをとるために、用紙の種類と用紙サイズの設定を変更することもできます。

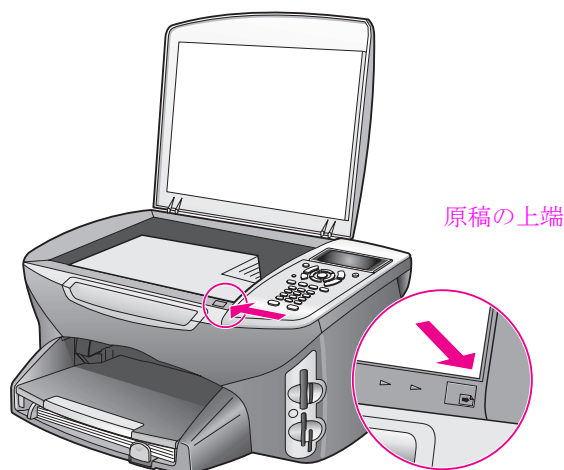
このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 43 ページの 「原稿のセット」
- 44 ページの 「用紙のセット」
- 46 ページの 「カードやはがきのセット」
- 47 ページの 「封筒のセット」
- 47 ページの 「10 x 15 cm フォトの用紙をセットする」
- 48 ページの 「推奨されている用紙」
- 49 ページの 「その他の種類の用紙を用紙トレイにセットする」
- 50 ページの 「用紙の種類の設定」
- 50 ページの 「用紙のサイズの設定」
- 51 ページの 「紙づまりの防止」

原稿のセット

ガラス板上に用紙をセットする手順を以下に説明します。

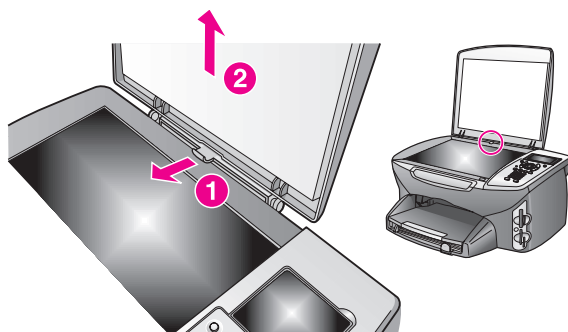
1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。

ヒント： 原稿のセットの仕方については、HP PSC の右下隅に示されている図を参照してください。

2 目的のオプションを選択するには、フロント パネル から **[コピー]**、**[スキャン]** または **[ファクス]** のいずれかを押します。

3 操作を開始するにはフロントパネルから **[スタート] - [モノクロ]** を押すか、または **[スタート] - [カラー]** を押します。

注意 : コピー ガラス板およびカバーの裏側が汚れていると、[ページに合わせる] や [ポスター] といった [縮小 / 拡大] オプションの多くは正しく動作しません。詳しくは、121 ページの 「コピー ガラス板のクリーニング」と 121 ページの 「カバーの裏側のクリーニング」を参照してください。

ヒント : HP PSC からカバーを取り外すと、原稿が大きすぎてもコピーしたりスキャンしたりできます。HP PSC 2550 のカバーを取り外すには、カバーを開いた位置に上げ、カバーの底辺にあるつまみを上に引っ張ります。カバーに接続されているコードを、デバイスの背面にあるジャックから取り外します。HP PSC は、カバーとコードを取り外した状態でも正常に機能します。

ちょうつがいにあるつまみを元の溝にはめこんで、カバーを元に戻します。コードを、デバイスの背面にあるジャックにもう一度差し込みます。

用紙のセット

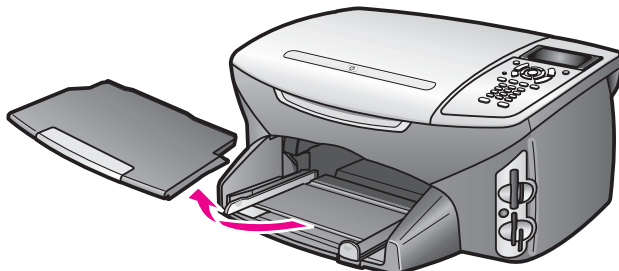
ここでは HP PSC に用紙をセットする基本的な手順を説明します。特定の種類の用紙 (OHP フィルム、はがき、封筒) をセットする場合については、それぞれ念頭に置いておくべき点があります。

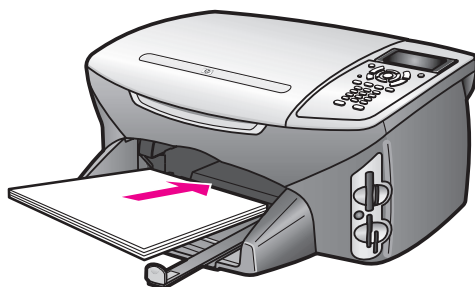
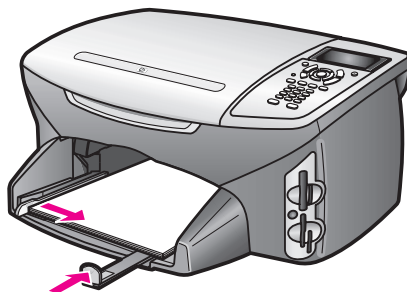
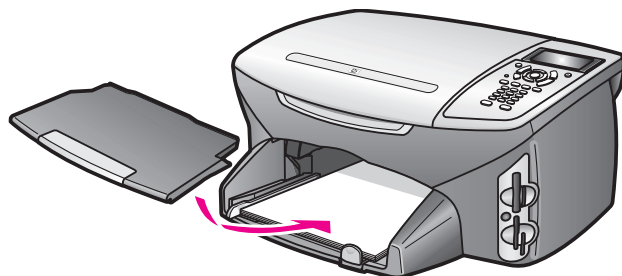
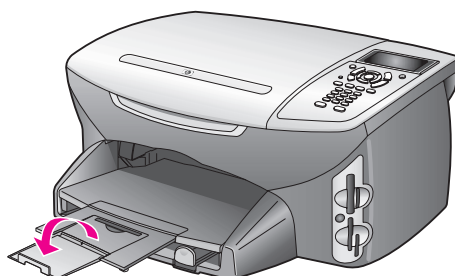
それでそのような場合は、この手順について概観した後にそれぞれ 47 ページの 「封筒のセット」、47 ページの 「10 x 15 cm フォトの用紙をセットする」、46 ページの 「カードやはがきのセット」、49 ページの 「その他の種類の用紙を用紙トレイにセットする」の項を参照してください。

最高の印刷結果を得るには、用紙サイズを変更するたびに用紙設定を調整してください。詳しくは、50 ページの 「用紙のサイズの設定」を参照してください。

ヒント : すべての用紙をチャック付きの袋に平らに保管し、用紙が破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないようにしてください。用紙を正しく保管していないと、急激な温度差や湿度のために用紙が波打ち、HP PSC でうまく利用できないことがあります。

給紙トレイにセットする

1 排紙トレイを取り外し、横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

2 平らな面で用紙の端を揃え、それから用紙が同じサイズと同じ種類であることを確認します。

3 用紙の短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイの奥まで差し込みます。レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。

4 用紙の端に当たって止まるまで横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドをスライドします。用紙の束が給紙トレイ内で平らに収まり、縦方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認します。

5 排紙トレイを元に戻します。

6 排紙補助トレイを引き出して、排紙トレイから印刷済みの用紙が落ちないようにします。

カードやはがきのセット

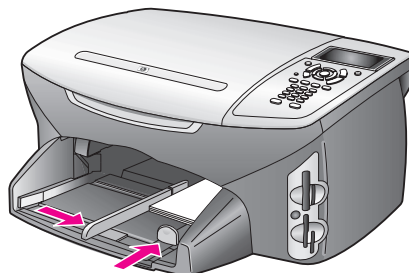
カードやはがきを HP PSC にセットする手順を以下に説明します。

1 排紙トレイを取り外します。

2 給紙トレイから用紙をすべて除去し、カードの束を給紙トレイの奥までセットします。

   印刷面が下になっていることを確認してください。

3 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドがカードの端に当たって止まるまでスライドします。

   カードがトレイに収まっていることを確認してください (セットする枚数が多すぎないようにしてください)。用紙の束が、横方向用紙ガイドの上端より高くならないようにします。

4 排紙トレイを元に戻します。

封筒のセット

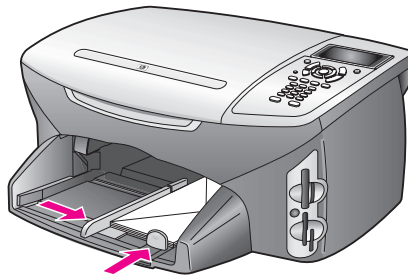
ここでは HP PSC に封筒をセットする基本的な手順を説明します。光沢紙を使った封筒やエンボス加工された封筒、あるいは留め具付きの封筒や窓付き封筒は使わないでください。

注意：封筒に印刷できるようテキストをフォーマットする方法の詳細については、お使いのワード プロセッシング ソフトウェアのヘルプ ファイルを参照してください。

1 封筒をセットする前に、給紙トレイから用紙をすべて取り除いてください。

2 給紙トレイに封筒を 1 枚以上入れ、垂れぶたを上に向け、垂れぶたの付いている辺を左側または奥側にしてセットします。封筒の束を奥まで差し込んでください。

3 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドが封筒の端に当たって止まるまでスライドします。

給紙トレイに封筒を入れすぎないようにしてください。封筒の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、縦方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。

10 x 15 cm フォトの用紙をセットする

10 x 15 cm フォトの用紙を HP PSC にセットする手順を以下に説明します。

注意：最高品質で出力したいときは、推奨タイプの 10 x 15 cm フォトの用紙を使用してください。詳しくは、48 ページの「推奨されている用紙」を参照してください。さらに、最高品質で出力するためには、印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。詳しくは、50 ページの「用紙の種類の設定」と 50 ページの「用紙のサイズの設定」を参照してください。

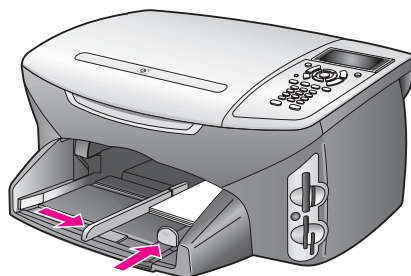
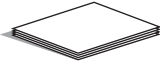
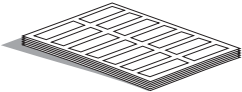
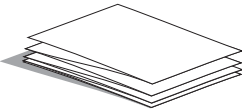
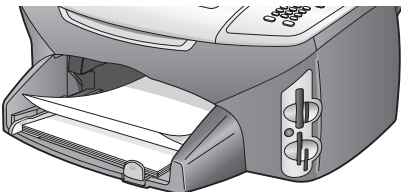
ヒント： すべての用紙をチャック付きの袋に平らに保管し、用紙が破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないようにしてください。用紙を正しく保管していないと、急激な温度差や湿度のために用紙が波打ち、HP PSC でうまく利用できないことがあります。

1 排紙トレイを取り外します。

2 給紙トレイから用紙をすべて除去します。

注意：お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。

3 フォト用紙の束を (短辺を奥にし、光沢のある面を下にセットして) 給紙トレイの奥まで差し込み、右端までスライドさせます。

4 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドがフォト用紙の端に当たって止まるまでスライドします。用紙が平らになるようにセットします。給紙トレイにフォト用紙を入れすぎないようにしてください。フォト用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、縦方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。

5 排紙トレイを元に戻します。

推奨されている用紙

最高画質のプリント品質を得るには、HP 専用紙を推奨します。薄すぎる用紙や表面がつるつるしている用紙、伸縮性のある用紙を使用すると紙詰まりが起こりやすくなります。表面がでこぼこした用紙やインクをはじく用紙を使用すると、印刷された画像がこすれたりにじんだり、あるいはかすれたりすることがあります。HP プレミアム インクジェット専用紙の詳細については、以下の HP Web サイトを参照してください。

www.hp.com/jp/supply

その他の種類の用紙を用紙トレイにセットする

特定の種類の用紙や OHP フィルムをセットするときのガイドラインを次の表に示します。最高の印刷結果を得るには、用紙サイズを変更するたびに用紙設定を調整してください。詳しくは、50 ページの 「用紙のサイズの設定」を参照してください。

用紙	ヒント
カードやはがき (印刷の場合のみ)	カード またははがきの印刷面を下にして用紙トレイに挿入します。奥につかえるまで挿入します。はがきを給紙トレイの右側に揃え、横方向用紙ガイド をはがきの左端までスライド させた後、縦方向用紙ガイド を止まるまでスライド させます。
ラベル (印刷の場合のみ)	• HP インクジェット製品で使用できるよう設計されている、A4 サイズのラベル シート (Avery Inkjet Label など) を常に使用してください。また、製造後 2 年以上たったラベルは使用しないでください。 • ページどうしがくっついていることがないよう、ラベルを広げてください。 • 先に普通紙を給紙トレイにセットし、その上に印刷面を下にしたラベル シートの束をセットします。ラベルを 1 シートずつセットすることは*しない*でください。
連続 (バナー) 用紙 (印刷の場合のみ)	連続バナー用紙はコンピュータ用紙や Z 折りの用紙とも呼ばれます。 • バナー用紙をセットする前に給紙トレイから他のすべての用紙を除去し、それから排出トレイを取り外します。連続バナー用紙が切れないように、バナー印刷中は HP PSC の排出トレイを取り外したままにしておきます。 排紙トレイを取り外します。 用紙の連続していないほうの端を給紙トレイに挿入します。 • HP 以外のバナー用紙を使用する場合は 20-lb. 用紙を使用し、用紙をさばいてからセットするようにしてください。 • バナー用紙は最低 5 ページ以上あることを確認してください。 • ミシン目の入ったストリップが両端にある場合はそれを注意深く切り離します。そしてページ同士がくっつかないよういったん用紙を開いてからもう一度折り畳みます。 • 連続していないほうの端が用紙の束の一番上に来るように給紙トレイに用紙をセットします。上の図のように、用紙の最初の端を給紙トレイの奥まで挿入します。

用紙の種類の設定

[コピー] および [フォト] オプションで使用する用紙の種類の設定手順を以下に説明します。使用する用紙や OHP フィルムと一致する [用紙の種類] 設定を選択してください。

注意： コンピュータから印刷する場合、ご使用のソフトウェア アプリケーションの [印刷] ダイアログ ボックスで用紙の種類のプロパティを設定します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 「コピー メニューから用紙の種類を設定する」
- 「フォト メニューから用紙の種類を設定する」

コピー メニューから用紙の種類を設定する

1 **[コピー]** を 2 回押し、次に **[5]** を押します。
  [コピー メニュー] が表示されますので、[用紙の種類] を選択します。
2 ▼ を押して、用紙の種類の設定を選択します。次に **[OK]** を押します。

フォト メニューから用紙の種類を設定する

1 **[フォト]** を 2 回押し、次に **[5]** を押します。
  [フォト メニュー] が表示されますので、[用紙の種類] を選択します。
2 ▼ を押して、用紙の種類の設定を選択します。次に **[OK]** を押します。

用紙のサイズの設定

[コピー]、[フォト]、[ファクス] のオプションで使用する用紙サイズの設定手順を以下に説明します。使用する用紙や OHP フィルムと一致する [用紙サイズ] 設定を選択してください。

注意： コンピュータから印刷する場合、ご使用のソフトウェア アプリケーションの [印刷] ダイアログ ボックスで用紙サイズのプロパティを設定します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 「コピー メニューから用紙サイズを設定する」
- 「フォト メニューから用紙サイズを設定する」
- 「ファクス受信用の用紙サイズを設定する」

コピー メニューから用紙サイズを設定する

1 **[コピー]** を 2 回押し、次に **[4]** を押します。
  [コピー メニュー] が選択され、次に [用紙サイズ] が選択されます。
2 ▼ を押して、用紙サイズの設定を選択します。次に **[OK]** を押します。

フォト メニューから用紙サイズを設定する

1 **[フォト]** を 2 回押し、次に **[4]** を押します。
  [フォト メニュー] が選択され、次に [用紙サイズ] が選択されます。
2 ▼ を押して、用紙サイズの設定を選択します。次に **[OK]** を押します。

ファクス受信用の用紙サイズを設定する

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせてください。ファクスは A4 用紙、レター用紙、リーガル用紙のいずれかにだけ印刷できます。

注意： この他の用紙サイズが給紙トレイにセットされていてファクスを受信すると、ファクスが印刷されません。ファクスを印刷するには、レター用紙、A4 用紙、リーガル用紙のいずれかをセットして [OK] を押してください。

1. **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. ［**3**］を押し、次に ［**4**］を押します。
   これで [ファクスの基本的な設定] そして [用紙サイズ] が選択されます。
3. ▼ を押してオプションを選択してから **[OK]** を押します。

紙づまりの防止

紙づまりを回避するには、以下に従ってください。

- すべてのサプライ品用紙をチャック付きの袋に平らに保管し、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないようにしてください。
- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 給紙トレイにセットした用紙を平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにしてください。
- 給紙トレイには異なる種類やサイズの用紙を一緒にセットしないでください。同じ種類で同じサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイ用紙ガイドを調整してください。用紙ガイドで給紙トレイ内の用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用の HP PSC で推奨している用紙の種類をお使いください。

4 メモリ カードの使用

HP PSC では、ほとんどのデジタル カメラで使用されているメモリ カードが利用できるため、デジタル写真の印刷、保存、管理、共有がとても快適に行えます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

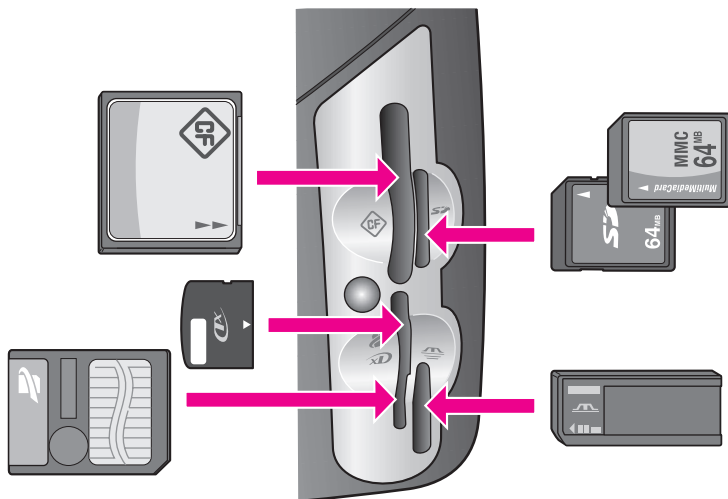
メモリ カードとは？

デジタル カメラでとった写真を保存しておくのにメモリ カードを使用している場合、そのメモリ カードを HP PSC に挿入し、とった写真を印刷したり保存したりすることができます。

HP PSC がコンピュータに接続されていない場合でも、フォト シートを印刷してメモリ カードから写真を印刷したりすることができます。フォト シートには、メモリ カードに保存されている写真のサムネイル ビューが場合によっては数ページにわたって印刷されます。

HP PSC では、CompactFlash (I、II)、Memory Stick、MultiMediaCard (MMC)、Secure Digital、SmartMedia、xD の各種メモリ カードを読むことができます。

> **注意：** 文書をスキャンし、スキャンした画像を接続しているメモリ カードに送信できます。詳細は 90 ページの「スキャン結果を hp psc 内のメモリ カードに送信する」を参照してください。

次ページの図のように HP PSC にはそれぞれのメモリ カード用に 4 スロットが用意されています。

スロットは次のように設定します。

- 左上のスロット : CompactFlash (I, II) 用
- 右上のスロット : Secure Digital、MultiMediaCard (MMC) 用
- 左下のスロット : SmartMedia、xD (右上スロットにも挿入できる)
- 右下のスロット : Memory Stick、Magic Gate Memory Stick、Memory Stick Duo (お客様にご用意いただくアダプタを使用)、Memory Stick Pro

警告 ! デフォルトでは、Windows XP は 8 MB 以下および 64 MB 以上のメモリカードを FAT 32 形式でフォーマットします。一方デジタル カメラや他の機器では FAT (FAT16 または FAT12) 形式を使用するため、FAT32 は使用できません。そのため、カメラ側で CompactFlash カードをフォーマットするか、あるいは Windows XP PC で CompactFlash カードをフォーマットするときに FAT 形式を選択するようにしてください。

メモリ カードを挿入してファイルをコンピュータに保存する

注意 ! HP PSC を使用すると、ネットワーク上のコンピュータからメモリ カードの中身を開くことができます。カードの中身はデスクトップ上で別のドライブとして表示されます。そのため HP PSC から、あるいはデスクトップから写真を表示、編集、印刷、電子メール送信できるので便利です。WEP に対応していない無線ネットワークをご使用の場合、ご使用のネットワーク名と HP PSC ネットワーク ID が知られてしまうと、その無線圏内の誰もが HP PSC に挿入しているメモリカードの中身にアクセスできてしまいます。メモリ カード内のデータのプライバシーを高めるには、ワイヤレス ネットワーク上で WEP キーを設定し、使用していないときは HP PSC からメモリ カードを取り外してください。

デジタル カメラで写真を撮ったら、それをすぐに印刷することもできますし、コンピュータに直接保存することもできます。

注意 : HP PSC で一度に使用できるメモリ カードは 1 つだけです。

1 メモリ カードを HP PSC の適切なスロットに挿入します。

メモリ カードが正しく挿入されると、フロントパネルの [フォト] ボタンが点滅します。

カードを前後逆に挿入した場合、カード スロットの横の LED がオレンジ色に点滅し、カラー グラフィック ディスプレイに「カードが逆向きに装着されています」あるいは「カードが完全に挿入されていません」といったエラー メッセージが表示されます。

2 **[カードを読み取り中]** がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。カードへのアクセス中は、カード スロットの横の LED が緑に点滅します。

警告！ アクセス中はメモリ カードを絶対に取り出さないでください。抜いた場合、カード内のファイルが破損することがあります。スロットの横の LED の点滅が停止し、点灯した状態にならないと、安全にカードを取り出せません。

3 カード内にまだ転送されていないフォト ファイルがあると、このフォト ファイルをコンピュータに保存するか問い合わせるメッセージがコンピュータに表示されます。

4 保存を選択します。

これで、メモリ カードの未保存の写真がすべて、HP PSC ソフトウェアを使ってコンピュータに保存されます。

注意： メモリ カード ファイルは、フロント パネルからも接続しているコンピュータに転送できます。[フォト] を押してから [8] を押すことによって、[コンピュータへ転送] が選択できます。コンピュータ上のプロンプト表示に従ってください。また、メモリ カードはドライブとしてコンピュータに表示されます。コンピュータ上のメモリ カードの「ドライブ」から、デスクトップに写真ファイルを簡単に移動できます。

HP PSC 2550 の場合、この方法でファイルをネットワーク上の別のコンピュータにも保存できます。

Windows 98/ME の場合：デフォルトでは、ファイルはその写真が撮られた月と年のフォルダに保存されます。Windows XP および Windows 2000 の場合、このフォルダは **C:\Documents and Settings\ ユーザ名 \My Documents\My Pictures** フォルダに作成されます。

Macintosh の場合：デフォルト時、ファイルはコンピュータ内の **Hard Drive: 書類 :HP All-in-One Data:Photos** フォルダ (OS 9 の場合) または **Hard Drive: ユーザ : ユーザのフォルダ : ピクチャ :HP Photos** フォルダ (OS X の場合) に保存されます。

新規に作成されたファイルがないときは HP PSC でカードの読み取りが完了すると、[フォト] ボタンの点滅が停止して点灯した状態になります。カード スロットの横の LED も点灯した状態です。カード内の最初の写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

カード内の写真を見るには、◄ もしくは ► を押して、1 枚ずつ順に (逆に) 表示させます。◄ または ► を押し続けると、前または次の写真をさらに早く表示できます。

ハード ディスクがいっぱいではありませんか？ハード ディスクに空きがない場合 : ご使用のコンピュータに内蔵または外付けの CD ライターがあれば、デジタル写真をまとめて CD で整理することができます。これには、HP フォト イメージング ディレクタから メモリ ディスクの機能を使用します。HP ディレクタを起動して、HP ギャラリをクリックします。[CD の作成] タブをクリックし、CD 上で画像の収集、整理、インデックス作成を開始します。

フォト シートから写真を印刷する

フォト シートを使うと、コンピュータを使わずに直接メモリ カードから選択して実際に印刷を行うことができ、便利です。フォト シートにはメモリ カードに保存されている写真のサムネイル ビューが表示され、長さは数ページになることもあります。各サムネイルにはファイル名とインデックス番号、そして日付が表示されています。フォト シートは、デジタル写真の簡単なカタログ作成としても利用できます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 57 ページの 「フォト シートの印刷」
- 57 ページの 「フォト シートを完成させる」
- 58 ページの 「フォト シートをスキャンして写真を印刷する」
- 58 ページの 「フォト シートをスキャンしてビデオ アクション プリント を作成する」

ヒント : フォト プリント カートリッジを使用することで、HP PSC で印刷する写真の品質を最適化することができます。黒プリント カートリッジを取り外して代わりにフォト プリント カートリッジをセットしてください。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをセットすることで 6 色インクシステムが実現され、写真の品質が向上します。通常のテキスト文書を印刷するには、黒プリント カートリッジを元に戻してください。

詳しくは、119 ページの 「消耗品の注文」を参照してください。

写真の印刷以外の事柄を実行する必要がありますか？ HP ディレクタ を介して利用可能な HP イメージ エディタを使用すると、印刷する前にデジタル写真の品質向上と編集が行えます。HP ディレクタを起動して、HP ギャラリをクリックします。編集対象の写真を選択し、上のフレームからイメージ エディタをクリックします。写真に文字を書き込む、特殊効果を加える、低画質の写真の品質を向上する、赤目を修正する、というようなことができます。

Macintosh のユーザーは、HP ギャラリで画像をダブルクリックするだけで、その画像を画像ウィンドウで編集することができます。

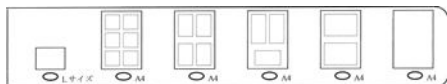
フォト シートの印刷

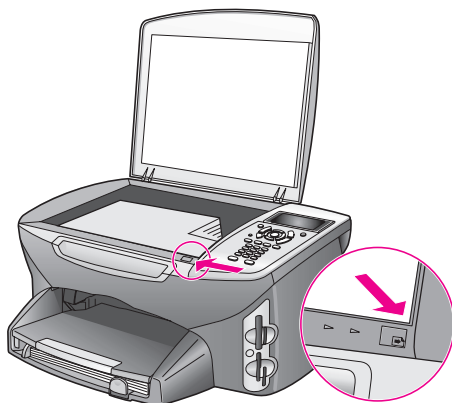
1. メモリ カードを HP PSC の適切なスロットに挿入します。
2. **[フォト シート]** を押した後、**[1]** を押します。
   これで [フォト シート メニュー] が表示され、[フォト シートの印刷] が選択されます。
   注意： メモリ カード内の写真枚数によって、フォト シートの印刷にかかる時間は大きく異なります。
3. 20 枚以上の写真がカードに入っている場合、**[写真の選択]** メニューが表示されます。いずれかのコマンドを選び、その横にある番号を押します。
   - **1. すべて**
   - **2. 最後の 20 枚**
   - **3. カスタム範囲**

   注意： フォト シートのインデックス番号から、カスタム範囲で印刷する写真を選択します。この番号は、デジタル カメラにおいて写真に関連付けられた番号とは異なります。そのため、メモリ カードに写真を追加したり、あるいは削除したりした場合は、フォト シートを再印刷して新しいインデックス番号を確認する必要があります。
4. [カスタム範囲] を選択した場合、メッセージにしたがって印刷対象の写真の先頭と最後のインデックス番号を入力します。
   注意： 戻る記号の ◄ を押すことでインデックス番号を消去できます。

フォト シートを完成させる

57 ページの「フォト シートの印刷」で説明されている方法に従ってフォト シートを印刷したら、印刷する写真を選択できます。

1 フォト シートのサムネイル画像の下にある円を黒いペンか鉛筆で塗りつぶして、印刷したい写真を選択します。
2 フォト シートの ステップ 2 から 円を塗りつぶして、レイアウト スタイルを 1 つだけ選択します。

注意： フォト シートでできる印刷設定よりも詳細な設定が必要な場合は、フロント パネルから写真を直接印刷してください。62 ページの「メモリ カードから写真を直接印刷する」を参照してください。

3 完了したフォト シートの表を下にし、フォト シートの上端をスキャナのガラス板の右下隅および右辺に合わせてセットします。それからカバーを閉じます。

フォト シートをスキャンして写真を印刷する

ヒント： HP PSC のガラス板に汚れがないことを確認してください。汚れがあると、フォト シートを正しくスキャンできないことがあります。この手順については、121 ページの 「コピー ガラス板のクリーニング」を参照してください。

1 フォト用紙などの適切な用紙を給紙トレイにセットします。フォト シートのスキャン中は、そのフォト シートの印刷に使用したメモリ カードがスロットに挿入されていることを確認してください。
2 **[フォト シート]** を押した後、**[2]** を押します。
これで [フォト シート メニュー] が表示され、[フォト シートのスキャン] が選択されます。
HP PSC によってフォト シートのスキャンが行われ、選択した写真が印刷されます。

フォト シートをスキャンしてビデオ アクション プリント を作成する

HP PSC を使用すると、挿入しているメモリ カードに動画ファイルが保存されている場合、検出されます。そして、動画ファイルから抽出した 9 コマのビデオ アクション プリント が印刷できるオプションが表示されます。9 コ

マのうちの 1 コマが特殊なアイコンとともにフォト シートに表示されます。このアイコンは 1 本の動画ファイルから抽出された連続コマであることを表す印です。

1 メモリ カードが HP PSC の適切なスロットに挿入されていることを確認してください。
2 ビデオ アクション プリントが表示されているフォト シートから、サムネイルの下にある円を塗りつぶします。
3 **[フォト シート]** を押した後、**[2]** を押します。
   これで [フォト シート メニュー] が表示され、[フォト シートのスキャン] が選択されます。
   HP PSC によってフォト シートのスキャンが行われ、9 コマすべてが 1 ページに印刷されます。

ビデオ アクション プリント の作成と印刷は、HP フォト イメージング ギャラリ からも行えます。ギャラリでは、コマ機能、タイトルの編集、画質の向上に対する幅広い操作などのオプションが利用できます。

フォト プリントのオプションを設定する

HP PSC で写真を印刷する場合、用紙の種類、サイズ、レイアウトなどさまざまな面をフロント パネルで直接操作できます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 60 ページの 「[フォト メニュー] の印刷オプションを変更する」
- 61 ページの 「印刷写真のデフォルトを変更する」

フロント パネルから利用可能な [フォト メニュー] を使用すると、フォト プリント オプションにアクセスしたり、フォト プリント オプションを設定したりできます。

1 メモリ カードが HP PSC の適切なスロットに挿入されていることを確認してください。
2 **[フォト]** を押します。
   [フォト メニュー] が表示されます。

フォト メニュー
1. 部数
2. フチなし
3. 画像サイズ
4. 用紙サイズ
5. 用紙の種類
6. レイアウト スタイル
7. フチとフレーム
8. コンピュータへ転送
9. HP Instant Share
0. 新しいデフォルトの設定

3 変更するオプションを選び、その横にある番号を押します。

[フォト メニュー] からは、以下の図に示すように部数や用紙の種類など、デジタル写真の印刷方法についてさまざまな設定が行えます。デフォルトの単位とサイズは国 / 地域によって異なります。

部数
部数 : 1 >
完了したら [OK]
を押してくださ

フチなし
1. オフ
2. オン

画像サイズ
1. はがき
2. 2L
3. 六つ切り
4. カード
5. E
6. L

用紙サイズ
1. A4
2. 10 x 15 cm
3. L
4. はがき

用紙の種類
1. 自動
2. 普通紙
3. プレミアム フォト用紙
4. フォト用紙
5. エヴリデイフォト用紙
6. フォト クオリティインクジェット用紙
7. プレミアム インクジェット専用紙
8. ブローシャ (光沢)
9. ブローシャ (つや消し)
0. アイロン プリント紙

レイアウト スタイル
1. ペーパー セーバー
2. アルバム (縦)
3. アルバム (横)

フチとフレーム
1. なし
2. 四角形、細いフレーム
3. 四角形、太いフレーム
4. 楕円、フレームなし
5. 楕円、細いフレーム
6. 楕円、太いフレーム

新しいデフォルトの設定

[フォト メニュー] の印刷オプションを変更する

[フォト メニュー] の印刷オプションの変更は、いずれも同じ一般的な方法で行えます。

1 **[フォト]** を押し、変更するオプションを選んでその横にある番号を押します。オプションを一覧表示するには、フロント パネルで ▼ を押しながら **[フォト メニュー]** からスクロールします。

現在選択されているオプションが強調表示されます。そのオプションにデフォルト設定があれば、メニューの下に表示されます。

2 設定を変更してから **[OK]** を押します。

注意： もう一度 [フォト] を押して [フォト メニュー] を終了し、写真画面に戻ります。

フチなし印刷

この設定では、フチなし印刷をオンまたはオフにします。フチなし印刷を使用すると、プロと同じ品質の写真が印刷できます。[フチなし] オプションをオンにすると、[画像サイズ]、[レイアウト スタイル]、[フチとフレーム] オプションがグレーになって [フォト メニュー] から選択できなくなります。このほかのメニューでも、フチなし印刷で対応していない選択肢は、すべてグレーになります。また、用紙サイズと用紙の種類を選択し、適切な用紙を給紙トレイにセットしてください。

画像サイズの選択

この設定を使用すると、印刷する写真画像のサイズが選択できます。

用紙サイズの選択

この設定を使用すると、現在の印刷ジョブに対する用紙サイズが選択できます。

用紙の種類の選択

この設定を使用すると、現在の印刷ジョブに最適な用紙の種類が選択できます。デフォルトは [自動] です。[自動] に設定すると、HP PSC がセンサーで用紙の種類を検出して設定します。この設定に表示される用紙の種類は、現在選択中の用紙サイズによって異なります。

レイアウト スタイルの選択

[ペーパー セーバー] レイアウト スタイルは、必要に応じて回転とトリミングを行いながらその用紙にできる限り多くの写真が収まるようにレイアウトします。

[アルバム] レイアウト スタイルは、オリジナル写真の向きを変えずにレイアウトします。[アルバム (縦)] と [アルバム (横)] とは、ページの向きについてのレイアウトで、写真の向きについてのレイアウトではありません。トリミングも行われることがあります。

フチとフレームの選択

このオプションを使用すると、選択したふちをフレームのように現在印刷中の写真のまわりに配置します。

印刷写真のデフォルトを変更する

印刷写真のデフォルトは、フロント パネルから変更できます。

1. **[フォト]** を押します。
   [フォト メニュー] が表示されます。
2. オプションを自由に変更します。
   いずれかのオプションで新しい設定を確定すると、自動的に [フォト メニュー] に戻ります。
3. **[フォト メニュー]** で **[0]** を押し、デフォルトに設定するかを問い合わせるメッセージが表示されたら **[OK]** を押します。
   現在のすべての設定が写真のデフォルトに設定されます。

メモリ カード

メモリ カードから写真を直接印刷する

メモリ カードを HP PSC に挿入し、フロント パネルを使用すると、メモリ カードから写真を直接印刷することができます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 62 ページの 「個々の写真の印刷」
- 63 ページの 「フチなし印刷を実行する」
- 63 ページの 「写真の選択解除」
- 63 ページの 「現在の写真を印刷するのにクイック印刷を利用する」
- 64 ページの 「DPOF ファイルの印刷」

注意： 写真を印刷するときは、用紙の種類および写真の画質向上設定について正しいオプションを選択する必要があります。See 59 ページの「フォト プリントのオプションを設定する」for details. また、フォト プリント カートリッジを使用することでさらに印刷品質を高めることもできます。詳しくは、122 ページの 「プリント カートリッジの保守」を参照してください。

HP ディレクタの HP フォト イメージング ギャラリ機能を使用すると、デジタル写真を単に印刷するだけでなく、それ以上の高度な処理を実行することができます。このソフトウェアを使用すると、アイロン プリント紙、ポスター、バナー、ステッカーなどのクリエイティブなプロジェクトでデジタル写真を使用することができます。

個々の写真の印刷

フォト シートを使わずにフロント パネルから直接写真を印刷することができます。

1 メモリ カードを HP PSC の適切なスロットに挿入します。

   [フォト] ボタンが点灯します。

2 写真をカラー グラフィック ディスプレイに表示して、それを印刷するには **[OK]** を押します。その写真にチェック マークが付きます。◄ または ► で、次の写真を表示するか前の写真に戻ります。写真は 1 枚ずつ表示されます。◄ または ► を押し続けると、次の写真をさらに早く表示できます。

   注意： また、印刷対象の写真のインデックス番号を入力することで写真を選択することもできます。範囲 [21-30] を指定するには、シャープ記号 (#) を押してください。写真のインデックス番号の入力が終わったら [OK] ボタンを押してください。写真のインデックス番号が分からない場合は、印刷する個々の写真を選択する前に写真のフォト シートを印刷してください。

   注意： **[フォト]** を押して **[フォト メニュー]** を表示し、用紙の種類、ページ サイズなどのメモリ カード印刷オプションを変更します。デフォルト設定に加えた変更は、その印刷ジョブが完了すると元に戻ります。

3 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押して、選択した写真を印刷します。

ヒント： フロント パネルから [回転] ボタンを押すと、この印刷ジョブで現在の写真を回転できます。印刷が完了すると、この写真は元の方向に戻ります。

フチなし印刷を実行する

HP PSC には、メモリ カード内のデジタル写真をフチなし印刷に変換できるという特長があります。

1 メモリ カードを HP PSC の適切なスロットに挿入します。
[フォト] ボタンが点灯します。

2 写真をカラー グラフィック ディスプレイに表示して、それを印刷するには **[OK]** を押します。その写真にチェック マークが付きます。◄ または ► で、次の写真を表示するか前の写真に戻ります。写真は 1 枚ずつ表示されます。◄ または ► を押し続けると、次の写真をさらに早く表示できます。

注意： また、印刷対象の写真のインデックス番号を入力することで写真を選択することもできます。シャープ記号 (#) を押し、範囲を指定してください : 21-30。写真のインデックス番号の入力が終わったら [OK] ボタンを押してください。

3 **［フォト］**を押し、次に **［2］**を押します。
[フォト メニュー] が表示されますので、[フチなし] を選択します。

4 **[2]** を押して **[フチなし]** をオンにします。
[フチなし] オプションを有効にすると、[画像サイズ]、[レイアウト スタイル]、[フチとフレーム] オプションがグレーになって [フォト メニュー] から選択できなくなります。このほかのメニューでも、フチなし印刷で対応していない選択肢は、すべてグレーになります。

5 **[用紙の種類]** と **[用紙サイズ]** メニューから用紙の種類と用紙サイズを選択します。フチなし印刷に適切な選択肢のみが選択できます。

6 給紙トレイに適切なサイズのフォト用紙がセットされていることを確認してください。HP PSC に、この作業を求めるメッセージが表示されます。

7 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押して、選択した写真をフチなし印刷します。

写真の選択解除

フロント パネルから写真を選択解除できます。

- 以下のいずれかを実行してください。
  – ディスプレイに表示されている写真を選択解除するには、**[OK]** を押します。
  – すべての写真を選択解除するには、**[キャンセル]** を 2 回押します。

現在の写真を印刷するのにクイック印刷を利用する

クイック印刷機能を使うと、現在カラー グラフィックディスプレイに表示している写真を次のように簡単に印刷できます。

1 メモリ カードを HP PSC の適切なスロットに挿入します。

2 印刷対象の写真を選択します。

3 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押して、現在の設定で印刷します。

DPOF ファイルの印刷

Digital Print Order Format (DPOF) は、このフォーマットをサポートしているデジタル カメラによって作成される、業界標準のフォーマットです。カメラで選択する写真とは、ユーザがデジタル カメラで印刷しようとタグをつけて選択した写真です。カメラから写真を選択すると、どの写真にタグがついて選択されているかを示す Digital Print Order Format (DPOF) ファイルをカメラが作成します。HP PSC ではこの DPOF ファイルをメモリ カードから読み取ることができるため、印刷対象の写真を選択しなおす必要がなくなります。

注意 : しかしすべてのデジタル カメラが印刷対象の写真にタグを付けて選択できるとは限りません。お使いのデジタル カメラで Digital Print Order Format (DPOF) がサポートされているかどうかは、デジタル カメラのマニュアルを参照してください。HP PSC では DPOF ファイル フォーマットの 1.1 をサポートしています。

カメラで選択した写真を印刷すると、HP PSC による印刷設定は適用されず、DPOF ファイルによる写真レイアウトと部数の設定が HP PSC 優先されます。

DPOF ファイルはデジタル カメラによってメモリ カードに保存されます。このファイルには次の情報が指定されています。

- 印刷対象の写真
- 各写真の印刷枚数

カメラで選択した写真を印刷するには

1 メモリ カードを HP PSC の適切なスロットに挿入します。DPOF タグが付いた写真がメモリ カードにあれば、**[DPOF 写真を印刷しますか ?]** というプロンプトがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

2 以下のいずれかを実行してください。
   - メモリ カード内の DPOF のタグが付いた写真をすべて印刷するには **[1]** を押してください。
   - DPOF による印刷を行わない場合は **[2]** を押してください。

スライド ショーの写真を表示する

フロント パネルから [スライド ショー] ボタンを選択すると、メモリ カード内の写真がすべてスライド ショーのように表示されます。

1 メモリ カードが HP PSC の適切なスロットに挿入されていることを確認してください。

   [フォト] ボタンが点灯します。

2 **[スライド ショー]** を押してスライド ショーを開始します。

   ヒント : スライド ショーに現在表示している写真を印刷するには、その写真が表示されたままの状態で [スタート] - [モノクロ] または [スタート] - [カラー] を押します。

3　スライド ショーを終了するには **[キャンセル]** を押します。

スライド ショーの魅力は充分ですか？スライド ショーをもっと魅力的なものにするには：ご使用のコンピュータに内蔵または外付けの CD ライターがあれば、写真を集めてマルチメディアによるプレゼンテーションを作成することができます。これには、HP ディレクタからメモリ ディスクの機能を使用します。HP ディレクタを起動し、HP フォト イメージング ギャラリを開きます。[CD の作成] タブをクリックすると、選択した写真による映画のようなプレゼンテーションが作成されます。さらに音楽や題名などいろいろと追加することもできます。Macintosh の場合、メモリ ディスクについては、**hp フォト イメージング ヘルプ** マニュアルの **hp ギャラリ**のセクションを参照してください。

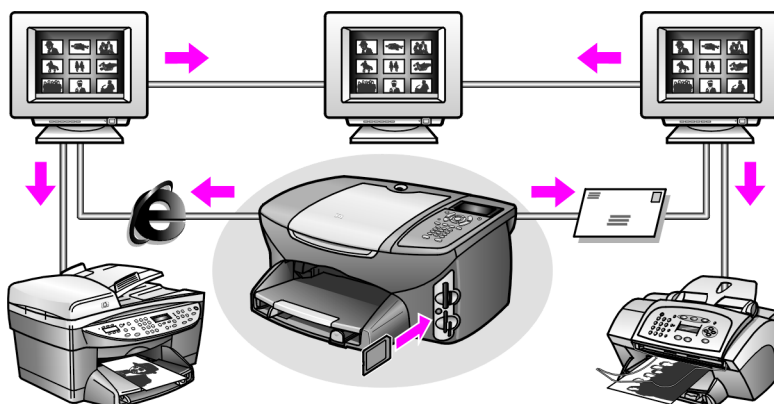
スライド ショーの速度を変更する

スライド間隔を変えることによって、スライド ショーの速度を変更することができます。

1　**[セットアップ]** ボタンを 2 回押します。
2　[**7**] を押し、次に [**3**] を押します。
　[プリファレンス メニュー] が表示され、[プロンプト遅延時間] が選択されます。
3　変更後の速度の横にある番号を押します。以下のオプションからいずれかを選んでください。
　– **1. 標準** (デフォルト : 5 秒)
　– **2. はやい** (3 秒)
　– **3. おそい** (10 秒)

hp instant share でデジタル写真を共有する

HP Instant Share を使用すると、家族や友人と写真を共有できます。

- 電子メールに添付
- オンライン アルバム
- 高画質印刷

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 66 ページの 「電子メールで写真を共有する」
- 66 ページの 「[共有メニュー] で写真を共有する」

  注意 : HP Instant Share を使用して写真を共有できるようにする前に、ネットワークで使用するために HP PSC 2550 を HP Instant Share の Web サイトに登録し、HP Instant Share を設定し、HP PSC を設定しなければなりません。通常は、HP Instant Share のセットアップは、インストール プロセス中に行います。詳細については、『リファレンス ガイド』の章「HP Instant Share のセットアップ」を参照してください。これが行えない場合でも、HP PSC 2550 がインターネットにアクセスできるコンピュータに接続され、しかもそのコンピュータに HP フォト イメージング ギャラリ (HP ギャラリ) ソフトウェアがインストールされている場合は、HP Instant Share のソフトウェア機能を使用することができます。

電子メールで写真を共有する

HP PSC の [E メール] ボタンを押すと、電子メールアドレスのある人なら誰にでも簡単に送信できます。

1. 写真を 1 枚以上選択します。
2. **[E メール]** を押します。

   [電子メール一覧] が HP PSC 2550 のカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。希望する電子メール アドレスの番号を入力します。HP PSC は、写真を HP Instant Share Web サイトに送信し、また電子メール メッセージを写真へのリンクとともに受取人に送信します。

   注意 : HP PSC 2550 がネットワークに接続されていない場合、[E メール] ボタンは異なる機能を持ちます。選択された写真を HP PSC が HP ギャラリ に送り、HP Instant Share タブ トレイに電子メール メッセージの添付ファイルとして置かれるので、アドレスを付けてコンピュータから送信できます。

   Macintosh の場合 : ネットワークが存在しない場合は、HP PSC は選択された写真をお使いの Macintosh に送信します。その後、Macintosh に表示されるプロンプトに従うと、その写真を電子メールの添付ファイルとして送信することができます。詳細については、**hp フォト イメージング ヘルプ** マニュアルの **hp イメージング ギャラリ**のセクションを参照してください。

[共有メニュー] で写真を共有する

写真は、特殊な Web サイト上のオンライン アルバムで閲覧できるようにしたり、HP Instant Share の [共有メニュー] から電子メールで送信することにより、家族や友人と共有することができます。

1. メモリ カードが HP PSC の適切なスロットに挿入されていることを確認してください。
2. 写真を 1 枚以上選択します。
3. **[フォト]** を押し、次に **[9]** を押します。

[フォト メニュー] が表示されますので、[HP Instant Share] を選択します。[共有メニュー] が表示されます。メニューには、HP PSC 2550 を設定したときに送り先としてセットアップした HP Instant Share の電子メール名か、オンライン フォト Web サイトが表示されます。

4 希望する HP Instant Share の送り先の横にある番号を押します。

HP PSC は、その送り先に選択された写真を送信します。

Windows の場合 : HP PSC 2550 がネットワークに接続されていない場合は、[フォト メニュー] 上の [HP Instant Share] の項目は異なる機能を持ちます。HP PSC は、現在表示されている写真を、お使いのコンピュータに送信します。お使いのコンピュータに戻り、その指示に従います。

Macintosh の場合 : [HP ギャラリ] の [E メール] ボタンを使用することで画像を共有できますが、ネットワーク接続が存在しない場合は HP Instant Share の Web サイト機能は利用できません。Macintosh で電子メールを使用して写真を共有する場合の詳細については、**[HP フォト イメージング ヘルプ]** にある **[HP イメージング ギャラリ]** セクションを参照してください。

hp フォト イメージング ギャラリを使用する

画像ファイルの表示や編集は、HP ギャラリ を使って行うことができます。HP ギャラリ を使うことで、画像を印刷したり、家族や友人に電子メールやファクスで送ったり、画像を Web サイトにアップロードしたり、画像で遊んだりクリエイティブな印刷プロジェクトで使用したりすることができます。HP ソフトウェアはこれら以外にも、様々なことができます。HP PSC の機能を十分に活用するには、ソフトウェアをいろいろと使ってみてください。

Windows ユーザーの場合 : HP ギャラリを後から開くには、HP ディレクタを開き、それから HP ギャラリ アイコンをクリックしてください。

Macintosh ユーザーの場合 : HP ギャラリを後から開くには、HP ディレクタを開き、HP ギャラリ (OS 9) をクリックするか、ドック内で HP ディレクタをクリックするか、あるいは HP ディレクタ メニュー (OS X) の [ソフト] セクションで HP ギャラリを選択します。

5 コピー機能の使用

HP PSC を使用すると高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、アイロン プリント紙を含め、さまざまな種類の用紙で作成できます。特定の用紙サイズに合わせてオリジナルのサイズを拡大または縮小したり、コピーの色の明暗や強度を調整したり、特別なコピー機能を使用してポスターを作成したり、多様なサイズの写真を作成したり、OHP フィルムを作成したりすることもできます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

概要

コピーは HP PSC のフロント パネルから作成することも、HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) ソフトウェアから作成することもできます。コピー機能のほとんどはどちらの方法ででも利用できます。しかし、特別なコピー機能を使用するにはソフトウェアを利用するほうが簡単でしょう。

このセクションでは、HP PSC フロント パネルから行える一般的なコピー操作を説明します。HP ディレクタから行うコピー操作については、ソフトウェアに付属しているオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

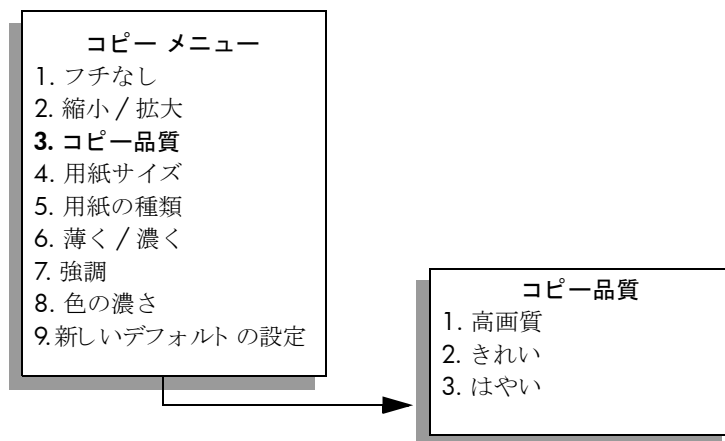
このセクションでは次のトピックについて説明します。

コピー速度を速くするまたはコピーの品質を高める

HP PSC には、コピー速度およびコピーの品質に関する 3 つのオプションがあります。

- きれい : 印刷を高品質で仕上げます。ほとんどのコピーに推奨される設定です。[きれい] 設定だと、[高画質] 設定の場合よりも速くコピーできます。
- 高画質 : あらゆる用紙を高画質で印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が発生しないように仕上げます。[高画質] でコピーを行った場合は、他の品質設定の場合よりも印刷に時間がかかります。
- はやい : [きれい] 設定の場合よりも速くコピーできます。文字の印刷品質は [きれい] 設定とそれほど変わりませんが、グラフィックスの品質は低下します。[はやい] 設定を選択するとインクの使用量が少なくなるため、カートリッジの交換回数も減ります。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。

2 ［コピー］ を 2 回押し、次に ［3］ を押します。
[コピー メニュー] が表示されますので、[コピー品質] を選択します。

3 ▼を押して、品質設定を選択します。次に **[OK]** を押します。

4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

デフォルト コピー設定の変更

コピー設定をフロント パネルまたは HP ディレクタから変更すると、その変更は現在のコピー ジョブにのみ適用されます。今後すべてのコピー ジョブにこのコピー設定を適用するには、その設定をデフォルト設定として保存します。

1 **[コピー メニュー]** の設定値は、必要な変更を加えることができます。

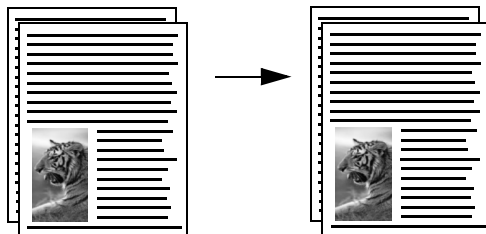
2 **[9]** を押して、**[コピー メニュー]** から **[新しいデフォルトの設定]** を選択します。

コピー メニュー
1. フチなし
2. 縮小 / 拡大
3. コピー品質
4. 用紙サイズ
5. 用紙の種類
6. 薄く / 濃く
7. 強調
8. 色の濃さ
9. **新しいデフォルト の設定**

3 **[OK]** を押して、デフォルト設定の変更を確定します。

ここで指定した設定は、HP PSC 本体にのみ保存されます。ソフトウェアの設定には適用されません。コピー設定の管理に HP ディレクタ ソフトウェアをご使用の場合は、HP の [コピー] ダイアログ ボックスから、一番よく使う設定をデフォルト設定にしてください。使用方法については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

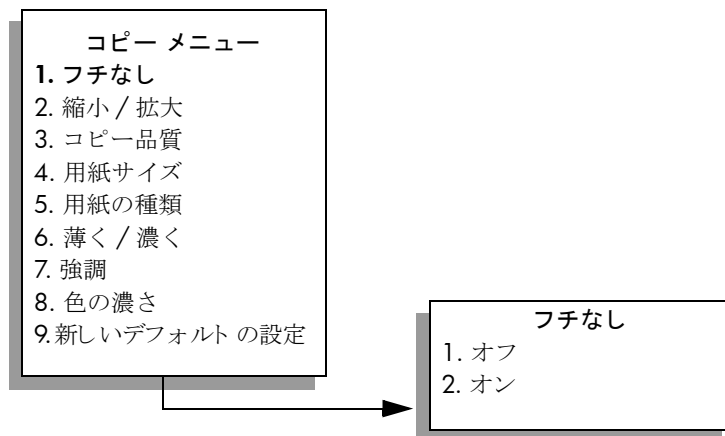
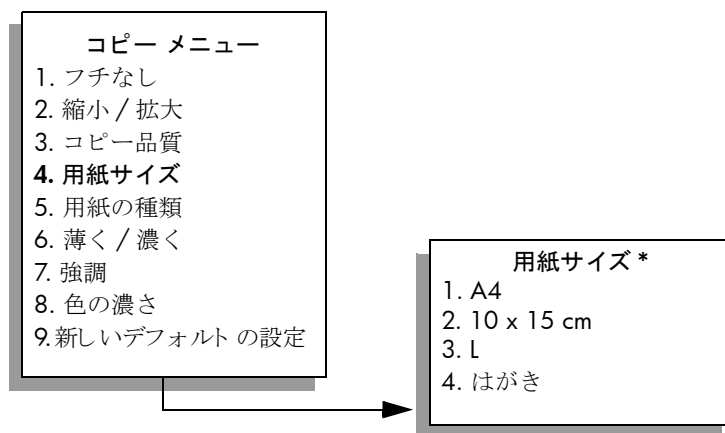
2 ページのモノクロ文書をコピーする

HP PSC を使用すると、1 ページの文書でも複数ページの文書でもカラーまたはモノクロでコピーできます。ここでは、HP PSC を使って 2 ページのモノクロ原稿をコピーする場合を例に説明します。

1 原稿の 1 ページ目の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
2 まだ点灯していなければ、**[コピー]** ボタンを押してください。
3 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンを押します。
4 ガラス板から 1 ページ目を取り除いて 2 ページ目を乗せます。
5 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンを押します。

写真を 10 x 15 cm の用紙にフチなしコピーする

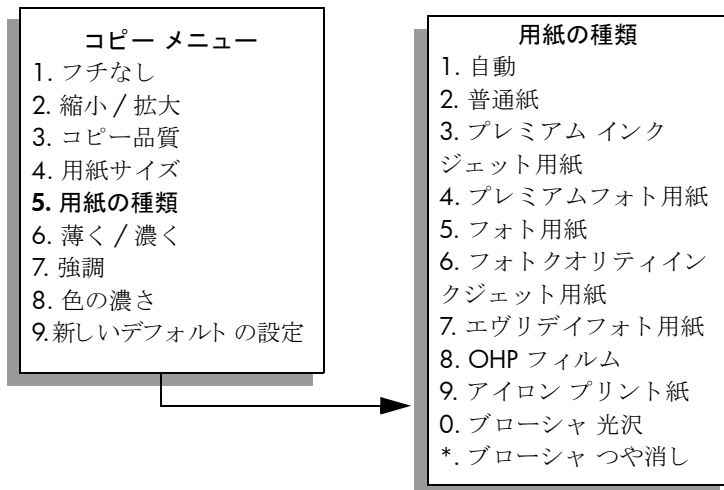
高画質で写真をコピーするときは、必ず用紙の種類および写真の強調設定について正しいオプションを選択してください。また、フォト プリント カートリッジを使用することでさらに印刷品質を高めることもできます。カラー

プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳しくは、127 ページの「フォト プリント カートリッジの使用」を参照してください。

1 原稿写真の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
2 10 x 15 cm フォトの用紙を給紙トレイにセットします。
3 ［コピー］を 2 回押し、次に［1］を押します。
[コピー メニュー] が表示されますので、[フチなし] を選択します。

4 ▼を押して、[オン] を選択します。次に [OK] を押します。
[縮小 / 拡大] は無効になるため、選択できません。
5 [4] を押して、[コピー メニュー] から [用紙サイズ] を選択します。

* 使用できる用紙サイズは国 / 地域によって異なります。

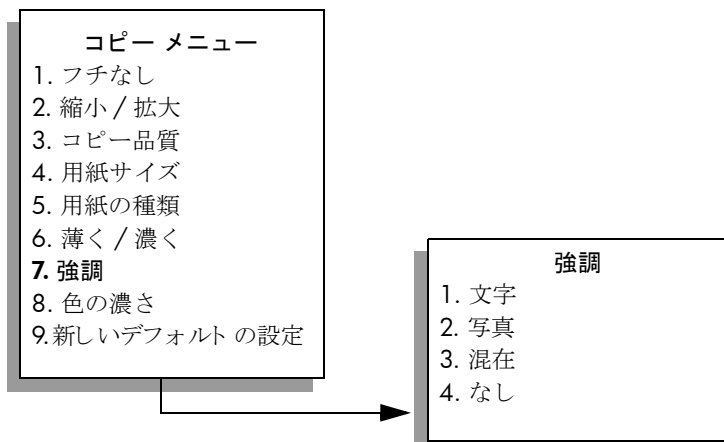
6 ▼を押して、[10 x 15 cm] を選択します。次に [OK] を押します。
7 [5] を押して、[コピー メニュー] から [用紙の種類] を選択します。

コピー メニュー
1. フチなし
2. 縮小 / 拡大
3. コピー品質
4. 用紙サイズ
5. 用紙の種類
6. 薄く / 濃く
7. 強調
8. 色の濃さ
9. 新しいデフォルト の設定

用紙の種類
1. 自動
2. 普通紙
3. プレミアム インクジェット用紙
4. プレミアムフォト用紙
5. フォト用紙
6. フォトクオリティインクジェット用紙
7. エヴリデイフォト用紙
8. OHP フィルム
9. アイロン プリント紙
0. ブローシャ 光沢
*. ブローシャ つや消し

注意 : [フチなし] を選択していると、[用紙の種類] から [自動] および [普通紙] は選択できません。

8 ▼ を押して、セットした用紙の種類を選択します。次に **[OK]** を押します。

注意 ! フチなしコピーを実行するには、フォト用紙またはその他の特殊用紙をセットしてください。普通紙をセットしていると、インクが用紙ににじみ出たり、本体に汚れが付いたりします。

9 **[7]** を押して、**[コピー メニュー]** から **[強調]** を選択します。

10 ▼を押して、**[写真]** 強調設定を選択します。次に **[OK]** を押します。

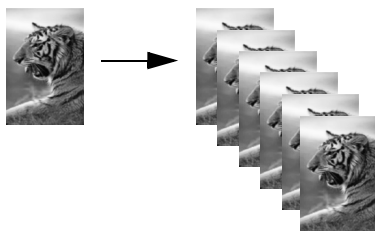
11 **[スタート] - [カラー]** を押します。

HP PSC で、以下のように原稿写真が 10 x 15 cm の用紙にフチなしコピーされます。

写真をコピーするには、HP PSC にインストールした HP ディレクタ ソフトウェアを使う方が簡単でしょう。HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、簡単に L 判や 10 x 15 cm の用紙に写真をフチなしコピーしたり、セットした用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小したりできます。また、[写真] 強調を選択すると最高画質で写真をコピーできます。HP ディレクタの機能の使用方法については、ソフトウェアに付属しているオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

原稿を複数コピーする

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
2 **[コピー]** ボタンを押します。
  [部数] 画面が表示されます。
3 ► を押すか、またはキーボードから部数を入力します。次に **[OK]** を押します。
  (最大部数はモデルによって異なります。
  ヒント： 矢印ボタンを押し続けるとコピー部数が 5 単位で増えるため、多部数のコピーを設定するのに便利です。
4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。
  これは、HP PSC で 10 x 15 cm の写真を 6 部コピーした場合の例です。

コピー

10 x 15 cm の写真を用紙のサイズに合わせてコピーする

原稿の実際のサイズでコピーすることもできますが、フチなし機能を使うと、給紙トレイにセットした用紙に合わせて写真を自動的に拡大 / 縮小してコピーできます。ここでは、[フチなし] を選択し、10 x 15 cm の写真を用紙に合わせてフチなしでコピーする場合を例に説明します。

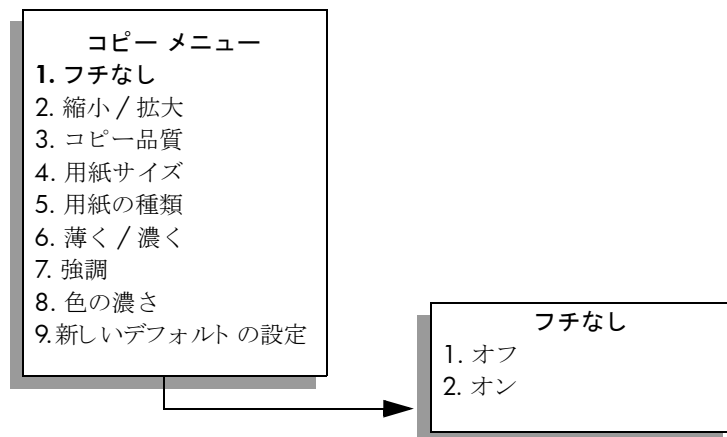
注意 : 原稿の縦横比を変えずにフチなしコピーを実行するため、HP PSC で端のほうの画像がトリミングされてしまうことがあります。

1 コピー ガラス板とカバーの裏側が汚れていないことを確認します。

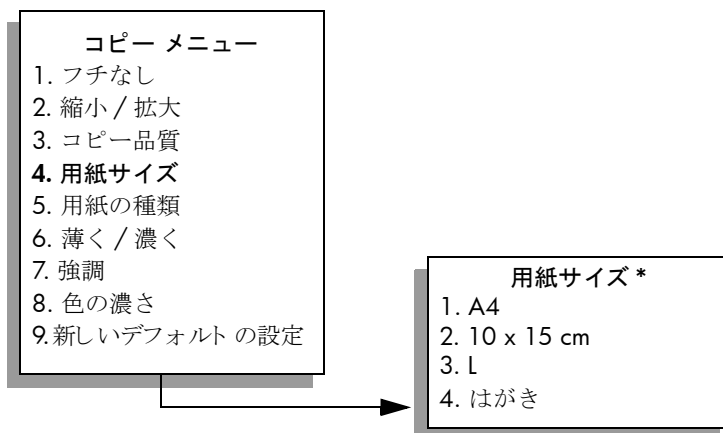
2 原稿写真の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

ヒント : 写真をコピーするには、フォト プリント カートリッジを使用することでさらに印刷品質を高めることもできます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳しくは、127 ページの 「フォト プリント カートリッジの使用」を参照してください。

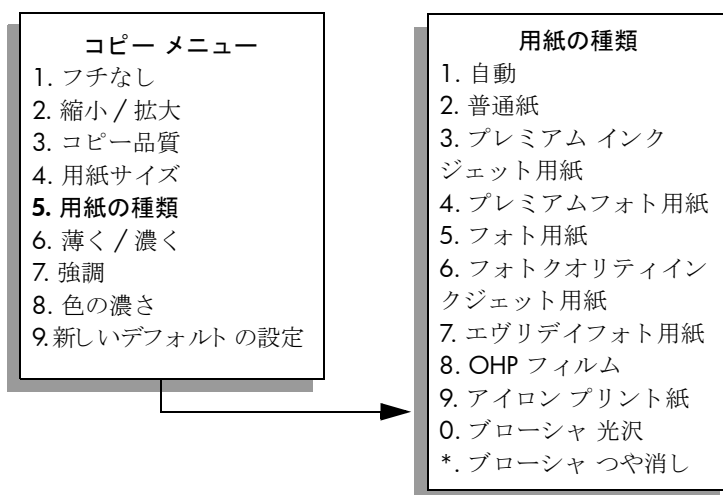
3 A4 フォト用紙を給紙トレイにセットします。

4 [コピー] を 2 回押し、次に [1] を押します。
[コピー メニュー] が表示されますので、[フチなし] を選択します。

5 ▼を押して、[オン] を選択します。次に [OK] を押します。
[縮小 / 拡大] は無効になるため、選択できません。

コピー

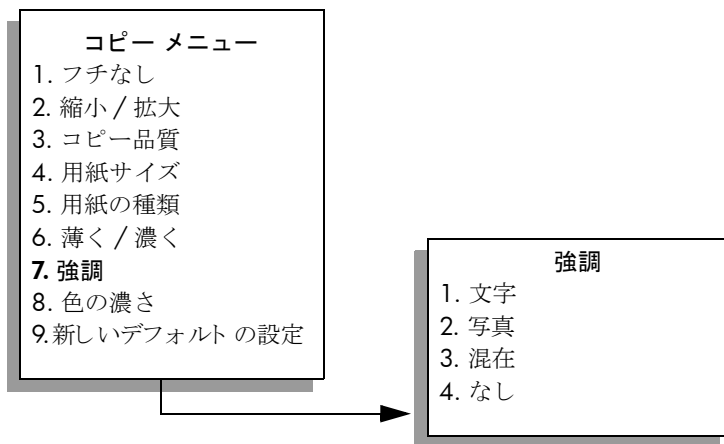
6 [4] を押して、[コピー メニュー] から [用紙サイズ] を選択します。

*** 使用できる用紙サイズは国 / 地域によって異なります。**

7 ▼ を押し、用途に応じて [A4] を選択します。次に [OK] を押します。

8 [5] を押して、[コピー メニュー] から [用紙の種類] を選択します。

注意 : [フチなし] を選択していると、[用紙の種類] から [自動] および [普通紙] は選択できません。

9 ▼ を押して、セットした用紙の種類を選択します。次に [OK] を押します。

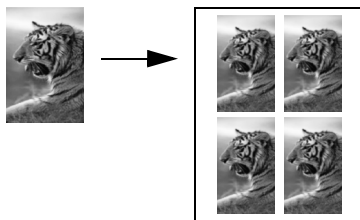
注意 ! フチなしコピーを実行するには、フォト用紙またはその他の特殊用紙をセットしてください。普通紙をセットしていると、インクが用紙ににじみ出たり、本体に汚れが付いたりします。

10 [7] を押して、[コピー メニュー] から [強調] を選択します。

11 ▼を押して、[写真] 強調設定を選択します。次に [OK] を押します。

12 [スタート] - [カラー] を押します。

1 ページに写真を複数コピーする

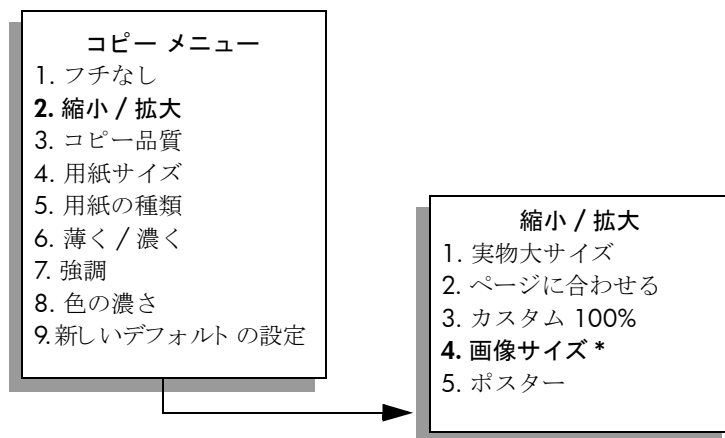
1 ページに複数のコピーを印刷するには、[コピー メニュー] から [縮小 / 拡大] で画像サイズを選択します。

画像サイズを選択すると、給紙トレイにセットした用紙に合わせて写真を複数コピーするかどうか、メッセージが表示されることがあります。大きな写真サイズを選択したため 1 ページに複数コピーできない場合は、[ページ全体に配置しますか？] メッセージは表示されません。

1 表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせて原稿の写真を乗せます。写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

2 [コピー] を 2 回押して [コピー メニュー] を表示します。

3 [2] を押し、次に [4] を押します。

コピー

[縮小 / 拡大] が選択され、[画像サイズ] が選択されます。

* 選択できる画像サイズは国 / 地域によって異なります。

4 ▼ を押して写真のコピー サイズを選択します。次に **[OK]** を押します。
選択した画像サイズによって、[ページ全体に配置しますか？] メッセージが表示されることがあります。ここで、給紙トレイにセットした用紙サイズに合わせて写真を複数コピーするか、または 1 つだけコピーするかを指定できます。
画像のサイズが大きい場合は、画像の数を選択するよう表示されることはありません。この場合、ページにコピーされる画像は 1 つだけです。

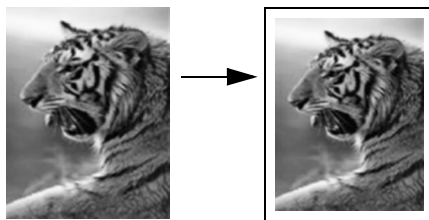
5 **[ページ全体に配置しますか ?]** メッセージが表示されたら、**[はい]** または **[いいえ]** のいずれかを選択します。次に **[OK]** を押します。

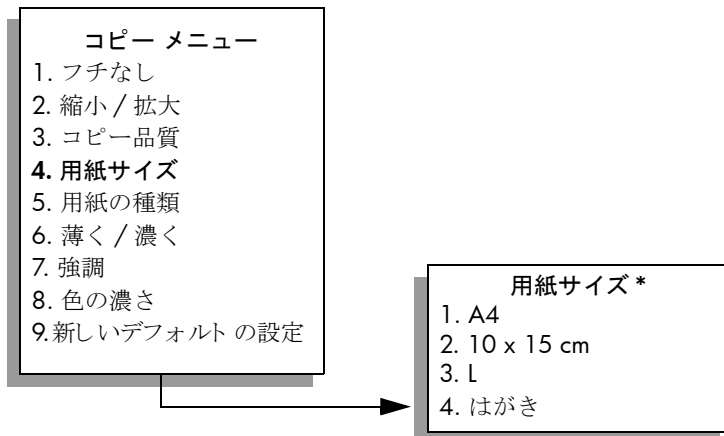
6 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

写真をコンピュータにスキャンすると、この機能は HP ディレクタ ソフトウェアからも利用できます。またこの他にも使用できる機能があります。HP ディレクタ ソフトウェアからは、異なるサイズの複数の写真をコピーすることもできます。HP PSC によって、給紙トレイにセットした用紙に入るだけの数の写真が調整されます。写真をコンピュータにスキャンして HP ディレクタのフォト プリント機能を利用するには、ソフトウェアに付属しているオンスクリーンの **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

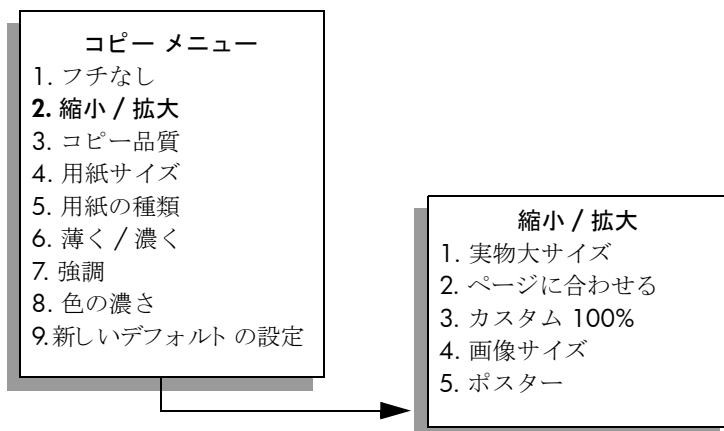
A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更する

原稿の画像や文字がページ全体に配置されていて余白が残っていない場合は、ページに合わせる機能を使って、原稿を縮小して端のほうの文字や画像が不必要にトリミングされてしまうのを防ぐことができます。

ヒント： また、［ページに合わせる］を使って、小さな写真を用紙サイズのプリント可能領域内に合わせて拡大することができます。原稿の縦横比を変えずに拡大する、または端をトリミングせずに拡大するため、HP PSC では端の方にある余白が不均一にそのまま残ることがあります。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。

2 [コピー] を 2 回押し、次に [4] を押します。
[コピー メニュー] が表示されますので、[用紙サイズ] を選択します。

* 使用できる用紙サイズは国 / 地域によって異なります。

3 ▼を押して、[A4] を選択します。次に [OK] を押します。

4 [2] を押して、[コピー メニュー] から [縮小 / 拡大] を選択します。

5 ▼を押して、[ページに合わせる] を選択します。次に [OK] を押します。

6 [スタート] - [モノクロ] ボタンまたは [スタート] - [カラー] ボタンを押します。

色あせた原稿をコピーする

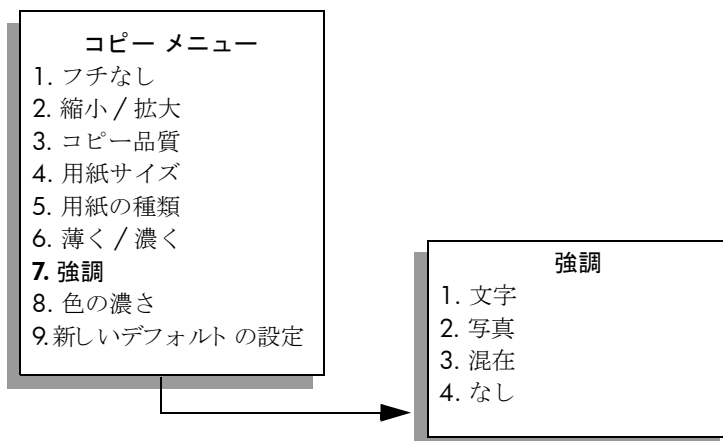
[薄く / 濃く] を使ってコピーの明暗を調節します。色の濃さを調整することで、コピーの色をより鮮やかに、あるいはより落ち着いたものにすることができます。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
2 [コピー] を 2 回押し、次に [6] を押します。
[コピー メニュー] が表示されますので、[薄く / 濃く] を選択します。
[薄く / 濃く] の値の範囲は、カラー グラフィック ディスプレイにスケールとして表示されます。
3 ► を押してコピーの色を暗くし、[OK] を押します。
注意 : コピーの色を薄くするには、◄ を押します。
4 [8] を押して、[コピー メニュー] から [色の濃さ] を選択します。
カラー強度の値の範囲は、カラー グラフィック ディスプレイにスケールとして表示されます。
5 画像を濃くするには ► を押して、[OK] を押します。
注意 : 画像を薄くするには、◄ を押します。
6 [スタート] - [カラー] を押します。

何回もファクスされた文書をコピーする

強調機能を使用すると、白に見えてしまうような薄い色が強調されてモノクロ文字のエッジがシャープになり、テキスト文書の画質が自動調整されます。

デフォルトのオプションは [文字] の強調です。[文字] の強調を使用すると、モノクロ文字のエッジがシャープになります。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
2 [コピー] を 2 回押し、次に [7] を押します。
[コピー メニュー] が表示されますので、[強調] を選択します。

3 ▼ を押して、[文字] 強調設定を選択します。次に [OK] を押します。

4 [スタート] - [モノクロ] ボタンまたは [スタート] - [カラー] ボタンを押します。

ヒント： 次のような場合は、[写真] または [なし] を選択して [文字] の強調をオフにすることができます。

– コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
– 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
– カラーで細いオブジェクトまたは線に、黒い部分がある。
– ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

コピーで明るい部分を強調する

白に見えてしまうような薄い色を強調するには、[写真] 強調を選択します。[文字] 強調でコピーするときに起こりそうな以下のような問題を防ぐために、[写真] 強調でコピーすることもできます。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーで細いオブジェクトまたは線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

1 原稿写真の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

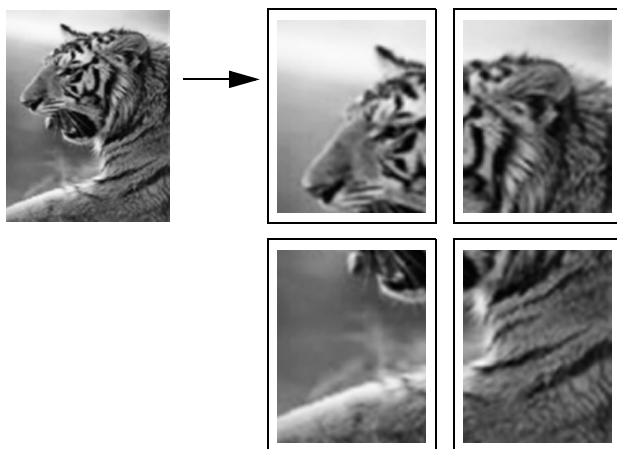
2 ［コピー］ を 2 回押し、次に ［7］ を押します。
[コピー メニュー] が表示されますので、[強調] を選択します。

3 ▼を押して、[写真] 強調設定を選択します。次に [OK] を押します。

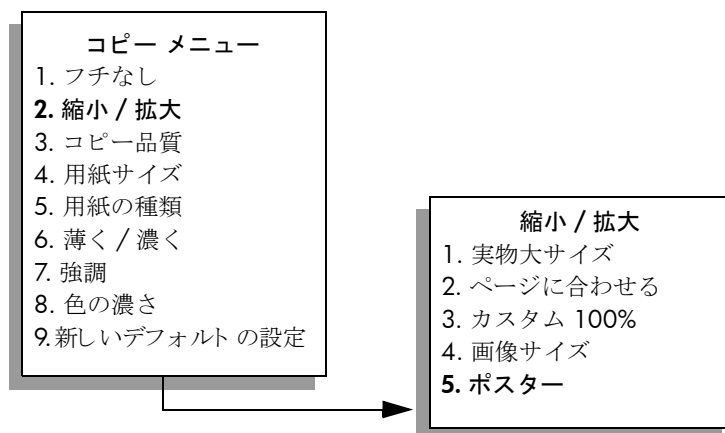
4 [スタート] - [カラー] を押します。

HP PSC にインストールした HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、コピー対象の写真と文書の強調設定が簡単に設定できます。マウスを 1 回クリックするだけで、写真は [写真] 強調でコピーする、文字は [文字] 強調でコピーする、画像と文字が混在する文書は [写真] と [文字] の両方を強調してコピーする、などの設定が行えます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

ポスターの作成

ポスター機能を使用すると、1 枚の原稿を数枚に分割して、A4 用紙に拡大コピーしてからつなぎ合わせて 1 枚のポスターを作成することができます。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
   写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
2 [コピー] を 2 回押して [コピー メニュー] を表示します。
3 [2] を押し、次に [5] を押します。
   [縮小 / 拡大] が選択され、[ポスター] が選択されます。

コピー メニュー
1. フチなし
2. 縮小 / 拡大
3. コピー品質
4. 用紙サイズ
5. 用紙の種類
6. 薄く / 濃く
7. 強調
8. 色の濃さ
9. 新しいデフォルト の設定

縮小 / 拡大
1. 実物大サイズ
2. ページに合わせる
3. カスタム 100%
4. 画像サイズ
5. ポスター

4 ▼を押して、ポスターのページ幅を選択します。次に [OK] を押します。
   デフォルトのポスター サイズは 1 ページ分です。

5 [スタート]-[モノクロ]ボタンまたは[スタート]-[カラー]ボタンを押します。

ポスターの幅を選択したら、HP PSC では原稿の縦横比を維持するよう自動的に高さを調整します。

ヒント：選択したポスター サイズが最大ズーム倍率を超えているため原稿を拡大できない場合は、拡大可能なページ幅の数を知らせるエラーメッセージが表示されます。もう少し小さいポスター サイズを選択し、もう一度コピーしてください。

コンピュータ上の HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、さらにクリエイティブな写真加工が可能です。写真をコンピュータにスキャンするだけで、[HP ディレクタ クイック プロジェクト] ツールから、ポスターやバナー、アイロン プリント紙などを写真から作成できます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

カラーのアイロン プリント紙の作成

画像または文字を アイロン プリント紙にコピーし、それから T シャツにアイロン プリントすることができます。

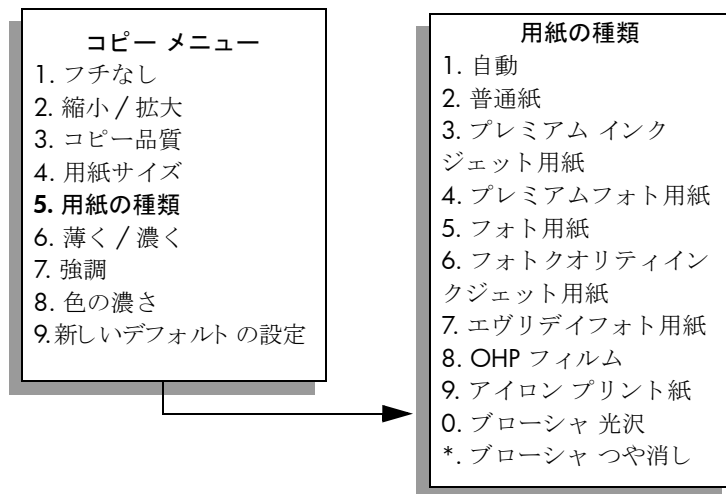
ヒント：古着を使って アイロン プリント紙のアイロン プリントを練習することをお奨めします。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。

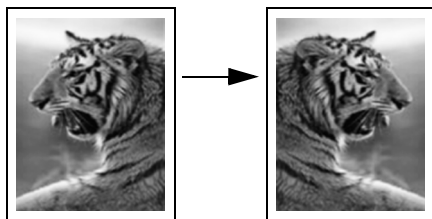
写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

2 アイロン プリント紙を給紙トレイにセットします。

3 ［コピー］を 2 回押し、次に［5］を押します。

[コピー メニュー] が表示されますので、[用紙の種類] を選択します。

4 ▼を押して、**[アイロン プリント紙]** を選択します。次に **[OK]** を押します。

5 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

用紙の種類で [アイロン プリント紙] を選択すると、HP PSC では以下のように原稿の左右反転が自動的にコピーされます。そのため、T シャツにアイロン プリントすると元通りの状態でプリントされます。

コピーの中止

‣ コピーを中止するには、フロントパネルの **[キャンセル]** ボタンを押します。

6 スキャン機能の使用

スキャンとは、コンピュータで使用できるよう、テキストや写真を電子的な形式に変換する過程のことです。写真、雑誌記事、テキスト文書などほとんどあらゆるものがスキャンできます。ガラス面に傷をつけさえしなければ、立体物のスキャンも行うことができます。

スキャンされた画像やテキストは電子フォーマットであるため、ワード プロセッサやグラフィックス アプリケーションに取り込み、必要に合わせて修正することが可能です。たとえば次のようなことが可能です。

- 記事からテキストをワード プロセッサにスキャンして記事の内容をレポートに取り込むことで、入力し直す手間を大幅に省く。
- ロゴをスキャンしてパブリッシング ソフトウェアで使用することで、名刺やカタログを自分で印刷する。
- 子供の写真をスキャンして親戚に E メールで送付することや、家庭やオフィスの写真目録、電子スクラップブックを作成する。

スキャン機能を使用するには、HP PSC とコンピュータとを接続して電源をオンにする必要があります。また、スキャンを実行するに先だってコンピュータに HP PSC ソフトウェアをインストールし、そして実行しておく必要もあります。Windows PC 上で HP PSC ソフトウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるシステム トレイに HP PSC 2550 のアイコンが表示されていることを確認します。Macintosh の場合、HP PSC ソフトウェアは常に動作しています。

スキャンはコンピュータから行うこともできますし、HP PSC から行うこともできます。ここでは、HP PSC のフロント パネルによるスキャン方法についてのみ説明します。

コンピュータからスキャンを実行する方法や、スキャン結果の調整、サイズ変更、回転、トリミング、および鮮明化については、ソフトウェアに添付されているオンライン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 85 ページの 「原稿のスキャン」
- 90 ページの 「スキャンの中止」

原稿のスキャン

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 86 ページの 「hp psc に直接接続されているコンピュータにスキャン結果を送信する」
- 86 ページの 「ネットワーク経由で hp psc に接続されているコンピュータにスキャンを送信する」
- 88 ページの 「hp instant share 経由で設定した送り先にスキャンを送信する」
- 90 ページの 「スキャン結果を hp psc 内のメモリ カードに送信する」

hp psc に直接接続されているコンピュータにスキャン結果を送信する

HP PSC を USB ケーブルでコンピュータに直接接続している場合は、次の手順に従います。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を置きます。
2 まだ点灯していなければ、**[スキャン]** ボタンを押してください。
   [スキャン メニュー] が表示され、スキャン先の設定が一覧表示されます。デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。

スキャン メニュー
1. HP フォト イメージング ギャラリ
2. HP Instant Share
3. MS Powerpoint
4. Adobe Photoshop
5. メモリ カード

3 デフォルトのスキャン先を選択するには、**[OK]** を押してください。別のスキャン先を選択するには、▼ を押してスキャン先を選択して **[OK]** を押すか、またはキーパッドからその番号を入力します。
4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。
   スキャンの プレビュー画像がコンピュータの [HP スキャン] ウィンドウに表示されます。ここから編集が行えます。
   プレビュー画像の編集の詳細については、ソフトウェアに添付されているオンライン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。
5 **[HP スキャン]** ウィンドウでプレビュー画像に自由に編集を行います。編集が終了したら、**[適用]** をクリックします。
   スキャンした内容が HP PSC から選択したスキャン先に送信されます。HP フォト イメージング ギャラリ (HP ギャラリ) を選択していた場合は、自動的にその画像が開いて表示されます。

HP ギャラリには、スキャンした画像を編集できるツールが多数用意されています。明度、鮮明度、カラー トーン、彩度などを調整することによって画像の品質を全体的に向上させることができます。画像のトリミング、歪み補正、回転、サイズ変更も行えます。スキャンした画像が目的どおりに表示されたら、それを別のアプリケーションで開いたり、電子メールでの送信、ファイルへの保存、印刷を行うことができます。HP ギャラリの使用方法の詳細については、ソフトウェアに添付されているオンライン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

ネットワーク経由で hp psc に接続されているコンピュータにスキャンを送信する

ご使用の HP PSC がネットワークを経由して 1 台以上のコンピュータに接続している場合は、次の手順に従ってください。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を置きます。

2 まだ点灯していなければ、[スキャン] ボタンを押してください。
[スキャン メニュー] が表示され、オプションが一覧表示されます。

スキャン メニュー
1. コンピュータを選択します
2. HP Instant Share
3. メモリ カード

3 [コンピュータを選択します] を選択するには、[1] を押してください。
HP PSC に接続されているコンピュータが一覧表示された [ネットワーク メニュー] が表示されます。

スキャンメニュー
1. PC1 (USB 接続)
2. PC2 (ネットワーク接続)
3. PC3 (ネットワーク接続)
4. Mac1 (ネットワーク接続)

注意：USB 接続されているコンピュータ、およびネットワーク接続されているコンピュータが [ネットワーク メニュー] に一覧表示されます。

4 デフォルトのコンピュータを選択するには、[OK] を押してください。
別のコンピュータを選択するには、▼ を押してコンピュータを選択して [OK] を押すか、またはテンキーパッドからその番号を入力します。
[スキャン メニュー] が表示され、スキャン先の設定が一覧表示されます。デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。

スキャン メニュー
1. HP フォト イメージング ギャラリ
2. HP Instant Share
3. MS Powerpoint
4. Adobe Photoshop
5. メモリ カード

5 デフォルトのスキャン先を選択するには、[OK] を押してください。別のスキャン先を選択するには、▼ を押してスキャン先を選択して [OK] を押すか、またはキーパッドからその番号を入力します。

6 [スタート] - [モノクロ] ボタンまたは [スタート] - [カラー] ボタンを押します。

HP ギャラリを選択すると、コンピュータの [HP スキャン] ウィンドウにスキャンのプレビュー画像が表示されます。ここから編集が行えます。

プレビュー画像の編集について詳しくは、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

7 **[HP スキャン]** ウィンドウから、プレビュー画像に編集を行います。編集が終了したら、**[適用]** をクリックします。

スキャンした内容が HP PSC から選択したスキャン先に送信されます。HP ギャラリを選択していた場合は、自動的にその画像が開いて表示されます。

HP ギャラリには、スキャンした画像を編集できるツールが多数用意されています。明度、鮮明度、カラー トーン、彩度などを調整することによって画像の品質を全体的に向上させることができます。画像のトリミング、歪み補正、回転、サイズ変更も行えます。スキャンした画像が目的どおりに表示されたら、それを別のアプリケーションで開いたり、電子メールでの送信、ファイルへの保存、印刷を行うことができます。HP ギャラリの使用方法の詳細については、ソフトウェアに添付されているオンライン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

hp instant share 経由で設定した送り先にスキャンを送信する

HP Instant Share を使用すると、電子メールのメッセージやオンライン フォト アルバムを通して写真を家族や友人と共有したり、高品質のプリントをオンラインで注文することができます。HP PSC のフロント パネルから利用できる HP Instant Share の機能を十分に活用するためには､お使いの HP PSC をネットワーク上でセットアップし、簡単なオンライン登録プロセスを完了しておくことが必要です。HP Instant Share のセットアップについては、181 ページの 「HP Instant Share のネットワーク設定と使用」を参照してください。

注意 : HP PSC をネットワーク上でセットアップしなかった場合でも、HP Instant Share を使用して写真を共有することは可能です。ただし、手順はここに説明するものとわずかに異なります。セットアップした共有の送り先は、カラー グラフィック ディスプレイのメニューからは利用できません。代わりに、HP ギャラリ から HP Instant Share に手動でアクセスする必要があります。

HP Instant Share にいったん登録した後は、アカウントのカスタマイズを開始できます。これには、ネットワークに接続した HP PSC 用に電子メールのアドレス帳や共有の送り先をセットアップすることが含まれます。共有の送り先を設定すると、スキャンした写真を 1 人の受取人か 1 つのグループに属する受取人に送信したり、オンラインの共有フォト アルバムに送信できます。

スキャンした写真はまた、HP フォト処理センターに送信することもできます。このセンターで、本人や家族、友人が任意のサイズの高品質プリントを注文することができます。共有の送り先のセットアップについては、182 ページの 「hp instant share の登録 (Windows)」を参照してください。

スキャンを hp instant share の送り先に保存するには

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。

2 まだ点灯していなければ、**[スキャン]** ボタンを押してください。

[スキャン メニュー] が表示され、スキャン先の設定が一覧表示されます。お使いの HP PSC がネットワークを介してコンピュータに接続されている場合は、次に示すように、メニューの最初のオプションは [コンピュータを選択します] になります。

スキャン メニュー
1. コンピュータを選択します
2. HP Instant Share
3. メモリ カード

注意： [スキャン メニュー] の最初のオプションが [HP フォト イメージング ギャラリ] である場合は、お使いの HP PSC がネットワーク上でセットアップされていません。ここで説明した、スキャンした写真の共有は不可能です。HP PSC が Windows PC に直接接続されている場合は、HP ギャラリ を介して HP Instant Share に手動でアクセスする必要があります。HP PSC が Macintosh に直接接続されている場合は、写真は電子メールを介してのみ共有することができます。

3 **[HP Instant Share]** を選択するには、**[2]** を押してください。

[共有メニュー] が表示されます。これには、HP PSC 用にセットアップした共有の送り先のリストが含まれます。

注意： [共有メニュー] の送り先は、送り先をオンラインで設定したときに入力した [送り先の名前] によって一覧表示されます。間違いを防ぐため、特定の送り先にスキャンを送信する場合は簡単に識別できる名前を使用するようにします。例えば、次に示すように、「Mom E-mail」や「Family Album 2003」などを使用します。

共有メニュー
1. Mom E-mail
2. Family Album 2003
3. Baby Pictures
4. HP フォト

4 ▼ を押してスキャンの送信先を選択します。次に **[OK]** を押します。

5 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

HP PSC が写真をスキャンし、選択された送り先に送信します。選択された送り先が電子メールの受取人 （または電子メールの受取人のグループ）である場合、HP Instant Share はスキャンされた画像のサムネール プレビューを含む電子メール メッセージを、安全な HP Instant Share サーバに保存されたフルサイズの画像へのリンクとともに配信します。

スキャン結果を hp psc 内のメモリ カードに送信する

スキャンした画像は、HP PSC 上のメモリ カード スロットの 1 つに現在挿入されているメモリ カードに送信することができます。そのため、メモリ カード機能を使用すると、スキャンした画像からふちなしの印刷を実行したり、アルバム ページを作成したりできます。また、メモリ カードをサポートしているほかのデバイスから、スキャンした画像にアクセスすることもできます。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を置きます。

2 まだ点灯していなければ、**[スキャン]** ボタンを押してください。

[スキャン メニュー] が表示され、スキャン先の設定が一覧表示されます。デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。

スキャン メニュー
1. HP フォト イメージング ギャラリ
2. HP Instant Share
3. MS Powerpoint
4. Adobe Photoshop
5. メモリ カード

3 ▼ を押して **[メモリ カード]** を選択した後、**[OK]** を押します。

4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

HP PSC によって画像がスキャンされ、該当するファイルがメモリ カードに保存されます。

スキャンの中止

- スキャンを中止するには、フロント パネルの **[キャンセル]** ボタンを押します。

7

ファクス機能の使用

HP PSC から、カラー ファクスなどファクスの送受信が行えます。よく使用するファクス番号にすばやく簡単にファクスを送信するには、短縮ダイヤルを設定できます。フロント パネルからは、解像度やコントラストなどのファクス オプションがいくつか設定できます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 91 ページの 「ファクスの送信」
- 95 ページの 「ファクスの受信」
- 98 ページの 「ファクス ヘッダーの設定」
- 98 ページの 「文字の入力」
- 99 ページの 「レポートの印刷」
- 106 ページの 「短縮ダイヤルのセットアップ」
- 108 ページの 「解像度とコントラストの調整」
- 110 ページの 「ファクス オプションの設定」
- 114 ページの 「メモリにあるファクスを再印刷する」
- 114 ページの 「ファクスを中止する」

すべての機能を十分に活用するには、HP PSC に付属の HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) ソフトウェアをいろいろと使ってみてください。HP ソフトウェアを使用すると、HP PSC のフロント パネルから利用できないタスクが、これらの他にもまだあります。例えば次のようなことが行えます。

- コンピュータから表紙を含めてファクスを送信する
- コンピュータで表紙を作成する
- 送信前にコンピュータでファクスをプレビューする
- 複数の受信者にファクスを送信する

HP ディレクタ ソフトウェアの開き方については、37 ページの 「hp ディレクタ ソフトウェアによる hp psc のフル活用」を参照してください。

ファクスの送信

HP PSC のフロント パネルからモノクロまたはカラーでファクスを送信できます。

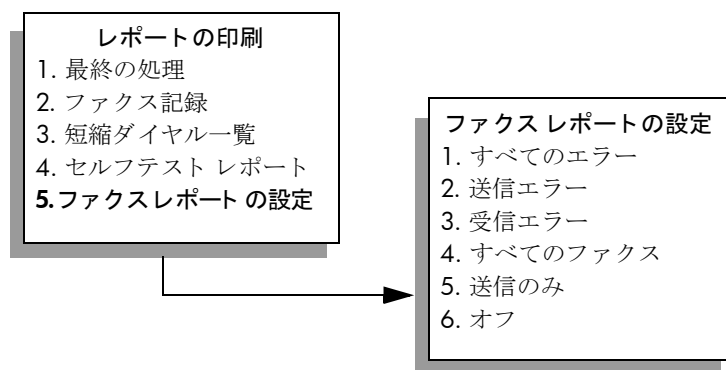
このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 92 ページの 「ファクスの確認レポートを有効にする」
- 92 ページの 「基本的なファクスの送信」
- 93 ページの 「2 ページのモノクロ ファクスを送信する」
- 94 ページの 「カラー原稿または写真付きファクスを送信する」
- 94 ページの 「短縮ダイヤルでファクスを送信する」

ファクスの確認レポートを有効にする

デフォルトでは、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP PSC でレポートが印刷されます。ファクスの送信に成功したかどうかを示す確認メッセージは、送信処理後にカラー グラフィック ディスプレイに簡単に表示されます。ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを紙に印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する*前に*次の手順を実行してください。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。

2 **[1]** を押し、次に **[5]** を押します。
これで [レポートの印刷] が選択され、それから [ファクス レポートの設定] が選択されます。

3 **[5]** を押し、次に **[OK]** を押します。
[送信のみ] が選択されます。

注意 : [送信のみ] レポートを選択すると、ファクス送信中に起こるすべてのエラーに対してレポートが印刷されます。

レポートの印刷の詳細については、99 ページの 「レポートの印刷」を参照してください。

基本的なファクスの送信

ここでは基本的なモノクロによるファクス送信方法を説明します。

複数ページのファクス送信については、93 ページの 「2 ページのモノクロ ファクスを送信する」を参照してください。カラー ファクスや写真付きファクスも送信できます。詳しくは、94 ページの 「カラー原稿または写真付きファクスを送信する」を参照してください。

1 1 ページ目の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
詳しくは、43 ページの 「原稿のセット」を参照してください。

2 **[ファクス]** を押します。
[ファクス番号を入力してください] 画面が表示されます。

3 ファクス番号を入力します。

ヒント : ファクス番号の中にポーズを入れるには、カラーグラフィックディスプレイにハイフン記号が表示されるまで # ボタンを繰り返し押します

ファクス

4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンを押します。
[スタート] - [モノクロ] を押すと、1 ページ目がメモリにスキャンされます。ページのスキャンが完了したら、別のページをスキャンするかどうか確認するメッセージがフロント パネルに表示されます。

5 別のページをファクスする場合は **[1] (はい)** を、しない場合は **[2] (いいえ)** を押してください。

2 ページのモノクロ ファクスを送信する

HP PSC からは 2 ページのファクスもそれ以上のファクスもモノクロで送信できます。

注意： カラー原稿や写真付きファクスも送信できます。詳しくは、94 ページの 「カラー原稿または写真付きファクスを送信する」 を参照してください。

1 1 ページ目の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
詳しくは、43 ページの 「原稿のセット」 を参照してください。

2 **[ファクス]** を押します。
[ファクス番号を入力してください] 画面が表示されます。

3 ファクス番号を入力します。

ヒント： ファクス番号の中にポーズを入れるには、カラーグラフィックディスプレイにハイフン記号が表示されるまで # ボタンを繰り返し押します

4 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンを押します。
[スタート] - [モノクロ] を押すと、1 ページ目がメモリにスキャンされます。ページのスキャンが完了したら、別のページをスキャンするかどうか確認するメッセージがフロント パネルに表示されます。

5 別のページをスキャンするには、**[1] (はい)** を押します。

6 メッセージが表示されたら、ガラス板から 1 ページ目を取り除いて 2 ページ目を乗せます。

7 **[OK]** を押して 2 ページ目をファクスします。
ページがメモリにスキャンされると、HP PSC によってファクス番号がダイヤルされ、ファクスが送信されます。

HP PSC に付属の HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、コンピュータからファクスを送信できます。ファクスとともに送信する表紙もコンピュータで作成して付けることができます。とても簡単です。
詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

ファクス

カラー原稿または写真付きファクスを送信する

HP PSC からは、カラー原稿や写真をファクスすることができます。カラーファクスを送信したが、受信側のファクスがモノクロのみ対応のファクスだった場合、ファクスはモノクロで送信されます。

カラー ファクス送信は、原稿がカラーの場合のみ使用するようお奨めします。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
   詳しくは、43 ページの 「原稿のセット」 を参照してください。

   ヒント： 10 x 15 cm の写真を中央に寄せるには、まず A4 用紙の中央に写真を置いてから、それをガラス板に乗せます。

2 **[ファクス]** を押します。
   [ファクス番号を入力してください] 画面が表示されます。

3 ファクス番号を入力します。

   ヒント： ファクス番号の中にポーズを入れるには、カラーグラフィックディスプレイにハイフン記号が表示されるまで # ボタンを繰り返し押します。

4 写真をファクスするには、解像度を **[写真]** に変更することを推奨します。解像度の変更の詳細については、108 ページの 「解像度の変更」 を参照してください。

5 **[スタート] - [カラー]** を押します。
   [スタート] - [カラー] を押すことでファクス番号がダイヤルされ、そしてページがスキャンされて送信されます。

HP PSC に付属の HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、コンピュータからファクスを送信できます。ファクスとともに送信する表紙もコンピュータで作成して付けることができます。とても簡単です。
詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

短縮ダイヤルでファクスを送信する

[短縮ダイヤル] を使用すると、HP PSC からすばやくファクスを送信できます。

短縮ダイヤル番号が先に設定されていなければ [短縮ダイヤル] は表示されません。詳しくは、106 ページの 「短縮ダイヤルのセットアップ」 を参照してください。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
   詳しくは、43 ページの 「原稿のセット」 を参照してください。

2 **[ファクス]** を押します。
   [ファクス番号を入力してください] 画面が表示されます。

ファクス番号を入力してください
_
[リダイヤル] には ▲ を押します。
[短縮ダイヤル] には、▼ を押します。
設定には [ファクス] を押します。

3 **[短縮ダイヤル]** を利用するには ▼ を押します。

ヒント： ▲ を押すと、最後にダイヤルした番号をリダイヤルできます。

4 目的の短縮ダイヤルが表示されるまで ▼ を押し続けます。

5 **[OK]** を押します。

6 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

ページのスキャンが完了したら、別のページをスキャンするかどうか確認するメッセージがフロント パネルに表示されます。別のページをファクスする場合は [1] (はい) を、しない場合は [2] (いいえ) を押してください。[1] を押した場合、次のオリジナル原稿をセットするよう求めるメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、オリジナル原稿をガラス板にセットして [OK] ボタンを押してください。

短縮ダイヤル グループはサポートされていません。HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、短縮ダイヤル エントリをコンピュータからすばやく簡単に設定できます。
詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

ファクス

ファクスの受信

HP PSC がどのようにセットアップされているかによって、ファクスを自動で受信できるかそれとも手動で受信する必要があるかが決まります。[応答するまでの呼び出し回数] の設定で [応答しない] を設定していない限り、受信したファクスは自動で印刷されるように設定されています。[応答するまでの呼び出し回数] の詳細については、96 ページの 「応答までの呼び出し回数の設定」を参照してください。

リーガル サイズのファクスを受信した場合で、リーガル サイズの用紙を使用するよう HP PSC で設定されていなければ、セットされている用紙に収まるようファクスのサイズが自動的に縮小されます。自動縮小機能が無効になっていると、ファクスは 2 ページにわたって印刷されます。詳しくは、111 ページの 「着信ファクスに自動縮小を設定する」を参照してください。

HP PSC と同じ電話回線に留守電が接続されている場合、HP PSC がファクスを受信するまでに必要な呼び出し回数を設定しなければなりません。
HP PSC がファクスを受信するまでのデフォルトの呼び出し回数は、国 / 地域によって異なりますが 6 です。応答するまでの呼び出し回数を設定する詳細については、96 ページの 「応答までの呼び出し回数の設定」を参照してください。

電話会社からボイス メール サービスを利用している場合は、手動でファクスに応答するよう HP PSC に設定することもできます。

HP PSC を留守番電話やボイス メールなど他のオフィス機器と一緒に使用できるようにするには、159 ページの 「ファクスのセットアップ」を参照してください。

> **注意：** 写真を印刷できるようフォト プリント カートリッジをセットしている場合、ファクスを受信するときはモノクロ プリント カートリッジに交換するとよいでしょう。詳しくは、122 ページの 「プリント カートリッジの保守」を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 「応答までの呼び出し回数の設定」
- 「ファクスの着信に手動で応答するよう hp psc を設定する」
- 「ファクスを手動で受信する」

応答までの呼び出し回数の設定

HP PSC が自動的に電話に応答する前に何回呼び出しを行うか、その回数を指定することができます。デフォルトの呼び出し回数は 6 回です (国 / 地域によって異なります)。

HP PSC が電話に自動応答しないよう設定するには、[応答するまでの呼び出し回数] を [応答しない] に設定します。

1. **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. **[3]** を押し、そしてもう一度 **[3]** を押します。

   これで [ファクスの基本的な設定] が選択され、それから [応答するまでの呼び出し回数] が選択されます。
3. 目的の応答するまでの呼び出し回数が表示されるまで ▼ を押し続けます。

   この電話回線に留守番電話がつながっている場合は、HP PSC が応答するより前に留守番電話が応答するよう設定してください。HP PSC の [応答するまでの呼び出し回数] には、留守電に応答する回数よりも多い回数を設定しなければなりません。

   留守番電話は HP PSC より*前に*応答するようにします。HP PSC はファクスのトーン信号が検出されると応答します。
4. **[OK]** ボタンを押して設定を確定します。
5. この電話回線にモデムがつながっている場合、モデムのソフトウェアの、ファクスを自動的にコンピュータで受信する設定はオフにしておいてください。HP PSC

HP PSC を留守番電話やボイス メールなど他のオフィス機器と一緒に使用できるようにするには、159 ページの 「ファクスのセットアップ」を参照してください。

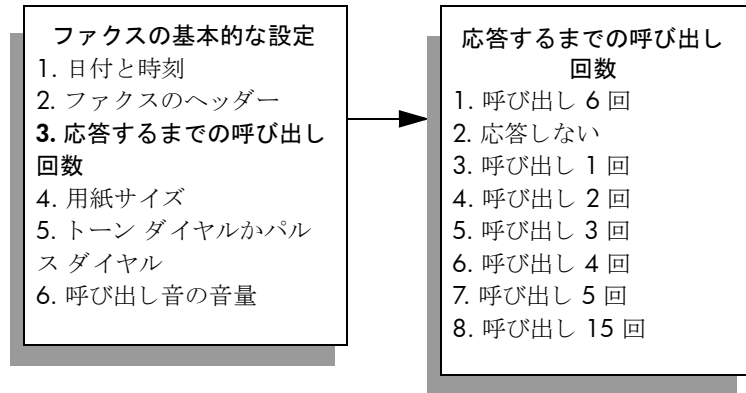
ファクスの着信に手動で応答するよう hp psc を設定する

状況に応じてファクスを手動で受信することもできます。たとえば、HP PSC が電話と回線を共有していて着信識別がない場合、HP PSC がファクスの着信に手動で応答するよう設定してください。HP PSC では、ファクスの着信と電話の着信の違いを識別できないからです。ファクスを手動で受信

するには、ファクス着信に直接応答してください。そうしないと HP PSC でファクスを受信できなくなります。ファクスの手動受信についての詳細は、97 ページの 「ファクスを手動で受信する」を参照してください。

HP PSC を留守番電話やボイス メールなど他のオフィス機器と一緒に使用できるようにするには、159 ページの 「ファクスのセットアップ」を参照してください。

1 [セットアップ] ボタンを押します。

2 [3] を押し、そしてもう一度 [3] を押します。
これで [ファクスの基本的な設定] が選択され、それから [応答するまでの呼び出し回数] が選択されます。

3 [2] を押します。
[応答しない] が選択されます。

4 [OK] ボタンを押して設定を確定します。

ファクスを手動で受信する

HP PSC が手動でファクスを受信するよう設定した場合は、着信ファクスに直接応答してください。

1 HP PSC の呼び出し音が鳴ったら、HP PSC と同じ電話線につながっている電話の受話器を取ってください。

2 ファクスのトーン信号が聞こえたら、次のいずれかの操作を実行します。
   – ご使用の電話が HP PSC の背面につながっている場合は、[ファクス] を押し、[スタート] - [モノクロ] または [スタート] - [カラー] を押します。
   – ご使用の電話が HP PSC の背面につながっていないが同じ電話回線につながっている場合は、電話で [1] [2] [3] を押します。

3 ファクスのトーン信号を待ち、それから受話器を置きます。

ファクス ヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、どの送信ファクスの上部にもお名前とファクス番号が印刷されます。HP ソフトウェア のインストール時に、ファクスセットアップ ウィザードからファクスのヘッダーを設定することをお奨めしますが、フロント パネルからも設定できます。

ファクスのヘッダー情報表示は、多くの国の法律で求められています。

注意 : ハンガリーでは、電話加入者識別コード (ファクス ヘッダー) の設定や変更を行えるのは認可を受けた人のみです。詳細については、HP 認定の代理店にお問い合わせください。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。

2 **[3]** を押し、次に **[2]** を押します。

これで [ファクスの基本的な設定] が選択され、それから [ファクスのヘッダー] が選択されます。

3 **[名前]** が表示されたら、数値キーパッドを使って名前を入力してください。それから **[OK]** を押します。

文字の入力の詳細については、98 ページの 「文字の入力」 を参照してください。

4 キーパッドを使ってファクス番号を入力します。

5 ［**OK**］ を押します。

注意 : ファクス ヘッダーを作成するとき、漢字はサポートされておりません。片仮名または平仮名を使用してください。また平仮名を入力しても片仮名に変換されます。漢字を使用すると、画面上およびフロントパネルで "???" と表示されます。

ファクスのヘッダー情報を入力するには、HP PSC にインストールした HP ディレクタ ソフトウェアから [ファクス セットアップ ウィザード] を使う方が簡単でしょう。ファクスのヘッダー情報を入力できるほか、表紙の情報も入力できます。この情報は、コンピュータからファクスを送信して表紙を添付するときに利用されます。

詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

文字の入力

フロント パネルのキーパッドを使って文字を入力する方法を次のリストに示します。

- 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。

ABC
2

A、B、C の文字は数字 [2] に対応しています。他の文字に関しても同様です。

- 複数回ボタンを押すとまずカナ文字が出てきて、それから英数字となります。単語の最初の文字は自動的に大文字になります。

JKL 5	この文字を出すには [5] をこれだけの回数押す	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	j	k	l	5
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

注意： 選択した国 / 地域によって、さらに利用できる文字がある場合があります。

- 正しい文字が出てきたら ► を押し、それから、名前でその次にくる文字に対応する数字ボタンを押します。正しい文字が出てくるまでまた何回か数字ボタンを押してください。
- カーソルは、最後にボタンが押されてから 1．5 秒後に自動的に右に移動します。
- スペースを挿入するには、井桁記号 (**[#]**) ボタンを押してください。
- ダッシュを入力する場合も、井桁記号 (**[#]**) ボタンを押してください。
- @ などの記号を入力するには、アスタリスク (**[*]**) ボタンを繰り返し押して、使用可能な記号のリストをスクロールします。記号は *、-、&、.、/ ()、'、=、#、@、_、と ! です。
- 間違えた場合は、◄ を押してクリアし、それから正しく入力してください。
- 文字の入力が終わったら、**[OK]** ボタンを押して入力内容を確定してください。

レポートの印刷

HP PSC を、エラー レポートを自動印刷し、かつファクスの送受信のたびに確認のレポートを印刷するよう設定できます。必要に応じて、システムのレポートも手動で印刷できます。これらのレポートから HP PSC について有用なシステム情報を知ることが出来ます。印刷は英数字のみとなります。

デフォルト設定では、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP PSC でレポートが印刷されます。ファクスの送信に成功したかどうかを示す確認メッセージは、送信処理後にカラー グラフィック ディスプレイに簡単に表示されます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 99 ページの 「自動的なレポートを生成する」
- 100 ページの 「手動でレポートを生成する」

自動的なレポートを生成する

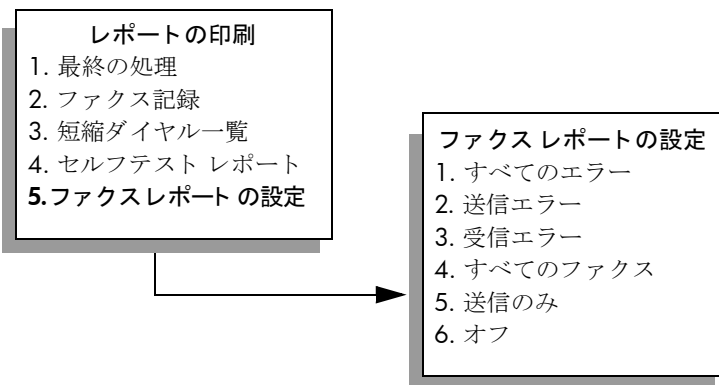
この設定を行うと、HP PSC で自動的に確認メッセージとエラー レポートを印刷できるようになります。

注意： ファクスの送信に成功するたびに確認メッセージを紙に印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する*前に*次の手順を実行してください。

1. **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. **[1]** を押し、次に **[5]** を押します。

   これで [レポートの印刷] が選択され、それから [ファクス レポートの設定] が選択されます。

レポートの印刷
1. 最終の処理
2. ファクス記録
3. 短縮ダイヤル一覧
4. セルフテスト レポート
5.ファクスレポート の設定

ファクス レポートの設定
1. すべてのエラー
2. 送信エラー
3. 受信エラー
4. すべてのファクス
5. 送信のみ
6. オフ

ファクス

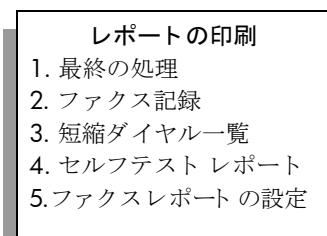
3 レポートには次のような種類があり、▼ を押すことでスクロールできます。
   – **1. すべてのエラー** : 各種ファクス エラーが発生するたびにレポートが印刷されます (デフォルト)。
   – **2. 送信エラー** : 送信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。
   – **3. 受信エラー** : 受信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。
   – **4. すべてのファクス** : ファクスの送受信が行われるたびに確認のレポートが印刷されます。
   – **5. 送信のみ** : ファクスが送信されるたびにレポートが印刷されます。
   – **6. オフ** : ファクス レポートは印刷されません。
4 目的のレポートが選択されたら **[OK]** を押してください。

印刷は英数字のみとなります。

手動でレポートを生成する

最後に行われたファクス送信のステータスなど、HP PSC についてのレポートは手動でも生成できます。

1 **[セットアップ]** を押し、次に **[1]** を押します。
   [レポートの印刷] が選択されます。

レポートの印刷
1. 最終の処理
2. ファクス記録
3. 短縮ダイヤル一覧
4. セルフテスト レポート
5.ファクスレポート の設定

2 レポートには次のような種類があり、▼ を押すことでスクロールできます。
- **1. 最終の処理** : 最後のファクス処理についての詳細を印刷します。
- **2. ファクス記録** : 最近行われた、ほぼ 40 件のファクス送受信の一覧が印刷されます。
- **3. 短縮ダイヤル一覧** : プログラムされている短縮ダイヤルのエントリ一覧を印刷します。
- **4. セルフテスト レポート** : 印刷に関する問題や調整に関する問題を特定できるレポートを印刷します。詳しくは、123 ページの 「セルフテスト レポートの印刷」を参照してください。
- **5. ファクス レポートの設定** : 99 ページの 「自動的なレポートを生成する」で説明されている自動ファクス レポートの方法を印刷します。.

3 目的のレポートが選択されたら **[OK]** を押してください。

印刷は英数字のみとなります。

ファクス レポート

HP PSC からは次のレポートを利用することができます。分かりやすくするため、各レポートに現れる英語の用語を次の表に翻訳しています。

最終の処理

最終の処理のレポートには、次の情報が含まれます。

英語	日本語の翻訳
Last Transaction	最終の処理
Date	日付
Time	時刻
Type	種類
Identification	識別
Duration	期間
Pages	ページ
Result	結果

ファクス記録

［ファックス記録のレポート］では、以下の情報を記載しました :

英語	日本語の翻訳
Last 30 Transactions	最後の 30 件のトランザクション
Date	日付
Time	時刻
Type	種類

英語	日本語の翻訳
Identification	識別
Duration	期間
Pages	ページ
Result	結果

短縮ダイヤル一覧

短縮ダイヤルエントリを作成するときにカタカナを使用した場合、これらのエントリは［短縮ダイヤルのレポート］に表示しません。

［短縮ダイヤル一覧］では、次の情報が記載されました。

英語	日本語の翻訳
Speed Dial Report	短縮ダイヤル一覧
Individuals	個別
Speed Dial	短縮ダイヤル
Name	名前
Destination	送信先
Groups	グループ
Speed Dial	短縮ダイヤル
Group Name/Members	グループ名 / メンバー
Destination	送信先
One-touch Dialing Overlay	ワンタッチ ダイヤル オーバレイ

メニュー設定

メニュー レポートには、HP PSC に指定可能なメニュー設定を表示します。前後をアスタリスク (*) で挿まれた設定項目が、現在の設定です。

英語	日本語の翻訳
1:Copy Setup	1: コピーのセットアップ
1:Enhancements	1：強調
Text	テキスト
Photo	フォト
Mixed	混在
None	なし
2:Paper Size	2. 用紙サイズ
Letter	レター
A4	A4
Legal	リーガル
3:Color Intensity	3: カラー強度
oooXooo	oooXooo
ooooXoo	ooooXoo
oooooXo	oooooXo
ooooooX	ooooooX
Xoooooo	Xoooooo
oXooooo	oXooooo
ooXoooo	ooXoooo
4:Set Copy Defaults	4：コピーのデフォルトとして設定
5:Restore Copy Factory Settings	5：工場出荷時の初期設定に戻す
2: Fax Functions	2: ファクスの機能
1:Scan and Fax Black Only	1: モノクロのみでスキャンとファクス
2:Send Fax Later Black Only	2：モノクロのみで後でファクス送信
3:Reprint Faxes in Memory	3：メモリ内のファクスを再度印刷

英語	日本語の翻訳
3:Print Report	3：3：レポートの印刷
1:Last Transaction	1：最終の処理
2:Fax Log	2：ファクス記録
3:Speed Dial List	3：短縮ダイヤルの一覧
4:Menu Settings	4：メニューの設定
5:Self-Test Report	5；セルフ テスト レポート
6:Automatic Reports Setup	6. 自動レポートの設定
Every Error	すべてのエラー
Send Error	送信エラー
Receive Error	受信エラー
Every Fax	すべてのファクス
Send Only	送信のみ
Off	オフ
4:Speed Dial Setup	4. 短縮ダイヤルのセットアップ
1:Individual Speed Dial	1. 個別の短縮ダイヤル
2:Group Speed Dial	2. 短縮ダイヤルを削除
3:Delete Speed Dial	3. 短縮ダイヤルを削除
4:Print Speed Dial List	4. 短縮ダイヤル一覧を印刷
5:Basic Fax Setup	5. ファクスの基本的な設定
1:Date and Time	1. 日付と時刻
2:Fax Header	2. ファクスのヘッダー
3:Rings to Answer	3. 応答するまでの呼び出し回数
4:Paper Size	4. 用紙サイズ
Letter	レター
A4	A4
Legal	リーガル
5:Tone or Pulse Dialing	5. トーン ダイヤルかパルス ダイヤル
Tone	トーン
Pulse	パルス

英語	日本語の翻訳
6:Advanced Fax Setup	6: ファクスの詳細設定
1:Automatic Reports Setup	1. 自動レポートの設定
Every Error	すべてのエラー
Send Error	送信エラー
Receive Error	受信エラー
Every Fax	すべてのファクス
Send Only	送信のみ
Off	オフ
2:Answer Ring Pattern	2.: 応答呼び出し音のパターン
All Rings	すべての呼び出し
Single Rings	呼び出し 1 回
Double Rings	呼び出し 2 回
Triple Rings	呼び出し 3 回
Double and Triple Rings	2 回 & 3 回
3:Busy Redial	3. ビジー リダイヤル
No Redial	リダイヤルしない
Redial	リダイヤル
4:No Answer Redial	4. 応答なしリダイヤル
No Redial	リダイヤルしない
Redial	リダイヤル
5:Automatic Reduction	5. 自動縮小
Off	オフ
On	オン
6:Backup Fax Reception	6. バックアップ ファクス受信
Off	オフ
On	オン
7:Error Correction Mode	7. エラー補正モード
Off	オフ
On	オン
8:Silent Detect	8: サイレント検出
Off	オフ
On	オン

英語	日本語の翻訳
7:Maintenance	7: メンテナンス
1:Clean Print Cartridges	1. プリント カートリッジのクリーニング
2:Align Print Cartridges	2. プリント カートリッジの調整
3:Restore Factory Defaults	3. 工場出荷時の初期設定に戻す
4:Set Language and Country/Region	4. 言語と国 / 地域の設定
5:Ring and Beep Volume	5. 呼び出し音の音量
Soft	小さい
Loud	大きい
Off	オフ
6:Set Power Save Mode Time	6. 省電力時間の設定
After: 12 hours	12 時間後
After: 1 hour	1 時間後
After: 4 hours	4 時間後
After: 8 hours	8 時間後
7:Set Scroll Speed	7: スクロール速度の設定
Slow	おそい
Normal	標準
Fast	はやい
8: Set View Angle	8: 表示角度の設定
Xoooo	Xoooo
oXooo	oXooo
ooXoo	ooXoo
oooXo	oooXo
ooooX	ooooX

短縮ダイヤルのセットアップ

短縮ダイヤル エントリをよく使うファクス番号に登録できます。これにより、フロント パネルからすばやくファクス番号をダイヤルすることができます。

短縮ダイヤルの設定は、HP ディレクタ から行うことをお奨めしますが、フロント パネルから行うこともできます。

短縮ダイヤルでファクスを送信する詳細については、94 ページの 「短縮ダイヤルでファクスを送信する」を参照してください。

注意 : 1 つの短縮ダイヤルに割り当てることができる電話番号は 1 つだけです。

短縮ダイヤル グループはサポートされていません。HP ディレクタ ソフトウェアを使用すると、短縮ダイヤル エントリをコンピュータからすばやく簡単に設定できます。
詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 「短縮ダイヤル エントリの作成」
- 「短縮ダイヤル エントリの削除」

ファクス

短縮ダイヤル エントリの作成

よく使うファクス番号について短縮ダイヤル エントリを作成できます。

1. **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. **[2]** を押し、次に **[1]** を押します。

   [短縮ダイヤルのセットアップ] が選択され、それから [個別の短縮ダイヤル] が選択されます。

   短縮ダイヤルのセットアップ
   1. 個別の短縮ダイヤル
   2. 短縮ダイヤルを削除
   3. 短縮ダイヤル一覧を印刷

   まだ登録されていない短縮ダイヤル エントリがディスプレイに表示されます。

3. 表示された短縮ダイヤル エントリを選択するには **[OK]** ボタンを押します。まだ登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、▼ または ▲ を押します。
4. その短縮ダイヤル エントリに登録するファクス番号を入力し、**[OK]** ボタンを押します。

   ヒント : ファクス番号の中にポーズを入れるには、カラーグラフィックディスプレイにハイフン記号が表示されるまで # ボタンを繰り返し押します。

5. 個人の、あるいは企業の名前を入力し、**[OK]** ボタンを押します。

   文字の入力の詳細については、98 ページの 「文字の入力」を参照してください。

6. **[また入力しますか ?]** が表示されたら、別の番号をセットアップする場合は **[1] (はい)** を、終了する場合は **[2] (いいえ)** を押します。

   注意 : ファクス ヘッダーを作成するとき、漢字はサポートされておりません。片仮名または平仮名を使用してください。また平仮名を入力しても片仮名に変換されます。漢字を使用すると、画面上およびフロントパネルで "???" と表示されます。

短縮ダイヤル エントリの削除

個々の短縮ダイヤル エントリを削除するには、次の手順に従います。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。
2 **[2]** を押し、そしてもう一度 **[2]** を押します。
[短縮ダイヤルのセットアップ] が選択され、それから [短縮ダイヤルを削除] が選択されます。
3 削除したい個々のエントリが表示されるまで ▼ を押し、それから **[OK]** ボタンを押します。

解像度とコントラストの調整

送信する文書の解像度やコントラストを変更することが可能です。行った変更はデフォルトに設定しない限り、何もせず 2 分が経過した後にデフォルト値に戻ります。詳しくは、109 ページの 「新しいデフォルトの設定」を参照してください。

注意： これらのファクス設定はコピー設定には影響しません。コピー解像度とコピー コントラストについては、ファクス解像度とファクスコントラストとは別々に設定します。またフロント パネルから行った変更は、コンピュータから送信するファクスにも影響しません。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 108 ページの 「解像度の変更」
- 109 ページの 「コントラストの変更」
- 109 ページの 「新しいデフォルトの設定」

解像度の変更

解像度の変更は、送信速度およびファクス送信された文書の品質に影響を及ぼします。HP PSC では、受信側のファクスでサポートされている最も高い解像度でのみファクス送信を行います。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
詳しくは、43 ページの 「原稿のセット」を参照してください。
2 **[ファクス]** を押します。
[ファクス番号を入力してください] 画面が表示されます。
3 ファクス番号を入力します。
4 **[ファクス]** を押し、次に **[1]** を押します。
[ファクス メニュー] が表示され、[解像度] が選択されます。

解像度
1. 高画質
2. 写真
3. 標準

5 解像度設定を選択するには、▼ を押します。
   – **高画質**：これがデフォルト設定値です。ほとんどの文書をファクスするのに適した高品質な文字です。
   – **写真**：写真をファクスするときに最高画質でファクスします。**[写真]** を選択した場合は、ファクス送信が完了するまでに通常よりも時間がかかります。写真をファクスするときは **[写真]** を選択するようお奨めします。
   – **標準**：ファクスの品質を最低まで下げて送信速度を最高にします。
6 ［**OK**］を押します。
7 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

コントラストの変更

原稿からファクスのコントラストの明暗を変更するには、この設定を行います。かすれた文書や色あせた文書、手書きの文書などをファクスするときに便利です。コントラストを調整しながら、原稿の濃度を濃くできます。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
   詳しくは、43 ページの 「原稿のセット」を参照してください。
2 **[ファクス]** を押します。
   [ファクス番号を入力してください] 画面が表示されます。
3 ファクス番号を入力します。
4 ［**ファクス**］を押し、次に［**2**］を押します。
   [ファクス メニュー] が表示されますので、[薄く / 濃く] を選択します。
   コントラストの値の範囲は、カラー グラフィック ディスプレイにスケールとして表示されます。
5 ファクスを明るくするには ◄ を、暗くするには ► を押します。
   押したボタンに応じてインジケータが左右に動きます。
6 ［**OK**］を押します。
7 **[スタート] - [モノクロ]** ボタンまたは **[スタート] - [カラー]** ボタンを押します。

新しいデフォルトの設定

フロント パネルから解像度とコントラストのデフォルト値を変更できます。

1 **[解像度]** と **[薄く／濃く]** を自由に変更してください。
2 **[ファクス メニュー]** がまだ開かれていない場合は、**[ファクス]** を 2 回押してください。
   [ファクス メニュー] が選択されます。
3 **[3]** を押します。
   [新しいデフォルトの設定] が選択されます。
4 ［**OK**］を押します。

ファクス

ファクス オプションの設定

ビジー状態の番号に HP PSC で自動的にリダイヤルするかどうかを制御するなど、数々のファクス オプションがあります。ファクス オプションの変更には、このセクションを参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

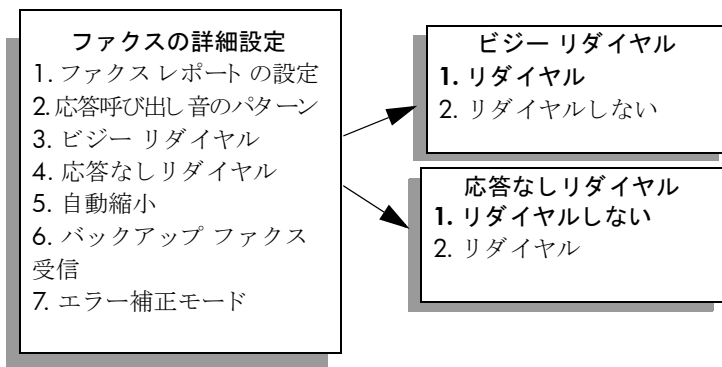
- 110 ページの 「ビジー状態あるいは応答のない番号に自動的にリダイヤルする」
- 111 ページの 「エラー補正モード (ECM) を使用する」
- 111 ページの 「着信ファクスに自動縮小を設定する」
- 111 ページの 「ボリュームの調整」
- 112 ページの 「応答呼び出し音のパターン (着信識別音) の変更」
- 112 ページの 「日付と時刻の設定」
- 113 ページの 「用紙サイズの設定」
- 113 ページの 「トーン ダイヤルかパルス ダイヤルを設定する」
- 113 ページの 「バックアップ ファクス受信を設定する」

ビジー状態あるいは応答のない番号に自動的にリダイヤルする

HP PSC を、ビジー状態あるいは応答のない番号に自動的にリダイヤルするよう設定できます。[ビジー リダイヤル] のデフォルト設定は [リダイヤル] です。[応答なしリダイヤル] のデフォルト設定は [リダイヤルしない] です。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。
2 以下のいずれかを実行してください。
   – **[ビジー リダイヤル]** 設定を変更するには、**[4]** を押してから **[3]** を押します。

     [ファクスの詳細設定] が選択され、それから [ビジー リダイヤル] が選択されます。
   – **[応答なしリダイヤル]** 設定を変更するには、**[4]** を押してからもう一度 **[4]** を押します。

     [ファクスの詳細設定] が選択され、それから [応答なしリダイヤル] が選択されます。

3 必要に応じて、▼ を押して [リダイヤル] または [リダイヤルしない] を選択してください。

4 [OK] を押します。

エラー補正モード (ECM) を使用する

ECM を使用すると、データ伝送中に発生したエラーを検出し、誤った部分を再伝送するよう自動的に要求するため、品質の悪い電話回線が原因でデータが欠落してしまうのを防ぐことができます。品質の悪い電話回線を使っている場合、ECM を使うことで送信時間と電話料金は増えますが、送信するデータの信頼性が上がります。ECM を使うことで電話料金が増えますが、電話料金を安く押さえるためならデータの品質が下がってもよいという場合は ECM をオフにしてください (デフォルト設定はオンです)。

1 [セットアップ] ボタンを押します。

2 [4] を押し、次に [7] を押します。

[ファクスの詳細設定] が選択され、それから [エラー補正モード] が選択されます。

3 ▼ を押して [オフ] または [オン] を選択してください。

4 [OK] を押します。

着信ファクスに自動縮小を設定する

この設定では、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合に HP PSC で行われる処理を決定します。この設定をオンにすると (デフォルト)、1 ページに収まるよう画像が縮小されます。この機能がオフになっている場合は、1 ページ目に収まりきらなかった情報が 2 ページ目に印刷されます。レター サイズの用紙が給紙トレイにセットされているところに、リーガル サイズのファクスを受信したとき役立ちます。

1 [セットアップ] ボタンを押します。

2 [4] を押し、次に [5] を押します。

[ファクスの詳細設定] が選択され、それから [自動縮小] が選択されます。

3 ▼ を押して [オフ] または [オン] を選択してください。

4 [OK] を押します。

ボリュームの調整

HP PSC では、呼び出し音およびスピーカのボリュームを 3 段階で調整できます。呼び出し音のボリュームとは、電話がかかってきたときに鳴る音のボリュームです。スピーカのボリュームとは、ダイヤル トーンやファクス トーン、ボタンを押したときに鳴る音など、それ以外の音のレベルのことです。デフォルトの設定は [小さい] です。

1 [セットアップ] ボタンを押します。

2 [3] を押し、次に [6] を押します。

[ファクスの基本的な設定] が選択され、それから [呼び出し音の音量] が選択されます。

3 ▼ を押し、オプションのいずれかを選択します。[小さい]、[大きい]、または [オフ]。

4 [OK] を押します。

応答呼び出し音のパターン (着信識別音) の変更

多くの会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。この着信識別サービスを使用していると、シングル呼び出し音やダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、それぞれの番号で違う呼び出し音パターンが使用されます。この着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン、すなわち [すべての呼び出し] を使用してください。

着信識別音が設定されている電話回線に HP PSC を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音のパターンとファクス着信の呼び出し音のパターンをそれぞれ別に割り当ててもらってください。ファクス番号にはダブル呼び出し音あるいはトリプル呼び出し音を割り当てるのが一番よいでしょう。

1. HP PSC がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認してください。詳しくは、96 ページの 「応答までの呼び出し回数の設定」を参照してください。
2. **[セットアップ]** ボタンを押します。
3. **[4]** を押し、次に **[2]** を押します。

   これで [ファクスの詳細設定] が選択され、それから [応答呼び出し音のパターン] が選択されます。
4. 設定オプションをスクロールするには ▼ を押します。**[すべての呼び出し]**、**[呼び出し 1 回]**、**[呼び出し 2 回]**、**[呼び出し 3 回]**、および **[2 回 & 3 回]**。
5. 電話会社がこの電話番号に割り当てた呼び出し音のパターンが表示されたら、**[OK]** ボタンを押してください。

日付と時刻の設定

フロント パネルから日付と時刻を設定することができます。ファクス送信時に、この現在の日付と時刻がファクスのヘッダーに印刷されます。この日付と時刻のフォーマットは言語と国 / 地域の設定に基づいて決まります。

通常は、日付と時刻の設定はコンピュータのソフトウェアで自動的に行われます。

注意 : HP PSC の電源が切れると、日付と時刻の再設定が必要になります。

1. **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. **[3]** を押し、次に **[1]** を押します。

   これで [ファクスの基本的な設定] が選択され、それから [日付と時刻] が選択されます。
3. キーパッドの適切な数字を押して、年、月、日 (下 2 桁のみ) を入力してください。

   初めは最初の桁の下にあるアンダーライン カーソルは、ボタンを押すたびに自動的に次の桁に進みます。また、日付の最後の桁を入力するとタイム プロンプトが自動的に表示されます。
4. 時間と分を入力してください。

   12 時間形式で時刻を表示した場合、最後の桁を入力すると AM/PM のどちらにするか自動的に表示されます。
5. [AM] を選択するには **[1]** を、[PM] を選択するには **[2]** を押してください。

ファクス

新しい日付と時刻の設定がフロント パネルに表示されます。

用紙サイズの設定

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせてください。ファクスは A4 用紙、レター用紙、リーガル用紙のいずれかにだけ印刷できます。

> **注意：** この他の用紙サイズが給紙トレイにセットされていてファクスを受信すると、ファクスが印刷されません。ファクスを印刷するには、レター用紙、A4 用紙、リーガル用紙のいずれかをセットして [OK] を押してください。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。
2 **[3]** を押し、次に **[4]** を押します。
   これで [ファクスの基本的な設定] そして [用紙サイズ] が選択されます。
3 ▼ を押してオプションを選択してから **[OK]** を押します。

トーン ダイヤルかパルス ダイヤルを設定する

ダイヤル モードをトーン ダイヤルかパルス ダイヤルのいずれかに設定できます。ほとんどの電話システムは、トーン ダイヤルかパルス ダイヤルのどちらかです。パルス ダイヤルを必要とする公衆電話か構内交換 (PBX) をご使用の場合は、[パルス ダイヤル] を選択してください。デフォルトの設定は [トーン ダイヤル] です。パルス ダイヤルを使用すると、電話によっては一部の機能が利用できなくなることがあります。また、パルス ダイヤルではファクス番号をダイヤルするのに時間がかかることがあります。どちらの設定を利用するか不明なときは、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

> **注意：** ご使用の電話でパルス ダイヤルが不要なときは、デフォルト設定の [トーン ダイヤル] の使用をお奨めします。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。
2 **[3]** を押し、次に **[5]** を押します。
   これで [ファクスの基本的な設定] そして [トーン ダイヤルかパルス ダイヤル] が選択されます。
3 ▼ を押してオプションを選択してから **[OK]** を押します。

バックアップ ファクス受信を設定する

受信したファクスをメモリに保存するには、[バックアップ ファクス受信] 機能を使用します。たとえば、ファクスの受信中にプリント カートリッジのインクがなくなった場合、そのファクスがメモリに保存されます。インク カートリッジを交換してから、ファクスを印刷することができます。印刷するべきファクスがメモリ内に残っていると、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

デフォルトでは、[バックアップ ファクス受信] 機能は有効になっています。メモリに保存されたファクスを印刷するには、114 ページの 「メモリにあるファクスを再印刷する」を参照してください。

HP PSC ではファクス ページを約 60 ページ程度までメモリに保存しておくことができます。この保存しておけるページ数はお使いのモデルによって異なります。メモリがいっぱいになると、印刷済みのファクスが HP PSC によって古い順に消去されます。

注意 : まだ印刷されていないファクスは、印刷するか削除しない限りメモリに残ります。まだ印刷されていないファクスでメモリがいっぱいになると、印刷していないファクスが印刷されるまで、HP PSC はそれ以上のファクスを受信しなくなります。まだ印刷されていないファクスを含めメモリ内のファクスをすべて削除するには、HP PSC の電源をオフにします。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。
2 **[4]** を押し、次に **[6]** を押します。
[ファクスの詳細設定] が選択され、それから [バックアップ ファクス受信] が選択されます。
3 ▼ を押して **[オン]** または **[オフ]** を選択してください。
4 **[OK]** を押します。

メモリにあるファクスを再印刷する

[メモリにあるファクスを再印刷] を使用すると、メモリ内に保存されているファクスを再印刷することができます。HP PSC が不要なファクスを印刷し始めたら、いつでも [キャンセル] を押して印刷を中止してください。HP PSC がメモリにある次のファクスを印刷し始めます。印刷を中止するには、保存されているファクスごとに [キャンセル] を押してください。

注意 : HP PSC の電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて失われます。

ファクスをメモリ内に保存しておくには、[バックアップ ファクス受信] を有効にしてください。詳しくは、113 ページの 「バックアップ ファクス受信を設定する」を参照してください。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。
2 **[5]** を押し、次に **[4]** を押します。
これで [ツール] そして [メモリにあるファクスを再印刷] が選択されます。
メモリ内のファクスが印刷されます。

ファクスを中止する

- 送受信中のファクスを中止するには、**[キャンセル]** を押してください。

8 コンピュータからの印刷

プリント設定のほとんどは、プリント元のソフトウェア アプリケーションか HP の ColorSmart テクノロジかによって自動的に処理されます。印刷の品質を変更したり、特定の種類の用紙やフィルムに印刷したり、特殊機能を使用したりする場合にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

注意 : メモリ カードをお持ちの場合は、HP PSC を使ってメモリ カードから写真を直接選択して印刷することもできます。詳しくは、53 ページの 「メモリ カードの使用」を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

特殊な印刷ジョブの詳細については、ソフトウェアに添付されているオンラインの HP フォト イメージング ヘルプを参照してください。

ソフトウェア アプリケーションから印刷する

文書の作成に使用したソフトウェア アプリケーションから印刷するには、次の手順に従います。

Windows ユーザーの場合

1 給紙トレイに適切な用紙をセットします。

   詳しくは、44 ページの 「用紙のセット」を参照してください。

2 お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。

3 印刷先として HP PSC が選択されていることを確認してください。

   設定を変更する必要がある場合、[プロパティ] ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。このボタン名は、ソフトウェア アプリケーションによって異なります ([プロパティ]、[オプション]、[プリンタ設定]、または [プリンタ])。[用紙 / 品質]、[レイアウト]、[機能]、[基本設定]、[カラー] の各タブの使用可能な機能を使って、印刷ジョブのオプションを選択します。

   注意 : 写真を印刷するときは、用紙の種類および写真の画質向上設定について正しいオプションを選択する必要があります。また、フォト プリント カートリッジを使用することでさらに印刷品質を高めることもできます。プリント カートリッジを注文する方法については、リファレンス ガイドを参照してください。インク カートリッジの取り付けについては、122 ページの 「プリント カートリッジの保守」を参照してください。

   注意 : はがきの印刷で最良の結果を得るには、用紙の種類として **[フチ無しハガキ]** を選択しなければなりません。**[自動]** 設定を使用しないでください。

印刷

選択した設定は、現在の印刷ジョブにのみ適用されます。すべてのジョブに印刷設定を設定する場合は、「印刷オプションの設定」を参照してください。

4 **[プロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。

5 **[印刷]** をクリックして、印刷ジョブを開始します。

Macintosh ユーザーの場合

文書の用紙サイズ、倍率、および方向を指定するには、[ページ設定] ダイアログ ボックスを使用します。文書のその他の印刷設定を指定したり、文書を HP PSC に送信したりするには、[プリント] ダイアログ ボックスを使用します。

注意 : 以下に示すステップは、OS X に固有なステップです。OS 9 の場合は、ステップが少し異なっていることもあります。印刷を行う前に、[プリント センタ]（OS X）または [セレクタ]（OS 9）で HP PSC が選択されていることを確認してください。

1 お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックします。

[ページ設定] ダイアログ ボックスが表示されます。

2 **[対象プリンタ]** ポップアップ メニューで、HP PSC を選択します。

3 以下の用紙属性を選択します。

– 用紙サイズの選択
– 印刷方向の選択
– 倍率の指定

OS 9 の場合、[ページ設定] ダイアログ ボックスには画像を左右反転したり、両面印刷時のページ余白を調整したりするためのオプションが含まれています。

4 **[OK]** をクリックます。

5 お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[プリント]** をクリックします。

[プリント] ダイアログ ボックスが表示されます。

OS X を使用している場合は、[印刷部数と印刷ページ] パネルが開きます。OS 9 の使用時は、[全般] パネルが開きます。

6 プロジェクトに適した印刷設定を選択してください。

ほかのパネルには、ポップアップ メニューを使用してアクセスします。

7 **[プリント]** をクリックして、印刷を開始します。

印刷オプションの設定

HP PSC の印刷設定をカスタマイズして、ほぼすべての印刷タスクを取り扱うことができます。

Windows ユーザーの場合

印刷設定を変更する場合は、現在のジョブに対して変更するか、すべてのジョブに対して変更するかを決める必要があります。印刷設定の表示方法は、設定を固定するかどうかによって異なります。

印刷

今後すべての印刷ジョブに適用される設定値の変更

1 [HP フォト イメージング ディレクタ] (HP ディレクタ) で [設定] をクリックし、[印刷設定] を選択します。
2 印刷設定を変更し、[適用] をクリックします。

現在の印刷ジョブに対して印刷設定を変更するには

1 お使いのソフトウェア アプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] または [印刷設定]、[ページ設定] のいずれかを選択します。選択されたプリンタが HP PSC であることを確認します。
2 [プロパティ]、[オプション]、[プリンタの設定]、または [プリンタ] をクリックして、印刷設定を表示します (オプション名はお使いのソフトウェア アプリケーションによって異なります)。
3 設定を変更し、[適用] をクリックします。
4 [印刷] をクリックしてジョブを印刷します。

Macintosh ユーザーの場合

[プリント] ダイアログ ボックスを使用して、印刷設定をカスタマイズします。表示されるオプションは、選択したパネルによって異なります。

- [プリント] ダイアログ ボックスを表示するには、印刷する文書を開き、[ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

  注意：特定のパネルの設定に関する詳細については、[プリント] ダイアログ ボックス左下隅の [?] をクリックしてください。

[印刷部数と印刷ページ] パネル

印刷するページと部数を選択する場合は、[プリント] ダイアログ ボックスで、OS X のときは [印刷部数と印刷ページ] パネル、OS 9 のときは [全般] パネルを使用します。このパネルでは、印刷するページの順序を選択することもできます。

- [プレビュー] ボタンをクリックすると、印刷する文書をプレビューすることができます。

[レイアウト] パネル

[プリント] ダイアログ ボックスの [レイアウト] パネルを使用すると、1 枚の用紙に複数のページを印刷したり、ページを印刷する順序を調整したりできます。このパネルでは、フチのオプションを選択することもできます。

[出力オプション] パネル

ファイルを Adobe Acrobat PDF® （ポータブル ドキュメント フォーマット）ファイルとして保存するには、[プリント] ダイアログ ボックスの [出力オプション] パネルを使用します。HP PSC では、PostScript の印刷をサポートしていません。

- [ファイルとして保存] チェックボックスを選択すると、文書を PDF ファイルとして保存することができます。

  注意：OS 9 では、[出力オプション] パネルを使用することができません。

印刷

[用紙の種類 / 品質] パネル

[プリント] ダイアログ ボックスの [用紙の種類 / 品質] パネルを使用すると、用紙の種類、印刷品質、およびカラー設定を選択することができます。また、このパネルを使用すると、デジタル写真のコントラストや鮮明度を変更したり、印刷で使用するインクの量を調整したりすることもできます。

[一覧] パネル

[プリント] ダイアログ ボックスの [一覧] パネルを使用すると、印刷する前にプレビューによって一連の設定値を確認することができます。

注意： OS 9 の場合、一連の設定値は [全般] パネルに表示されます。

印刷ジョブの中止

印刷ジョブは、HP PSC またはコンピュータから中止できます。

- HP PSC で印刷ジョブを中止するには、フロント パネルの **[キャンセル]** ボタンを押します。カラー グラフィック ディスプレイに表示される **[印刷がキャンセルされました]** というメッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、**[キャンセル]** ボタンをもう一度押します。

  HP PSC で既に印刷が開始されたページをすべて印刷してから、ジョブの残りがキャンセルされます。これにはしばらく時間がかかる場合があります。

9 消耗品の注文

カートリッジ、HP 推奨の印刷用紙、HP PSC アクセサリを HP の Web サイトからオンライン注文するには、ここの説明をお読みください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- メディアの注文
- プリント カートリッジの注文

メディアの注文

プレミアム専用紙、プレミアム OHP フィルム、アイロン プリント紙、またはグリーティング カードなどのメディアを注文するには、次のような方法があります。

www.hp.com/jp/supply

プリント カートリッジの注文

以下の表は、ご使用の HP PSC に対応するプリント カートリッジについてまとめたものです。下記を見て注文対象のプリント カートリッジ名を確認してください。

プリント カートリッジ	HP 注文番号
HP モノクロ プリント カートリッジ HP モノクロ プリント カートリッジ	#56, 19 ml モノクロ プリント カートリッジ #27, 10 ml モノクロ プリント カートリッジ
HP カラー プリント カートリッジ HP フォト プリント カートリッジ HP カラー プリント カートリッジ	#57, 17 ml カラー プリント カートリッジ #58, 17 ml カラー プリント カートリッジ #28, 8 ml カラー プリント カートリッジ

プリント カートリッジの詳細については、HP の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/jp/supply

10 hp psc のメンテナンス

HP PSC にはメンテナンスがほとんど不要です。時々ガラス板とカバーの裏側に付着したほこりを掃除し、コピーとスキャンがきれいに行えるようにしてください。適宜プリント カートリッジを交換、調整、クリーニングしてください。このセクションでは、HP PSC を最高の状態に保つための方法について説明します。必要に応じてこれらの簡単な保守手順を実行してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

コピー ガラス板のクリーニング

指紋や汚れ、髪の毛などでコピー ガラス板が汚れていると、パフォーマンスが低下したり、ページに合わせる機能の精度に影響が出たりします。

1. HP PSC の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

   注意： 電源ケーブルを抜くと、日付と時刻の再設定が必要になります。詳しくは、112 ページの 「日付と時刻の設定」 を参照してください。

2. 非摩耗性のガラス クリーナで少し湿らせた柔らかい布かスポンジでコピー ガラス板を拭きます。

   注意！ 研磨剤やアセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでコピー ガラス板を拭かないでください。コピー ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接コピー ガラス板にかけないでください。コピー ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3. しみにならないよう、セーム革かセルロース スポンジでコピー ガラス板を拭いてください。

カバーの裏側のクリーニング

HP PSC のカバーの裏側にある白い原稿押さえの表面に微少な塵がたまることがあります。

1. HP PSC の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

   注意： 電源ケーブルを抜くと、日付と時刻の再設定が必要になります。詳しくは、112 ページの 「日付と時刻の設定」 を参照してください。

2 刺激性の少ない石鹸とぬるま湯で少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。

3 固まっている塵を徐々に溶かすようにカバー裏を洗ってください。その際にこすらないようにしてください。

4 セーム革あるいは柔らかい布でカバー裏を拭いて乾かしてください。

注意！ カバー裏を傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

5 これで十分きれいにならない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使って上記の手順を繰り返し、その後、湿らせた布で残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

外側のクリーニング

柔らかい布か、または少し湿らせたスポンジで、外側の塵やしみ、汚れを拭き取ります。HP PSC の内側はクリーニングの必要はありません。フロント パネルはもちろん、本体内側についても液体がかからないように注意してください。

注意： HP PSC の塗装部品を傷めますので、フロント パネルや HP PSC のカバーに対してアルコールやアルコールベースの洗浄液を使用しないでください。

プリント カートリッジの保守

HP PSC の印刷品質を最高のものに保つには、いくつかの簡単なメンテナンス手順を実行する必要があります。また、フロント パネルにメッセージが表示された場合はプリント カートリッジを交換する必要があります。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 122 ページの 「インク レベルを確認する」
- 123 ページの 「セルフテスト レポートの印刷」
- 124 ページの 「プリント カートリッジの扱い方」
- 125 ページの 「プリント カートリッジの交換」
- 127 ページの 「フォト プリント カートリッジの使用」
- 127 ページの 「プリント カートリッジ ケースの使用」
- 128 ページの 「プリント カートリッジの位置調整」
- 129 ページの 「プリント カートリッジのクリーニング」
- 130 ページの 「プリント カートリッジの接点のクリーニング」

インク レベルを確認する

インク残量を簡単にチェックして、いつ頃プリント カートリッジを交換すれば良いか知ることができます。インク残量には、プリント カートリッジ内のおおよそのインク残量が表示されます。インク残量のチェックは、HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) からのみ行えます。

インク残量をチェックするには (Windows の場合)

1 **HP ディレクタ**から、**[設定]**、**[印刷設定]**、**[プリンタ ツールボックス]** の順で選択します。
2 **[推定インク残量]** タブをクリックします。
プリント カートリッジのおおよそのインク残量が表示されます。

インク残量をチェックするには (Macintosh の場合)

1 **[HP ディレクタ]** から、**[設定]** をクリックし、**[プリンタの保守]** を選択します。
2 **[出力プリンタ]** ダイアログ ボックスが開いたら、ご使用の HP PSC を選択して **[ユーティリティ]** をクリックします。
3 リストから、**[インク量]** を選択します。
プリント カートリッジのおおよそのインク残量が表示されます。

セルフテスト レポートの印刷

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジを交換する前にセルフテスト レポートを印刷するようにしてください。このレポートには、ステータス情報など、プリント カートリッジに関する役立つ情報が表示されます。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。
2 **[1]** を押し、次に **[4]** を押します。
これで [レポートの印刷]、そして [セルフテスト レポート] が選択されます。

レポートの印刷
1. 最終の処理
2. ファクス記録
3. 短縮ダイヤル一覧
4. セルフテスト レポート
5. ファクス レポート の設定

印刷で発生した問題の原因を示すセルフテスト レポートが HP PSC によって印刷されます。

Self-Test Report

Hewlett-Packard　　PSC 2000 Series
Model Number 2210
Serial # MY24NB50TV0G　　Service ID # 12253
LIU Type 1　　Country/Region 15
Device 1,1
Active I/O: None
Vertical Cartridge-to-Cartridge Alignment Setting: -36
Horizontal Cartridge-to-Cartridge Alignment Setting: -15
Black Bidirectional Printing Alignment Setting: 3, -9, 0
Color Bidirectional Printing Alignment Setting: 3, -6, 0 : 0, 0, 0

Black Cartridge Test Patterns:　　Color Cartridge Test Patterns:

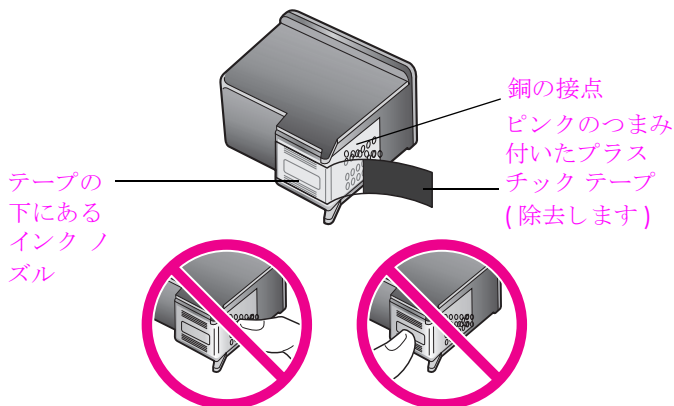
CYAN　MAGENTA　YELLOW　VIOLET　GREEN　RED

Total Page Count: 945

3 セルフテスト レポートでは以下を確認してください。

- テスト パターンが均一でグリッドがきちんと印刷されているかどうか。グリッドがきちんと印刷されない場合、ノズルに問題がある可能性があります。プリント カートリッジをクリーニングしてください。詳しくは、129 ページの 「プリント カートリッジのクリーニング」 を参照してください。
- インク不足警告メッセージのカウンタ値。この値は、黒プリント カートリッジ、フォト プリント カートリッジ (該当する場合)、カラー プリント カートリッジのテスト パターンの上に印刷されます。この値は、プリント カートリッジごとに表示されたインク不足警告メッセージのカウンタ値を示します。1、2、あるいは 3 が表示された場合、そのプリント カートリッジのインクが少なくなっています。プリント カートリッジを交換してください。プリント カートリッジの交換の詳細については、125 ページの 「プリント カートリッジの交換」 を参照してください。
- カラー ラインがページ幅いっぱいに印刷されているか。
- カラー ブロックが均一かどうか。シアン、マゼンタ、黄色、紫、緑、赤のカラー ブロックが表示されます。欠落しているカラー ブロックがある場合は、その色のカラー プリント カートリッジがインク切れになっている可能性があります。プリント カートリッジを交換してください。プリント カートリッジの交換の詳細については、125 ページの 「プリント カートリッジの交換」 を参照してください。また、筋や白線が入っていないかどうか確認してください。筋が入る場合は、ノズルの目づまりまたは接触部の汚れが原因と考えられます。プリント カートリッジをクリーニングしてください。プリント カートリッジのクリーニングの詳細については、129 ページの 「プリント カートリッジのクリーニング」 を参照してください。アルコールを使ってクリーニングしないでください。

プリント カートリッジの扱い方

プリント カートリッジを交換したりクリーニングしたりする前に、プリント カートリッジの部品の名前や扱い方を知っておく必要があります。

銅の接点やインク ノズルにはさわらないでください。

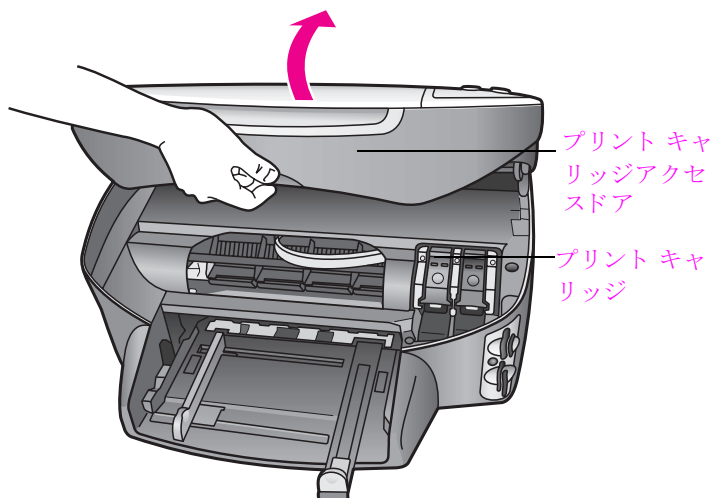
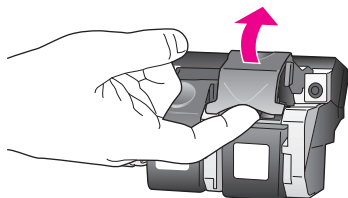
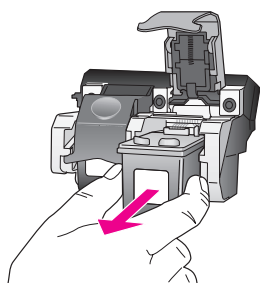
プリント カートリッジの交換

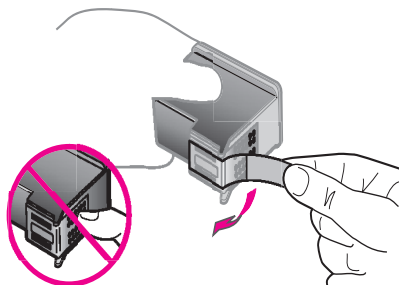
カラー グラフィック ディスプレイに、プリント カートリッジのインク残量が残り少ないことを知らせるメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、プリント カートリッジを交換することをお奨めします。文字がかすれたり、プリント カートリッジが原因で印刷の品質に問題が生じたりした場合にも、プリント カートリッジを交換してください。

また、フォト プリント カートリッジを使用して高品質の写真を印刷する場合にもプリント カートリッジを取り外す必要があります。

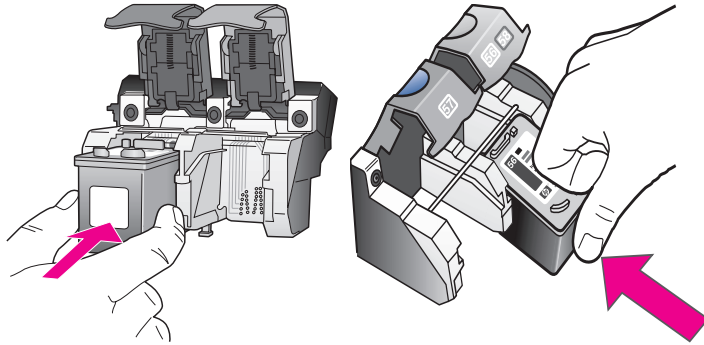
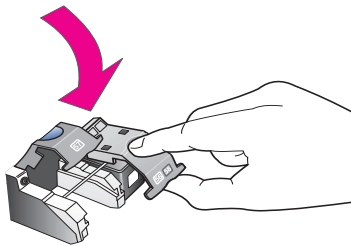
プリント カートリッジの交換の注文方法について詳しくは、119 ページの「消耗品の注文」を参照してください。

1 HP PSC の電源をオンにし、それからプリント キャリッジのカバーが所定の位置に止まるまで取っ手を持ち上げて開きます。

   プリント キャリッジは、HP PSC の右端にあります。プリント カートリッジの下のランプが消えてから、プリント カートリッジを取り外してください。

2 プリント キャリッジが止まってランプが消えてから、ラッチを上げてプリント カートリッジを固定解除します。

3 プリント カートリッジを下げて固定解除し、それからカートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。

4 黒プリント カートリッジを取り外してフォト プリント カートリッジをセットする場合は、取り外した黒プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに保存しておきます。プリント カートリッジ ケースの詳細については、127 ページの「プリント カートリッジ ケースの使用」を参照してください。

5 新しいプリント カートリッジの包装を除去し、黒いプラスチックの部分のみを注意深く持って、ピンクのつまみからプラスチック テープをゆっくり取り外します。

注意！ 銅の接点やインク ノズルにはさわらないでください。

6 金属の棒の下にある適切なスロットにきちんとはまるまで、やや角度をつけながら新しいプリント カートリッジを押し込みます。

カラー プリント カートリッジは左側、黒プリント カートリッジあるいはフォト プリント カートリッジは右側にセットします。

7 きちんとはまるまでラッチを押し下げます。ラッチが下側のつまみに留まっていることを確認してください。

8 プリント キャリッジのカバーを閉じます。

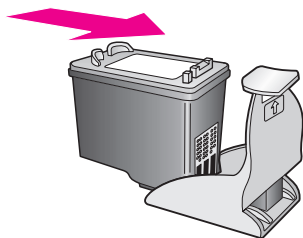
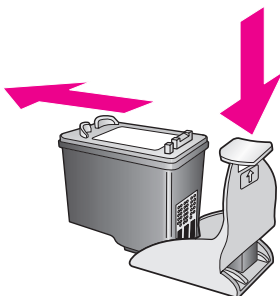
フォト プリント カートリッジの使用

フォト プリント カートリッジを使用することで、HP PSC で印刷する写真の品質を最適化することができます。黒プリント カートリッジを取り外して代わりにフォト プリント カートリッジをセットしてください。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをセットすることで 6 色インクシステムが実現され、写真の品質が向上します。通常のテキスト文書を印刷するには、モノクロ プリント カートリッジに入れ替えてください。使用していないプリント カートリッジを安全に保護しておくプリント カートリッジ ケースを使用してください。プリント カートリッジ ケースの使用法については、127 ページの 「プリント カートリッジ ケースの使用」の項を、プリント カートリッジの交換方法については、125 ページの 「プリント カートリッジの交換」の項を参照してください。

フォト プリント カートリッジの購入方法については、119 ページの 「プリント カートリッジの注文」を参照してください。

プリント カートリッジ ケースの使用

フォト プリント カートリッジを使用することで、HP PSC で印刷する写真の品質を最適化することができます。プリント カートリッジ ケースは、プリント カートリッジを使用しないときに安全に保護しておくのに使用します。また、インクの乾燥も防止します。HP PSC からプリント カートリッジを取り外したら、いつもプリント カートリッジ ケースに入れておくようにしてください。

- プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れるには、プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに少し角度をずらしてスライドさせ、パチンと音がするまで押し込みます。

- プリント カートリッジ ケースからプリント カートリッジを外すには、プリント カートリッジ ケースの上側を押して戻しプリント カートリッジを固定解除し、プリント カートリッジ ケースからプリント カートリッジをスライドさせて取り外します。

プリント カートリッジの位置調整

HP PSC では、プリント カートリッジを取り付けたり取り換えたりするたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。プリント カートリッジは、フロント パネルまたは HP ディレクタからいつでも調整できます。プリント カートリッジを調整することで高品質の出力が得られます。

注意 : プリント カートリッジを取り外して再びそれを取り付けると、プリント カートリッジの調整を求めるメッセージは表示されません。

メッセージが表示されてフロント パネルからプリント カートリッジを位置調整するには

- **[OK]** を押します。

  HP PSC によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。この用紙は再利用するか捨てるかしてください。

フロント パネルからプリント カートリッジを位置調整するには

1. **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. **[5]** を押し、次に **[2]** を押します。

   これで [ツール] が選択され、それから [プリント カートリッジの調整] が選択されます。

ツール
1. プリント カートリッジのクリーニング
2. プリント カートリッジの調整
3. 工場出荷時の初期設定に戻す
4. メモリにあるファクスを再印刷

HP PSC によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。この用紙は再利用するか捨てるかしてください。

hp ディレクタからプリント カートリッジを位置調整するには (Windows の場合)

1 **HP ディレクタ**から、**[設定]**、**[印刷設定]**、**[プリンタ ツールボックス]** の順で選択します。
2 **[プリンタ サービス]** タブをクリックします。
3 **[プリント カートリッジの調整]** をクリックします。
HP PSC によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。この用紙は再利用するか捨てるかしてください。

hp ディレクタからプリント カートリッジを位置調整するには (Macintosh の場合)

1 **[HP ディレクタ]** から、**[設定]** をクリックし、**[プリンタの保守]** を選択します。
2 **[出力プリンタ]** ダイアログ ボックスが開いたら、ご使用の HP PSC を選択して **[ユーティリティ]** をクリックします。
3 リストから **[位置調整]** を選択します。
4 **[位置調整]** をクリックします。
HP PSC によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。この用紙は再利用するか捨てるかしてください。

プリント カートリッジのクリーニング

セルフテスト レポートでカラー ラインのどれか 1 つに縞や白線が表示された場合は、この機能を使用してください。不必要にプリント カートリッジのクリーニングを行わないでください。インクの無駄になり、インク ノズルの寿命を縮めます。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。
2 **[5]** を押し、次に **[1]** を押します。
これで [ツール] が選択され、それから [プリント カートリッジのクリーニング] が選択されます。

ツール
1.プリント カートリッジのクリーニング
2. プリント カートリッジの調整
3. 工場出荷時の初期設定に戻す
4. メモリにあるファクスを再印刷

プリント カートリッジのクリーニング後もコピーあるいは印刷の品質がよくない場合は、問題のあるそのプリント カートリッジを交換してください。プリント カートリッジの交換については、125 ページの「プリント カートリッジの交換」を参照してください。

プリント カートリッジの接点のクリーニング

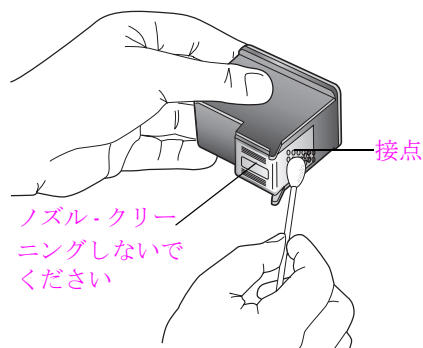
プリント カートリッジの接点のクリーニングは、プリント カートリッジをクリーニングして調整しているのに、プリント カートリッジをチェックするよう求めるメッセージがフロント パネルに繰り返し表示される場合にのみ実行してください。

注意！ 両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。取り外してクリーニングする作業は一度に 1 つずつ行ってください

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布
- 水道水、濾過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります)

注意！ プリント カートリッジの接点のクリーニングには、プラテン クリーナやアルコールを*使用しないでください*。プリントカートリッジまたは HP PSC を傷める可能性があります。

1. HP PSC の電源を入れ、プリント キャリッジのカバーを開きます。
   プリント キャリッジは、HP PSC の右端にあります。プリント カートリッジの下のランプが消えてから、プリント カートリッジを取り外してください。
2. プリント キャリッジが右に移動してランプが消えたら、HP PSC の後部から電源コードを抜きます。
3. ラッチを上げてプリント カートリッジを固定解除し、それからカートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。
4. プリント カートリッジの接点にインクや汚れが固着していないか調べます。
5. 汚れていないスポンジ棒または糸くずの出ない布を水道水に浸し、余分な水分を絞ります。
6. プリント カートリッジの横を持ちます。
7. 接点のみをクリーニングします。*ノズルはクリーニングしないでください*。

8 プリント カートリッジをキャリッジに戻し、ラッチを閉じます。

9 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業を繰り返します。

10 プリント キャリッジのカバーをゆっくりと閉め、HP PSC に電源コードを差し込みます。

工場出荷時の初期設定に戻す

HP PSC を購入したときの、工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

注意 : 工場出荷時の初期設定に戻しても、設定してあった日付情報は変更されませんし、スキャン設定、言語、国、地域設定に行った変更にも影響しません。

この作業は、フロント パネルでのみ実行することができます。

1 [セットアップ] ボタンを押します。

2 [5] を押し、次に [3] を押します。

これで [ツール] が選択され、それから [工場出荷時の初期設定に戻す] が選択されます。

ツール
1. プリント カートリッジのクリーニング
2. プリント カートリッジの調整
3. 工場出荷時の初期設定に戻す
4. メモリにあるファクスを再印刷

これで工場出荷時の初期設定に戻されました。

省電力の時間の設定

印刷要求があったときに HP PSC がすぐに応えられるよう、HP PSC のバルブは指定された時間の間、オンになっています。その指定された時間の間に HP PSC が使用されなかった場合は、電力を無駄に消費しないようバルブがオフになり、カラー グラフィック ディスプレイに [省電力 - オン] と表示されます。フロント パネルから何かボタンを押すと、このモードを終了することができます。

HP PSC は 12 時間後に省電力モードに入るようになっています。プロンプト遅延時間の設定には、1 時間、4 時間、8 時間、12 時間のいずれかが選択できます。HP PSC が省電力モードに入る時間を早めたい場合は、次の手順に従います。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。
2 **[7]** を押し、次に **[2]** を押します。
これで [プリファレンス] が選択され、それから [省電力時間の設定] が選択されます。

プリファレンス
1. 言語と国 / 地域の設定
2. 省電力時間の設定
3. プロンプト遅延時間の設定

3 目的の時間が表示されるまで ▼ を押し、次に **[OK]** ボタンを押します。

プロンプト遅延時間の設定

[プロンプト遅延時間] オプションを使用すると、指示メッセージが表示されるまでの時間を管理できます。たとえば、[コピー] を押してから他のボタンを押さずにプロンプト遅延時間が過ぎると、フロント パネル ディスプレイに "[スタート] ボタンを押して開始してください" のメッセージが表示されます。速度は [標準]、[はやい]、[おそい] のいずれかから選択できます。デフォルトの設定は [標準] です。

1 **[セットアップ]** ボタンを押します。
2 **[7]** を押し、次に **[3]** を押します。
これで [プリファレンス] が選択され、それから [プロンプト遅延時間の設定] が選択されます。

プリファレンス
1. 言語と国 / 地域の設定
2. 省電力時間の設定
3. プロンプト遅延時間の設定

3 設定したい遅延時間が表示されるまで ▼ を押し、それから **[OK]** ボタンを押します。

hp psc サポートの利用

Hewlett-Packard では、HP PSC に関するインターネットと電話によるお問い合わせにお答えします。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 133 ページの 「インターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手」
- 133 ページの 「hp カスタマ サポート」
- 136 ページの 「hp psc の発送準備」
- 137 ページの 「プリンタの交換が必要な場合 ... (HP Quick Exchange Service)」

製品に付属する印刷マニュアルまたはオンライン マニュアルで必要な答えが見つからない場合は、以下のページに記載されている HP サポート サービスに問い合わせることができます。一部のサポート サービスは米国およびカナダでしか利用できませんが、その他のサポート サービスは世界中の多くの国で利用できます。お住まいの国 / 地域のサポート サービスの電話番号が記載されていない場合は、最寄の HP 正規代理店までお問い合わせください。

インターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手

インターネットにアクセスすると、次の HP Web サイトから HP PSC 2550 のヘルプ情報を入手することができます。

www.hp.com/jp/hho

この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、および注文に関する情報が用意されています。

hp カスタマ サポート

HP PSC には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカの担当技術者にお問い合わせになると最適な技術サポートが受けられます。

HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合は、連絡する前に以下の作業を行ってください。

1. 以下の事項を確認します。
   a. HP PSC が接続され、電源がオンになっていること。
   b. 指定されたプリント カートリッジが正しく装着されていること。
   c. 推奨される用紙が給紙トレイに正しくセットされていること。
2. 以下の手順に従って HP PSC をリセットします。
   a. フロント パネルにある **[On]** ボタンを使用して、HP PSC の電源をオフにします。
   b. 電源コードを本体の背面から取り外します。
   c. 電源コードを HP PSC に元通り差し込みます。
   d. **[On]** ボタンを使用して、HP PSC の電源をオンにします。
3. 詳細については、次の HP Web サイトを参照してください。
   www.hp.com/jp/hho

4 上記の作業を行っても問題が解決されず、HP カスタマ サポート担当に問い合わせる必要がある場合は、以下の作業を行います。
   – 本体に明記されている HP PSC のモデル名を控えてください。
   – シリアル番号とサービス ID をメモします。シリアル番号を表示するには、カラー グラフィック ディスプレイにシリアル番号が表示されるまで **[OK]** と **[スタート] - [モノクロ]** を同時に押し続けます。サービス ID を表示するには、カラー グラフィック ディスプレイに **[Service ID:]** と番号が表示されるまで **[OK]** と **[スタート] - [カラー]** を同時に押し続けます。
   – セルフテスト レポートを印刷します。このレポートの印刷方法の詳細については、123 ページの 「セルフテスト レポートの印刷」を参照してください。
   – カラー コピーを作成します。
   – 発生した問題を詳しく説明するための準備を行います。

5 HP カスタマ サポートに連絡します。連絡するときは、HP PSC の近くで行ってください。

hp 日本 カスタマ ケア センターへの問い合わせ

カスタマケアセンタ 連絡先

TEL：0570-000511（携帯電話・PHS からは：03-3335-9800）
FAX：03-3335-8338

・電話受付時間：　平日　　　　9:00 ～17:00
　　　　　　　土曜日/日曜日　10:00 ～17:00
　　　　　（祝祭日、1月1日 ～1月3日を除く）

・FAX によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、製品名、
　接続コンピュータ名をご記入ください。

当社では、電話サポート サービスを向上させるために絶えず努力しています。このため、定期的に当社の Web サイトを確認してサービスの機能や提供方法に関する新しい情報を入手することをお勧めします。

国 / 地域	HP 技術サポート	国 / 地域	HP 技術サポート
アルジェリア*	+213(0)61 56 45 43	ルクセンブルグ (フランス語)	900 40 006
アルゼンチン	(54)11-4778-8380 0-810-555-5520	ルクセンブルグ (ドイツ語)	900 40 007
オーストラリア	+61 3 8877 8000 1902 910 910	マレーシア	1-800-805405
オーストリア	+43 (0) 820 87 4417	メキシコ	01-800-472-6684
バーレーン (ドバイ)	+973 800 728	メキシコ (メキシコ市)	5258-9922
ベルギー (オランダ語)	+32 (0) 70 300 005	モロッコ [1]	+212 224 047 47
ベルギー (フランス語)	+32 (0) 70 300 004	オランダ (0.10 ユーロ / 分)	0900 2020 165
ボリビア	800-100247	ニュージーランド	0800 441 147
ブラジル (リオグランデ、サンパウロ)	(11) 3747 7799	ノルウェー	+47 815 62 070
ブラジル (その他の地域)	0800 157751	オマーン	+971 4 883 8454

国 / 地域	HP 技術サポート	国 / 地域	HP 技術サポート
カナダ (保証期間内)	(905) 206 4663	パレスチナ	+971 4 883 8454
カナダ (保証期間後、1 回ごとに料金が発生)	1-877-621-4722	パナマ	001-800-7112884
カリブおよび中央アメリカ	1-800-711-2884	ペルー	0-800-10111
チリ	800-360-999	フィリピン	632-867-3551
中国	86-21-38814518 8008206616	ポーランド	+48 22 865 98 00
コロンビア	9-800-114-726	ポルトガル	+351 808 201 492
コスタリカ	0-800-011-0524	プエルトリコ	1-877-232-0589
チェコ共和国	+42 (0) 2 6130 7310	カタール	+971 4 883 8454
デンマーク	+45 70202845	ルーマニア	+40 1 315 44 42
エクアドル (Andinatel)	999119+1-800-7112884	ロシア、モスクワ	+7 095 797 3520
エクアドル (Pacifitel)	1-800-225528+1-800-7112884	ロシア、サンクトペテルブルグ	+7 812 346 7997
ヨーロッパ (英語)	+44 (0) 207 512 5202	サウジアラビア	+966 800 897 1444
エジプト	+20 02 532 5222	シンガポール	(65) 272-5300
フィンランド	+358 (0) 203 66 767	スロバキア	+ 421 2 6820 8080
フランス (0.34 ユーロ / 分)	+33 (0) 892 6960 22	南アフリカ (RSA)	086 000 1030
ドイツ (0.12 ユーロ / 分)	+49 (0) 180 5652 180	南アフリカ、共和国以外	+27-11 258 9301
ギリシャ	+30 10 6073 603	スペイン	+34 902 010 059
香港	+85 (2) 3002 8555	スウェーデン	+46 (0)77 120 4765
グアテマラ	1800-995-5105	スイス † (ピーク時は 0.08 CHF/ 分、非ピーク時は 0.04 CHF/ 分)	+41 (0) 848 672 672
ハンガリー	+36 (0) 1 382 1111	台湾	+886-2-2717-0055 0800 010 055
インド	1-600-112267 91 11 682 6035	タイ	+66 (2) 661 4000
インドネシア	62-21-350-3408	チュニジア [1]	+216 1 891 222
アイルランド	+353 1890 923902	トルコ	+90 216 579 7171
イスラエル	+972 (0) 9 803 4848	ウクライナ	+7 (380-44) 490-3520
イタリア	+39 848 800 871	アラブ首長国連邦	+971 4 883 845
日本	0570 000 511 +81 3 3335 9800	イギリス	+44 (0) 870 010 4320
ヨルダン	+971 4 883 8454	ベネズエラ	01-800-4746.8368
韓国	+82 1588 3003	ベネズエラ (カラカス)	(502) 207-8488

国 / 地域	HP 技術サポート	国 / 地域	HP 技術サポート
クウェート	+971 4 883 8454	ベトナム	84-8-823-4530
レバノン	+971 4 883 8454	イエメン	+971 4 883 8454

* このコール センターでは、モロッコ、チュニジア、アルジェリアの地域のフランス語を使用するユーザーをサポートしています。

† このコール センターでは、スイス国内のドイツ語、フランス語、およびイタリア語を使用するユーザーをサポートしています。

hp psc の発送準備

HP カスタマ サポートに問い合わせた後、HP PSC を修理のために発送する準備をしてください。HP 製品の損傷を防ぐため以下の手順に従って電源を切り、再梱包を行ってください。

1 HP PSC の電源をオンにします。

本体の電源がオンにならず、プリント キャリッジがホーム ポジションにある場合は、ステップ 1 から 6 までを省略します。この場合、プリント カートリッジを取り外すことはできません。ステップ 7 に進みます。

2 プリント キャリッジ交換用カバーを開きます。

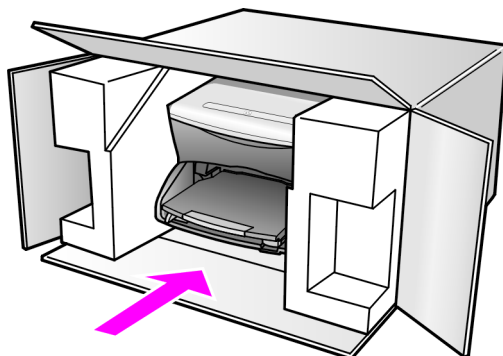
3 プリント カートリッジをホルダーから取り外し、ラッチを下げます。プリント カートリッジの取り外し方法の詳細については、125 ページの 「プリント カートリッジの交換」を参照してください。

注意！ 両方のプリント カートリッジを取り外し、両方のラッチを下げてください。それを怠ると、HP PSC が損傷する可能性があります。

4 プリント カートリッジの内部が乾燥しないようにカートリッジを気密性の高い袋に入れて保管します。HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、カートリッジは HP PSC と一緒に発送しないでください。

5 プリント カートリッジ交換用カバーを閉め、プリント カートリッジがホーム ポジションに戻るまでしばらく待ちます。

6 HP PSC の電源をオフにします。

7 可能な場合は、元の梱包用材料を使用するか、代替製品が梱包されていた材料を使用して HP PSC を梱包して発送します。

元の梱包用材料がない場合は、ほかの適切な梱包用材料を使用してください。不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。

8 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。

9 箱には、以下のものを入れてください。
   – サービス担当に宛てた、症状の簡単な説明 (印刷品質を示す実際の出力サンプルが役に立ちます)。
   – 保証が適用される期間内であることを証明する保証書またはその他の購入証明書のコピー。
   – 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号。

プリンタの交換が必要な場合 ... （HP Quick Exchange Service）

製品に問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。ユニットが故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Service がこの製品を正常品と交換し、故障した製品を回収します。保証期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にも依りますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

HP Quick Exchange Service

電話番号：0570-000511 （自動応答）

03-3335-9800 （自動応答システムが使用できない場合）

サポート時間 : 平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで

土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで。

祝祭日および 1 月 1 日から 3 日は除きます。

サービスの条件

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。

  ご注意 : ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保証期間中であっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限

- 運送の時間はお住まいの地域によって異なります。詳しくは、カスタマケアセンターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者 (日本通運株式会社) が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

12 保証に関する情報

このセクションでは、HP PSC に付加されている制限付きの保証について説明します。また、保証サービスの取得方法や標準のメーカー保証のアップグレード方法についても説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

限定保証の期間

限定保証の期間 (ハードウェア) : 1 年

限定保証の期間 (CD メディア) : 90 日

限定保証の期間 (インク カートリッジ): 純正 HP カートリッジのインクが消耗した当日の日付、またはカートリッジに記載されている "保証期限" の日付のうち、どちらか早い方の日付。

修理のための hp psc の返送

サービスを受けるために HP PSC を返送する前に、HP カスタマ サポートに連絡する必要があります。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、133 ページの 「hp カスタマ サポート」を参照してください。

hewlett-packard グローバル限定保証の告示

次に HP グローバル限定保証について説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

限定保証の範囲

Hewlett-Packard (以下、「HP」という) はエンドユーザー (以下、「ユーザー」という) に対し、関連ソフトウェア、アクセサリ、メディア、および消耗品を含め、お買い上げ日から一定の期間にわたり、それぞれの HP PSC 2550 (以下、「本製品」という) に材料および製品上の瑕疵がないことを保証します。

本製品の各ハードウェアを対象とする HP の限定保証の期間は、部品および保守作業については 1 年とします。製品のハードウェア以外を対象とする HP の限定保証の期間は、部品および保守作業については 90 日とします。

本製品の各ソフトウェアを対象とする HP の限定保証は、プログラムの命令を実行できない場合にのみ適用されます。HP は、本製品の動作が停止しないことまたは誤動作しないことを保証しません。

HP の限定保証は、本製品を正しく使用した結果として発生した瑕疵のみを対象とするものであり、(a) 不適切な保守または改造、(b) HP によってサポートされていないソフトウェア、アクセサリ、メディア、または消耗品、あるいは (c) 本製品の仕様外の動作に起因する問題を含め、その他のあらゆる問題は保証の対象になりません。

本製品の各ハードウェアについては、HP 以外のインク カートリッジまたは詰め替え用のインク カートリッジを使用しても、ユーザーに対する保証またはユーザーとの HP のサポート契約には影響しません。ただし、本製品の障害または損傷が HP 以外のインク カートリッジまたは詰め替え用のインク カートリッジを使用したことに起因する場合は、HP は本製品の障害または損傷を修理するための標準の作業費および材料費を請求するものとします。

保証の適用期間内に、HP が本製品の瑕疵の報告を受けた場合は、HP はその裁量により、瑕疵のある本製品を修理または交換するものとします。保守作業費が HP の限定保証の対象とならない場合、修理は HP の標準の保守作業費で行われるものとします。

HP の保証の対象である瑕疵のある本製品を、瑕疵があることが通知されてから妥当な期間内に修理または交換することが不可能な場合は、本製品の購入費用を払い戻しいたします。

HP は、ユーザーが瑕疵のある本製品を HP に返却するまでは修理、交換、または払い戻しを行う義務はないものとします。

交換用の製品は、新品または新品同様のものとします。ただし、交換される本製品と同等以上の機能を持つものとします。

本製品を含め、HP 製品には、性能が新品と同等の再生部品、再生装置、または再生材料が使用されていることがあります。

本製品に対する HP の限定保証は、HP が本製品のサポートを行っているか、HP が本製品の販売を行っているあらゆる国 / 地域で有効です。保証サービスのレベルは、現地の基準によって異なる場合があります。HP は、本製品が動作することを目的としたことのない国 / 地域で、本製品が動作するようにその形状、適合性、または機能を変更する義務はないものとします。

保証の制限

現地の法律によって許可される範囲において、HP および第三者の供給業者のいずれも、対象の HP 製品に関して、明示または黙示に関係なく他のいかなる種類の保証または条件も制定しません。また、市場性、十分な品質、および特定目的への適合性の黙示的な保証または条件を放棄します。

義務の制限

現地の法律によって許可される範囲において、この限定保証の告知で提供される補償は、ユーザーの独占的および排他的な補償です。

現地の法律によって許可される範囲において、この限定保証の告知に明記された義務を除き、HP または第三者の供給業者は、直接的、間接的、特殊、付随的、または結果的な損害に対しては、契約、不法行為、またはその他のいかなる合法的見解に基づくものであるかどうかを問わず、また上記の損害の可能性を通知したかどうかを問わず、その責任を負わないものとします。

現地法

この限定保証の告示により、ユーザーには法律上の特定の権利が付与されます。また、ユーザーは、その他の権利も有しますが、この権利は米国およびカナダでは州によって異なり、世界各国 / 地域では国 / 地域によって異なります。

この限定保証の告示が現地の法律と矛盾する場合に限り、この告示はその現地の法律と矛盾しないように修正されているとみなされるものとします。上記の現地の法律の下では、この告示の特定の免責条項および制限がユーザーに適用されないことがあります。たとえば、米国の一部の州のほか、米国以外の一部の政府では (カナダの州を含め)、以下の事例が発生することがあります。

この告示の免責条項および制限で、法律によって定められたユーザーの権利を制限することができなくなることがあります（イギリスなど)。

あるいは、上記の免責条項または制限条項をメーカーが実施できないように制限されることがあります。

また、別の保証の権利をユーザーに付与したり、メーカーが否認できない黙示的な保証期間を指定したりするほか、黙示的な保証期間への制限を許可しないことがあります。

オーストラリアおよびニュージーランドでの消費者の取り引きにおいては、この限定保証の告示の条項は、合法的に許可された場合を除き、対象の HP 製品の当該消費者への販売に適用可能な、法律によって定められた必須の権利を除外、制限、または修正しません。

EU 諸国に対する限定保証情報

EU 諸国で HP の限定保証 (メーカー保証) を付与できる HP 企業の会社名と所在地を以下に示します。

このメーカー保証のほかにも、購買契約に基づいて売り手に対抗できる法的特権がユーザーには与えられます。この特権は、メーカー保証によって制限されません。

ベルギー / ルクセンブルグ Hewlett-Packard Belgium SA/NV Woluwedal 100 Boulevard de la Woluwe B-1200 Brussels	アイルランド Hewlett-Packard Ireland Ltd. 30 Herbert Street IRL-Dublin 2
デンマーク Hewlett-Packard A/S Kongevejen 25 DK-3460 Birkeroed	オランダ Hewlett-Packard Nederland BV Startbaan 16 1187 XR Amstelveen NL
フランス Hewlett-Packard France 1 Avenue du Canada Zone d'Activite de Courtaboeuf F-91947 Les Ulis Cedex	ポルトガル Hewlett-Packard Portugal - Sistemas de Informática e de Medida S.A. Edificio D. Sancho I Quinta da Fonte Porto Salvo 2780-730 Paco de Arcos P-Oeiras
ドイツ Hewlett-Packard GmbH Herrenberger Straße 110-140 D-71034 Böblingen	オーストリア Hewlett-Packard Ges.m.b.H. Lieblgasse 1 A-1222 Wien
スペイン Hewlett-Packard Española S.A. Carretera Nacional VI km 16.500 28230 Las Rozas E-Madrid	フィンランド Hewlett-Packard Oy Piispankalliontie 17 FIN-02200 Espoo
ギリシャ Hewlett-Packard Hellas 265, Mesogion Avenue 15451 N. Psychiko Athens	スウェーデン Hewlett-Packard Sverige AB Skalholtsgatan 9 S-164 97 Kista
イタリア Hewlett-Packard Italiana S.p.A Via G. Di Vittorio 9 20063 Cernusco sul Naviglio I-Milano	イギリス Hewlett-Packard Ltd Cain Road Bracknell GB-Berks RG12 1HN

13 技術情報

このセクションでは、HP PSC の技術仕様および国際的な規制について説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

システム要件

以下の仕様は、予告なしに変更されることがあります。

Windows PC に関する要件		
項目	**最小**	**推奨**
プロセッサ	詳細については、Read Me ファイルを参照してください。	
オペレーティング システム Windows 98 Windows 98SE Windows ME	RAM 128 MB	RAM 256 MB
Windows 2000 Professional Windows XP	RAM 128 MB	RAM 256 MB 以上
インストールに必要なディスク容量	詳細については、Read Me ファイルを参照してください。	
スキャンした画像用に必要な上記以外のディスク容量	50 MB	
メモリ ディスクに必要な上記以外のディスク容量	700 MB	
モニタ	SVGA (800 x 600)16 ビットカラー)	
その他のハードウェア	CD-ROM ドライブ	
I/O	USB ポートが利用可能なこと	
インターネットへのアクセス		利用できることが望ましい
サウンド カード		利用できることが望ましい
その他	Microsoft Internet Explorer 5.01 以上	

Macintosh に関する要件		
項目	**最小**	**推奨**
プロセッサ	詳細については、Read Me ファイルを参照してください。	
オペレーティング システム Macintosh OS 9 Macintosh OS X	RAM 64 MB 128 MB	RAM 128 MB 256 MB
インストールに必要なディスク容量 Macintosh OS 9 Macintosh OS X	詳細については、Read Me ファイルを参照してください。	
スキャンした画像用に必要な上記以外のディスク容量	50 MB	
メモリ ディスクに必要な上記以外のディスク容量	700 MB	

技術情報

Macintosh に関する要件		
項目	最小	推奨
モニタ	SVGA (800 x 600)	
その他のハードウェア	CD-ROM ドライブ	
I/O	USB ポートが利用可能なこと	
インターネットへのアクセス		利用できることが望ましい
サウンド カード		利用できることが望ましい
その他	Microsoft Internet Explorer 5.01 以上	

用紙の仕様

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 145 ページの 「用紙トレイの収容枚数」
- 146 ページの 「用紙サイズ」

用紙トレイの収容枚数

種類	用紙の重さ	給紙トレイ[1]	排紙トレイ[2]
普通紙	16 ～ 24 lb. (60 ～ 90 gsm)	150 (20 lb. の用紙)	50 (20 lb. の用紙)
リーガル用紙	20 ～ 24 lb. (75 ～ 90 gsm)	150 (20 lb. の用紙)	50 (20 lb. の用紙)
カード	110 lb. はがき大まで (200 gsm)	60	10
封筒	20 ～ 24 lb. (75 ～ 90 gsm)	22	10
バナー	16 ～ 24 lb. (60 ～ 90 gsm)	20	20 枚以下
OHP フィルム	N/A	25	25 枚以下
ラベル	N/A	20 シート	20 シート
(10 x 15 cm) フォト用紙	145 lb. (236 gsm)	30	30

1 最大収容枚数。
2 排紙トレイの収容枚数は、用紙の種類および使用するインクの量から影響を受けます。排紙トレイは、頻繁に空にしてください。

技術情報

用紙サイズ

種類	サイズ
用紙	レター : 216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ) リーガル : 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ) A4 : 210 x 297 mm フォト : 101 x 152 mm (4 x 6 インチ)、127 x 178 mm (5 x 7 インチ)、216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ)、L (日本のみ) 89 x 127 mm (3.5 x 5 インチ)
バナー	レター : HP バナー用紙、A4 Z 折りのコンピュータ用紙 : (紙送り用ミシン目は除く)
封筒	US No.10 : 105 x 241 mm (4.12 x 9.5 インチ) A2 : 111 x 146 mm (4.37 x 5.75 インチ) DL : 110 x 220 mm (4.33 x 8.66 インチ) C6 : 114 x 162 mm (4.49 x 6.38 インチ)
OHP フィルム	レター : 216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ) A4 : 210 x 297 mm
カード	76 x 127 mm (3 x 5 インチ) 101 x 152 mm (4 x 6 インチ) 127 x 178 mm (5 x 7 インチ) はがき : 100 x 148 mm
ラベル	レター : 216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ) A4 : 210 x 297 mm
カスタム	76 x 127 ～ 216 x 356 mm (3 x 5 ～ 8.5 x 14 インチ)

技術情報

印刷の仕様

- 600 x 600 dpi モノクロ
- 1200 x 1200 dpi カラー (HP PhotoREt III を使用)
- 方法 : オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語 : HP PCL レベル 3、PCL3 GUI または PCL 10
- 印刷速度は、文書の複雑さによって異なります。
- 動作周期 : 500 ページ / 月 (平均)
- 動作周期 : 5000 ページ / 月 (最大)

モード		解像度 (dpi)	速度 (ppm)
高画質	モノクロ	1200 x 1200	2
	カラー	1200 x 1200 (最大 4800 dpi に最適化[1])	0.5
標準	モノクロ	600 x 600	7
	カラー	600 x 600	4
はやい	モノクロ	300 x 300	21
	カラー	300 x 300	15

1 最大 4800 x 1200 dpi に最適化された、プレミアム フォト用紙へのカラー印刷、入力は 1200 x 1200 dpi です。

印刷余白の仕様

	上 (先端)	下 (後端)[1]	左	右
用紙				
US レター	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	6.4 mm (0.25 インチ)	6.4 mm (0.25 インチ)
US リーガル	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	6.4 mm (0.25 インチ)	6.4 mm (0.25 インチ)
A4 (ISO)	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)
封筒				
US No.10	3.4 mm (0.13 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)
A2 (5.5 角型)	3.4 mm (0.13 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)
DL	3.4 mm (0.13 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ))
C6	3.4 mm (0.13 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)
カード				
US 3 x 8 インチ (12.7 x 12.70 cm)	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)
US 4 x 8 インチ (12.7 x 15.24 cm)	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)
US 5 x 8 インチ (12.7 x 20.32 cm)	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)
A6 (ISO および JIS)	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)
はがき (100 x 148 mm)	1.8 mm (0.07 インチ)	11.7 mm (0.46 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)	3.4 mm (0.13 インチ)
フチなしフォト (10 x 15 cm)	0	0	0	0
フチなし、L 判	0	0	0	0
フチなしはがき (100 x 148 mm)	0	0	0	0

1 この余白はインクジェットには該当しませんが、合計の印刷領域はインクジェットにも該当します。印刷領域は、中心から 5.4 mm (0.21 インチ) オフセットされています。このため、上と下の余白は同じではありません。

技術情報

コピーの仕様

- デジタル画像処理
- 原稿からのコピーは 99 枚まで (モデルによって異なります)
- 25 ～ 400% のデジタル ズーム (モデルによって異なります)
- ページに合わせて印刷、ポスター印刷、割り付け印刷
- 最大 21 枚 / 分のモノクロ コピー、最大 14 枚 / 分のカラー コピー (モデルによって異なります)
- コピーの速度は、文書の複雑さによって異なります。

モード		速度 (ppm)	印刷の解像度 (dpi)	スキャンの解像度 (dpi)[1]
高画質	モノクロ	最大 0.8	1200 x 1200[2]	1200 x 2400
	カラー	最大 0.8	1200 x 1200[2]	1200 x 2400
標準	モノクロ	最大 7	600 x 1200	600 x 1200
	カラー	最大 4	600 x 600	600 x 1200
はやい	モノクロ	最大 21	300 x 1200	600 x 1200
	カラー	最大 14	600 x 300	600 x 1200

1 400% の倍率時の最大値
2 フォト用紙またはプレミアム用紙使用時。

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のカラー ファクス
- 最大 60 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)
- 最大 60 ページのメモリ (モデルによって異なります)。(ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合。より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります)
- 複数ページの手動ファクス
- 自動リダイヤル (最大 5 回まで)
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)
- 伝送速度 36.6 Kbps
- 36.6 Kbps の場合の伝送速度は 6 秒 / 枚。(ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合。より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります)
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス / 留守番電話の自動切り替え

	写真 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	200 x 200 (8 ビット グレースケール)	200 x 200	200 x 100
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200

メモリ カードの仕様

- メモリ カード上のファイル数 (最大推奨値) : 1,000
- 各ファイルのサイズ (最大推奨値) : 12 メガピクセル (最大)、8 MB (最大)
- メモリ カードのサイズ (最大推奨値) : 1 GB (半導体のみ)

  ご注意 : メモリ カードの最大推奨値に近づくと、HP PSC のパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

サポートされているメモリ カードのタイプ
CompactFlash
SmartMedia
Memory Stick
Memory Stick Duo
Memory Stick Pro
Secure Digital
MultiMediaCard (MMC)
xD-Picture カード

スキャンの仕様

- イメージ エディタ付属
- OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります。

項目	説明
解像度	光学解像度 1200 x 2400 dpi、最大補間解像度 19200 dpi
カラー	48 ビット カラー 8 ビット グレースケール (256 階調の灰色)
インタフェース	TWAIN 互換
スキャン領域	US レター、A4

物理的仕様

- 高さ : 22 cm (8.7 インチ) (カラー グラフィック ディスプレイは倒した位置)
- 幅 : 46 cm (18.2 インチ)
- 奥行き ： 37 cm (14.6 インチ)
- 重さ ： 9.0 kg

電気的仕様

- 消費電力 ： 最大 80 W
- 入力電圧 ： AC 100 ～ 240 V、1 A、50/60 Hz、アース済み
- 出力電圧 ： DC 32 V (940 mA)、16V (625 mA)

環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲 ： 15° ～ 32° C（59° ～ 90° F）
- 許容される動作時の温度範囲 ： 5° ～ 40° C（41° ～ 104° F）
- 湿度 ： 15 ～ 85% RH (結露しないこと)
- 非動作時 (保管時) の温度範囲 ： -4° ～ 60° C（-40° ～ 140° F）
- 強い電磁気が発生している場所では、HP PSC の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。
- 強い電磁気が原因で発生するインクジェットのノイズを最小化するために、使用する USB ケーブルは長さが 3 m 以下のものとしてください。

その他の仕様

- メモリ : 8 MB ROM、32 MB DRAM

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を次の HP Web サイトから入手することができます。

www.hp.com/jp/hho

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

このセクションでは次のトピックについて説明します。

環境の保護

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品は、私たちの環境への影響を最も少なくする特性を備えるように設計されています。

詳細については、以下のアドレスの HP の「環境保護」の Web サイトにアクセスしてください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

オゾン層の保護

この製品では、検出可能なオゾン ガス (O_3) は生成されません。

エネルギーの消費

エネルギーの消費は、ENERGY STAR® モードになっている間は極めて低くなります。このモードでは、天然の資源と費用を節約できますが、この製品の高いパフォーマンスに影響することはありません。この製品は、ENERGY STAR に適合しています。これは、エネルギー効率の高いオフィス機器の開発を推進するために設立された自主的なプログラムです。

ENERGY STAR は、米国 EPA の登録サービス マークです。ENERGY STAR のパートナーとして、当社ではエネルギーの効率化のため、この製品を ENERGY STAR のガイドラインに適合させることを決定しました。

ENERGY STAR のガイドラインの詳細については、次の Web サイトにアクセスしてください。

www.energystar.gov

用紙の使用

この製品は、DIN 19309 に準拠したリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラムを超えるプラスチック部品は、製品が役目を終えたときにリサイクルするため、プラスチックを識別しやすくする国際規格に従って記号が付けられています。

化学物質等安全データシート

化学物質等安全データシート (MSDS) は、次の HP Web サイトから入手できます。

www.hp.com/go/msds

インターネットにアクセスできないユーザーは、最寄りの HP カスタマ サポート センターにお問い合わせください。

リサイクル プログラム

HP では、より多くの製品を返却してもらえるよう、リサイクル プログラムを多くの国で展開しているほか、世界で最大の電子機器リサイクル センターのいくつかと協力しています。また、HP では最も広く使用されている製品のいくつかを再生し、再度販売することによって、資源を保護しています。

HP の本製品には、製品が役目を終えたときに特別な取り扱いが必要な以下のものが含まれています。

- 水銀 (スキャナの蛍光灯内、2 mg 未満)
- 鉛 (はんだ内)

hp インクジェット消耗品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国 / 地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

規制に関する告知

HP PSC は、ユーザーの国 / 地域の規制に適合するように設計されています。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 152 ページの 「規制モデルの ID 番号」
- 153 ページの 「notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements」
- 154 ページの 「FCC statement」
- 154 ページの 「note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique Canadien/notice to users of the Canadian telephone network」
- 155 ページの 「déclaration de conformité (Canada)/declaration of conformity (Canada)」
- 155 ページの 「notice to users of the European Economic Area」
- 156 ページの 「notice to users of the European Union」
- 156 ページの 「notice to users of the German telephone network」
- 156 ページの 「declaration of conformity (European Union)」
- 156 ページの 「geräuschemission」
- 156 ページの 「notice to users in Japan (VCCI-2)」
- 157 ページの 「ARIB STD-1066 (Japan)」
- 157 ページの 「notice to users in Korea」

規制モデルの ID 番号

規制の識別を目的として、お使いの製品には規制モデル番号が割り当てられています。お使いの製品の規制モデル番号は、SDGOB-0301-03 です。この規制番号は、市販名 (HP PSC 2500 Photosmart Series) や製品番号 (Q3091A, Q3093A) と混同しないでください。

regulatory model identification number

For regulatory identification purposes, your product is assigned a Regulatory Model Number. The Regulatory Model Number for your product is SDGOB-0301-03. This regulatory number should not be confused with the marketing name (HP PSC 2500 Photosmart Series) or product numbers (Q3091A, Q3093A).

notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line may result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company may discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service.

If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company may ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company. Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state's public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

  Note: The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided may not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

Declaration of Conformity: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. Class B limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, San Diego, (858) 655-4100.

The user may find the following booklet prepared by the Federal Communications Commission helpful: How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems. This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington DC, 20402. Stock No. 004-000-00345-4.

Caution! Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company may cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

exposure to radio frequency radiation

Caution! The radiated output power of this device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. This product and any attached external antenna, if supported, shall be placed in such a manner to minimize the potential for human contact during normal operation. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique Canadien/notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d'Industrie Canada. Le numéro d'enregistrement atteste de la conformité de l'appareil. L'abréviation IC qui précède le numéro d'enregistrement indique que l'enregistrement a été effectué dans le cadre d'une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d'Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l'appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s'assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d'alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d'alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut se composer de n'importe quelle combinaison d'appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.2B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

> **Note:** The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.2B, based on FCC Part 68 test results.

déclaration de conformité (Canada)/declaration of conformity (Canada)

Le présent appareil numérique n 'émet pas de bruit radioélectrique dépassant les limites applicables aux appareils numériques de las classe B prescrites dans le Réglement sur le brouillage radioélectrique édicté par le ministére des Communications du Canada. Le composant RF interne est conforme a la norme CDN-210 d'Industrie Canada.

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications. The internal wireless radio complies with RSS 210 of Industry Canada.

notice to users of the European Economic Area

CE

This product is designed to interwork with the analogue telephone networks in the following countries:

:

Austria	Greece	Portugal
Belgium	Ireland	Spain
Denmark	Italy	Sweden
Finland	Luxembourg	Switzerland
France	Netherlands	United Kingdom
Germany	Norway	

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if addition product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

notice to users of the European Union

Radio products with the CE 0682 or CE alert marking comply with the R&TTE Directive (1999/5/EC) issue by the Commission of the European Community.

Note: Low-power radio LAN product operating in 2.4-GHz band, for Home and Office environments. In some countries/regions, using the product may be subject to specific restrictions as listed for specific countries/regions below.

This product may be used in the following EU and EFTA countries: Austria, Belgium, Denmark, Finland, Germany, Greece, Iceland, Ireland, Italy, Liechtenstein, Luxembourg, Netherlands, Norway, Portugal, Sweden, Switzerland and United Kingdom. For normal wireless LAN operation of this product, only a limited band is available in France (Channels 10, 11, 12 and 13). L'Autorité de régulation des télécommunications (ART) has special regulations for hotspots allowing additional channels. For more information, including local rulings and authorization, please see the ARTwebsite:

www.art-telecom.fr

notice to users of the German telephone network

This HP fax product is designed to connect only to the analogue public-switched telephone network (PSTN). Please connect the TAE N telephone connector plug, provided with the HP PSC 2400 and HP PSC 2500 series into the wall socket (TAE 6) code N. This HP fax product can be used as a single device and/or in combination (in serial connection) with other approved terminal equipment.

declaration of conformity (European Union)

The Declaration of Conformity in this document complies with ISO/IEC Guide 22 and EN 45014. It identifies the product, manufacturer's name and address, and applicable specifications recognized in the European community.

geräuschemission

LpA < 70 dB
am Arbeitsplatz
im Normalbetrieb
nach DIN 45635 T. 19

notice to users in Japan (VCCI-2)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

技術情報

ARIB STD-1066 (Japan)

機器に内蔵の無線ＬＡＮをお使いのお客様へ。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2　万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

3　その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先：日本ヒューレット・パッカード株式会社　ＴＥＬ：０１２０－０１４１２１

2.4DS1

notice to users in Korea

사용자 안내문 : B 급 기기

이 기기는 비업무용으로 전자파적합등록을 받은 기기이오니, 주거지역에서는 물론, 모든 지역에서 사용 하실 수 있습니다.

技術情報

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name: Hewlett-Packard Company

Manufacturer's Address: 16399 West Bernardo Drive
San Diego CA 92127, USA

Regulatory Model Number: SDGOB-0301-03

declares, that the product

Product Name: PSC 2500 Photosmart Series **Q3093A, (Q3091A – Japan only)**

Model Number(s): 2510 (Q3094A), 2510xi (Q3095A), 2550 (Q3092A - Japan only)

Radio Module Model No: 5092-0115

Power Adapter(s): HP Part # 0950-4466

conforms to the following Product Specifications:

Safety: IEC 60950:1991+A1+A2+A3+A4 /
EN 60950:1992+A1+A2+A3+A4+A11
UL1950/CSA22.2 No.950, 3rd Edition:1995

EMC: CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class B
CISPR 24:1997 / EN 55024:1998
IEC 61000-3-2:1995 / EN 61000-3-2:1995
IEC 61000-3-3:1994 / EN 61000-3-3:1995
VCCI-2
FCC Part15-Class B/ICES-003, Issue 2

Telecom: TBR 21:1998

Radio: EN 301-489-1,17:2000
EN 300-328-2:2000
Notified Body Number – 0682 CE0682ⓘ
Cetecom ICT Services GmbH Untertuerkheimer Str. 6 – 10, D - 66177 Saarbruecken

Health: EU:1999/519/EC

Supplementary Information:

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EC, the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex IV), and the EMC Directive 89/366/EEC and carries the CE-marking accordingly.

- The product was tested in a typical configuration.

21 April 2003 — Date

Steve Smith, Hardware Test & Regs MGR.

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Böblingen Germany (FAX +49-7031-14-3143)

技術情報

ファクスのセットアップ

1 ページの 「セットアップ」で行うすべての手順が完了したら、このセクションの説明を読みファクスのセットアップを行ってください。

ここでは、同じ電話回線で HP PSC と他の機器やサービスを一緒に使用しても正常にファクスできるよう、HP PSC のセットアップ方法を説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

この章を読むべき対象者

この章のファクス セットアップ方法は、下記の表にある国または地域で一般的なパラレル タイプの電話方式をご使用の場合に対する説明です。

- お住まいの国または地域が下記の表にあるか、確認してください。
  - お住まいの国または地域が下記の表にある場合は、本章の説明にしたがってファクスのセットアップを行ってください。
  - お住まいの国または地域が下記の表にない場合は、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。本章の接続方法をお読みになる必要はありません。シリアル タイプの電話方式の場合、すべての電話機 (モデム、電話機、留守番電話など) を電話コンセントに直接接

続してください。パラレル方式またはシリアル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

この章を読むべき国または地域		
アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシャ	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	中南米	マレーシア
メキシコ	フィリピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

適切なファクス セットアップ方法の見分け方

ファクスを正常に使用するには、同じ電話回線で HP PSC とともに何か機器やサービスを使用する場合、その種類を知っておく必要があります。既存のオフィス機器を HP PSC に直接接続しなければならない場合に重要です。また、正常にファクスするには、ファクスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

オフィスに合った HP PSC のセットアップ方法を調べるには、まずこのセクションの質問を最後まで読んで答えてみてください。そして、1 つ後のセクションにある表から、ご自分の答えに対するセットアップ方法を選択してください。

以下の質問は必ず順番に読んでお答えください。

1 **複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。**

❑はい、着信識別サービスを利用しています。

❑いいえ。

「はい」とお答えの方は 163 ページの 「ケース B: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する」に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。

「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

着信識別を利用しているか確信が持てない方のために説明いたします。多くの会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。

この着信識別サービスを使用していると、シングル呼び出し音やダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、それぞれの番号で違う呼び出し音パターンが使用されます。一方の電話番号をシングル呼び出し音にして電話用に、もう一方の電話番号をダブル呼び出し音にしてファクス用

に割り当てることができます。こうすると電話が鳴ったときに、HP PSC で電話とファクス呼び出し音の違いを区別することができます。

2 同じ電話番号で HP PSC ファクスと電話を一緒に利用しますか。

❑はい、電話も受け取ります。

❑いいえ。

続けて質問にお答えください。

3 HP PSC と同じ電話回線で PC モデムも利用しますか。

❑はい、PC モデムを利用します。

❑いいえ。

PC モデムを利用しているかどうかは、次の方法で見分けることができます。次のいずれかに当てはまる場合は、PC モデムを利用しています。

– ダイアルアップ接続でコンピュータ プログラムから直接ファクスを送受信している
– ダイアルアップ接続でコンピュータの電子メールを利用している
– ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している

続けて質問にお答えください。

4 同じ電話番号で HP PSC ファクスと留守番電話を一緒に利用しますか。

❑ はい、留守番電話も利用します。

❑ いいえ。

続けて質問にお答えください。

5 同じ電話番号で HP PSC ファクスと電話会社からのボイスメールを一緒に利用しますか。

❑ はい、ボイスメールを利用します。

❑ いいえ。

続けて質問にお答えください。

6 電話会社からデジタル加入者線 (DSL) を利用していますか。

❑はい、DSL を利用します。

❑いいえ。

「はい」とお答えの方は、DSL フィルタを電話コンセントと HP PSC の間に付ける必要があります。

まず、これまでの質問に対する答えにしたがってファクスのセットアップを行い、それから DSL フィルタの取り付け方について 174 ページの「DSL 回線からファクスする」を参照してください。

注意！ DSL を利用しているのに DSL フィルタを取り付けないと、HP PSC でファクスを送受信できなくなります。

表から適切なファクス セットアップを選択する

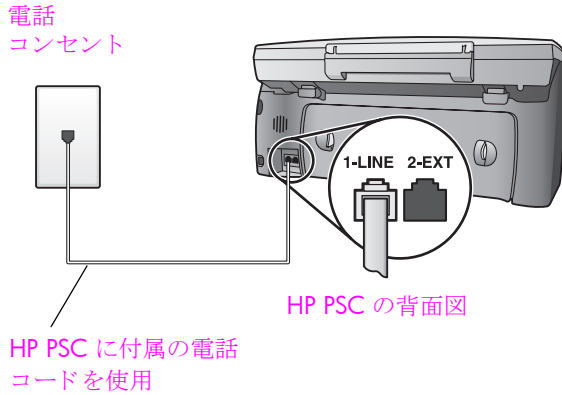
これで、同じ電話回線で HP PSC と機器やサービスを一緒に利用する場合の質問はすべて終了です。オフィスに合ったセットアップを選択できます。

表の 1 列目から、オフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。それに対して、2 列目のセットアップ方法をご覧ください。各方法については、この後手順を追って説明します。

前述の質問にすべて答えたが、どの機器やサービスも利用していなかった場合は、表の 1 列目から「なし」を選択してください。

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	推奨するファクス セットアップ
なし (すべての質問に「いいえ」と回答した場合)	ケース A: 単独のファクス回線 (電話は使用しない)
着信識別サービス (質問 1 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース B: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する
電話 (質問 2 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース C: 電話とファクスを一緒に利用する
PC モデム (質問 3 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース D: 同じ回線でファクスと PC モデムを一緒に利用する (電話は使用しない)
電話と PC モデム (質問 2 と 3 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース E: 電話とファクスと PC モデムを一緒に利用する
電話と留守番電話 (質問 2 と 4 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース F: 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する
電話と PC モデムと留守番電話 (質問 2 と 3 と 4 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース G: 電話とファクスと PC モデムと留守番電話を一緒に利用する
電話とボイスメール (質問 2 と 5 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース H: 電話とファクスとボイスメールを一緒に利用する
電話と PC モデムとボイスメール (質問 2 と 3 と 5 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース I: 電話とファクスと PC モデムとボイスメールを一緒に利用する
デジタル加入者線 (DSL) および本表内のその他の機器とサービス (質問 6 とそれ以外に「はい」と回答した場合)	まず、この表から選択したセットアップ方法にしたがって他の機器を接続してから、174 ページの「DSL 回線からファクスする」にしたがって DSL フィルタを取り付けてください。

ケース A: 単独のファクス回線 (電話は使用しない)

電話を受け付けない単独のファクス回線を利用し、この電話回線に機器を何も接続しない場合は、次のように HP PSC を接続します。

1　HP PSC に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP PSC の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

　注意！ 付属のコードで電話コンセントと HP PSC を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、209 ページの「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。

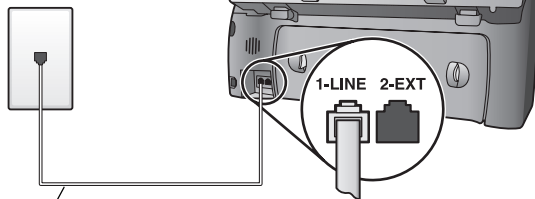
2　(オプション) [応答するまでの呼び出し回数] 設定を [呼び出し 1 回] もしくは [呼び出し 2 回] に変更します。

　[応答するまでの呼び出し回数] 設定の変更方法については、96 ページの「応答までの呼び出し回数の設定」を参照してください。

hp psc がファクス呼び出し音に応答する仕組み

電話が鳴ると、[応答するまでの呼び出し回数] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP PSC が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース B: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合、次のように HP PSC を接続します。

1 HP PSC に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP PSC の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

   注意！ 付属のコードで電話コンセントと HP PSC を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、209 ページの「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。

2 [応答呼び出し音のパターン] 設定を、電話会社がファクス番号に割り当てていたパターンに変更します。例えば、[呼び出し 2 回] や [呼び出し 3 回] に変更します。

   [応答するまでの呼び出し回数] 設定の変更方法については、112 ページの「応答呼び出し音のパターン (着信識別音) の変更」を参照してください。

   注意： HP PSC の工場出荷時の初期設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。電話会社がファクスに割り当てていた呼び出し音のパターンを正しく設定しないと、HP PSC が電話とファクスの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

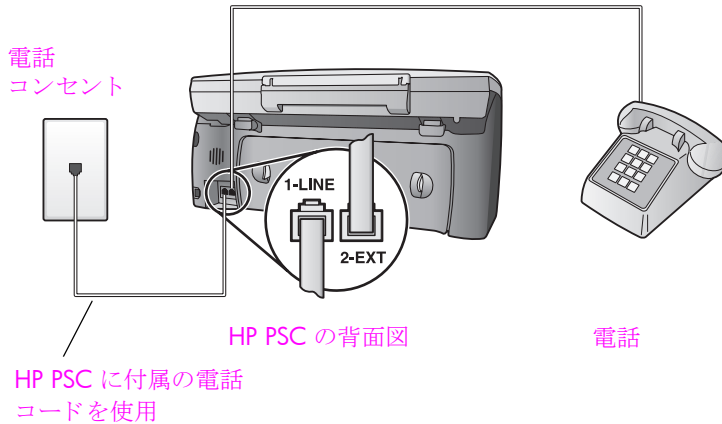
3 (オプション) [応答するまでの呼び出し回数] 設定を [呼び出し 1 回] もしくは [呼び出し 2 回] に変更します。

   [応答するまでの呼び出し回数] 設定の変更方法については、96 ページの「応答までの呼び出し回数の設定」を参照してください。

hp psc がファクス呼び出し音に応答する仕組み

[応答呼び出し音のパターン] 設定で選択した呼び出し音パターンで、[応答するまでの呼び出し回数] 設定で選択した数だけ呼び出し音が鳴ると、HP PSC が着信音に自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース C: 電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器を何も接続しない場合は、次のように HP PSC を接続します。

1 HP PSC に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP PSC の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

 注意！ 付属のコードで電話コンセントと HP PSC を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、209 ページの「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。

2 HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。

ここで、ファクス呼び出し音の応答方法を決めます。

ファクス呼び出し音に自動応答する方法

HP PSC は呼び出し音が 5 回鳴るとすべての呼び出し音に自動応答するよう初期設定されています。したがって、ファクスを自動受信する場合は設定を変更する必要はありません。しかしながらこの場合、HP PSC でファクスと電話の呼び出し音が区別できなくなります。電話の呼び出し音だと思う場合は、呼び出し音が 5 回なる前に電話を取ってください。そうしない場合は、HP PSC が先に応答してしまいます。

 注意： 呼び出し音が 5 回なる前に電話を取ったが、送信側ファクスからファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。電話の親機や親子電話から手動でファクスを受信する方法については、97 ページの 「ファクスを手動で受信する」を参照してください。

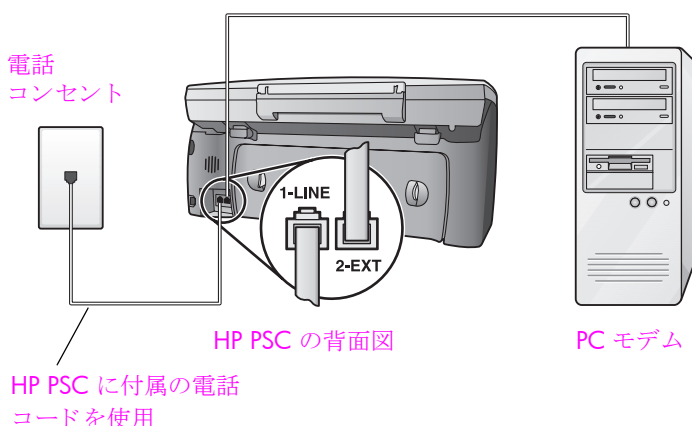
ファクス呼び出し音に手動で応答する方法

ファクスを手動で受信するには、ファクス着信に直接応答してください。そうしないと HP PSC でファクスを受信できなくなります。

ファクス呼び出し音に手動で応答する前に、[応答するまでの呼び出し回数] 設定を [応答しない] に設定します。詳細については 96 ページの「応答までの呼び出し回数の設定」を参照してください。電話の親機や親子電話から手動でファクスを受信する方法については、97 ページの 「ファクスを手動で受信する」を参照してください。

ケース D: 同じ回線でファクスと PC モデムを一緒に利用する (電話は使用しない)

電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線に PC モデムを接続する場合は、次のように HP PSC を接続します。

注意 : 電話回線を PC モデムと HP PSC と一緒に利用しているため、同時に両方を使用することはできなくなります。たとえば、ファクスの送受信中は電子メールを送信したりインターネットにアクセスできなくなります。

1. HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (PC モデム) の背面と電話コンセント間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを電話コンセントから抜き、HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。
3. HP PSC に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP PSC の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

   注意 ! 付属のコードで電話コンセントと HP PSC を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、209 ページの 「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。

4 PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

注意！ PC モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP PSC でファクスを受信できなくなります。

5 (オプション) [応答するまでの呼び出し回数] 設定を [呼び出し 1 回] もしくは [呼び出し 2 回] に変更します。

[応答するまでの呼び出し回数] 設定の変更方法については、96 ページの「応答までの呼び出し回数の設定」を参照してください。

hp psc がファクス呼び出し音に応答する仕組み

電話が鳴ると、[応答するまでの呼び出し回数] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP PSC が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース E: 電話とファクスと PC モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線に PC モデムも接続する場合は、次のように HP PSC を接続します。

注意： 電話回線を PC モデムと HP PSC と一緒に利用しているため、同時に両方を使用することはできなくなります。たとえば、ファクスの送受信中は電子メールを送信したりインターネットにアクセスできなくなります。

1 HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。

2 コンピュータ (PC モデム) の背面と電話コンセント間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを電話コンセントから抜き、HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。

3 PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

注意！PC モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP PSC でファクスを受信できなくなります。

4 電話を PC モデムの背面の 「OUT」ポートにつなぎます。

5 HP PSC に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP PSC の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

注意！付属のコードで電話コンセントと HP PSC を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、209 ページの「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。

ここで、ファクス呼び出し音の応答方法を決めます。

ファクス呼び出し音に自動応答する方法

HP PSC は呼び出し音が 5 回鳴るとすべての呼び出し音に自動応答するよう初期設定されています。したがって、ファクスを自動受信する場合は設定を変更する必要はありません。しかしながら、HP PSC でファクスと電話の呼び出し音が区別できなくなります。電話の呼び出し音だと思う場合は、呼び出し音が 5 回なる前に電話を取ってください。そうしない場合は、HP PSC が先に応答してしまいます。

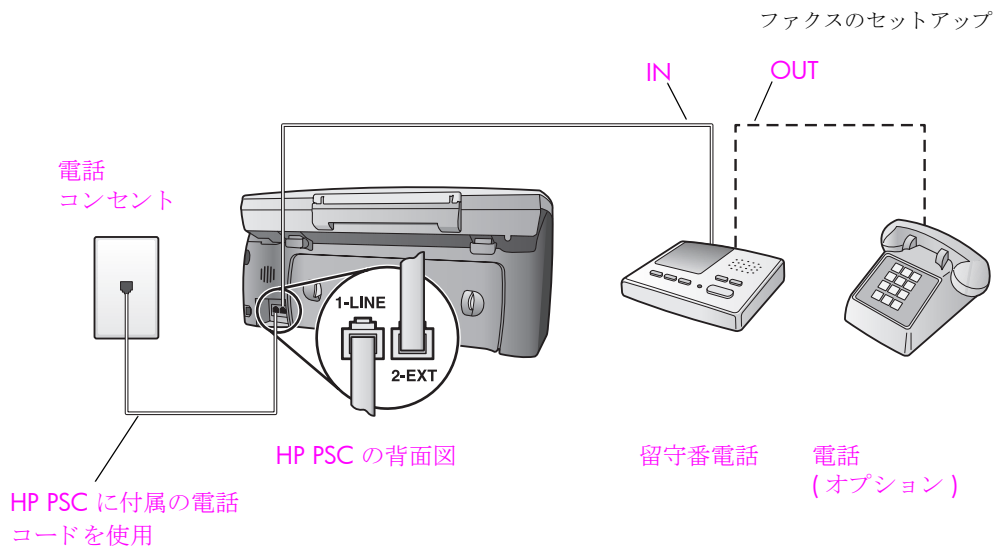
注意：呼び出し音が 5 回なる前に電話を取ったが、送信側ファクスからファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。電話の親機や親子電話から手動でファクスを受信する方法については、97 ページの 「ファクスを手動で受信する」を参照してください。

ファクス呼び出し音に手動で応答する方法

ファクスを手動で受信するには、ファクス着信に直接応答してください。そうしないと HP PSC でファクスを受信できなくなります。

ファクス呼び出し音に手動で応答する前に、[応答するまでの呼び出し回数] 設定を [応答しない] に設定します。詳細については 96 ページの「応答までの呼び出し回数の設定」を参照してください。電話の親機や親子電話から手動でファクスを受信する方法については、97 ページの 「ファクスを手動で受信する」を参照してください。

ケース F: 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も接続する場合は、次のように HP PSC を接続します。

1. HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを電話コンセントから抜き、HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。

   注意！ HP PSC に留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP PSC でファクスを受信できないことがあります。
3. 留守番電話が応答するまでの呼び出し回数を 4 回以下に設定します。
4. HP PSC の [応答するまでの呼び出し回数] 設定を [呼び出し 6 回] に変更します。

   [応答するまでの呼び出し回数] 設定の変更方法については、96 ページの「応答までの呼び出し回数の設定」を参照してください。
5. HP PSC に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP PSC の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

   注意！ 付属のコードで電話コンセントと HP PSC を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、209 ページの「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。
6. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある「OUT」ポートに電話をつなぐこともできます。

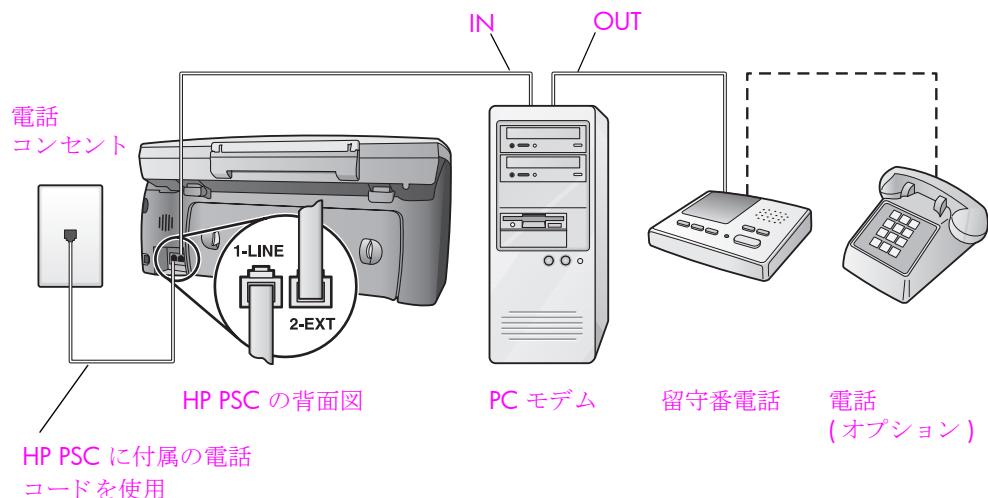
hp psc がファクス呼び出し音に応答する仕組み

HP PSC が応答するまでの呼び出し回数を 6 回に、留守番電話が応答するまでの呼び出し回数を 4 回以下に設定しました。このため、HP PSC より先に留守番電話の方が常に応答します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP PSC は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。着信ファクス トーンを検出すると、HP PSC はファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクス トーンが検出されなかった場合は、HP PSC が回線の監視を終了し、留守番電話によって伝言メッセージが録音されます。

ケース G: 電話とファクスと PC モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線に PC モデムと留守番電話も接続する場合は、次のように HP PSC を接続します。

注意： 電話回線を PC モデムと HP PSC と一緒に利用しているため、同時に両方を使用することはできなくなります。たとえば、ファクスの送受信中は電子メールを送信したりインターネットにアクセスできなくなります。

1. HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (PC モデム) の背面と電話コンセント間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを電話コンセントから抜き、HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。
3. PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注意！ PC モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP PSC でファクスを受信できなくなります。
4. 留守番電話のコードを電話コンセントから抜き、PC モデムの背面の「OUT」ポートに接続します。

   こうすると、たとえ PC モデムの方が先に回線に接続されていても、HP PSC と留守番電話の間を直接接続できます。

注意！ 留守番電話をこのように接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP PSC でファクスを受信できないことがあります。

5 留守番電話が応答するまでの呼び出し回数を 4 回以下に設定します。

6 HP PSC の [応答するまでの呼び出し回数] 設定を [呼び出し 6 回] に変更します。

[応答するまでの呼び出し回数] 設定の変更方法については、96 ページの「応答までの呼び出し回数の設定」を参照してください。

7 HP PSC に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP PSC の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

注意！ 付属のコードで電話コンセントと HP PSC を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式電話コードで、オフィスにある一般の 4 線式コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、209 ページの「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。

8 (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある「OUT」ポートに電話をつなぐこともできます。

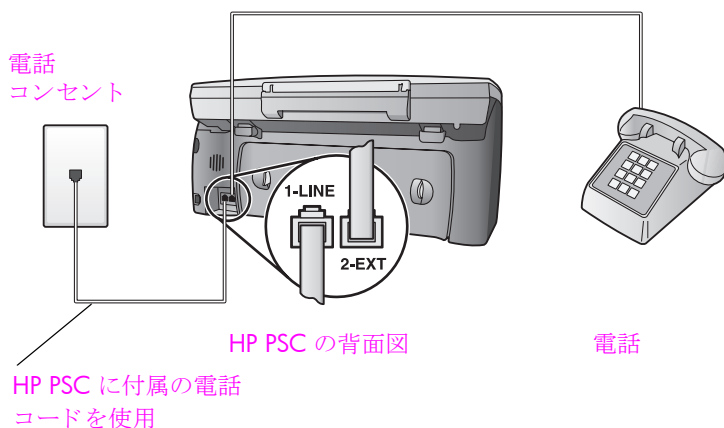
hp psc がファクス呼び出し音に応答する仕組み

HP PSC が応答するまでの呼び出し回数を 6 回に、留守番電話が応答するまでの呼び出し回数を 4 回以下に設定しました。このため、HP PSC より先に留守番電話の方が常に応答します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP PSC は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。着信ファクス トーンを検出すると、HP PSC はファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクス トーンが検出されなかった場合は、HP PSC が回線の監視を終了し、留守番電話によって伝言メッセージが録音されます。

ケース H: 電話とファクスとボイスメールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社からボイスメールも利用する場合は、次のように HP PSC を接続します。

注意： ボイスメールを利用する場合、HP PSC ではファクスを自動受信できません。そのため、着信ファクスに直接手動で応答してください。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

1 HP PSC に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP PSC の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

注意！ 付属のコードで電話コンセントと HP PSC を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、209 ページの「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。

2 HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。

3 [応答するまでの呼び出し回数] 設定を [応答しない] に変更します。詳細については 96 ページの「ファクスの着信に手動で応答するよう hp psc を設定する」を参照してください。

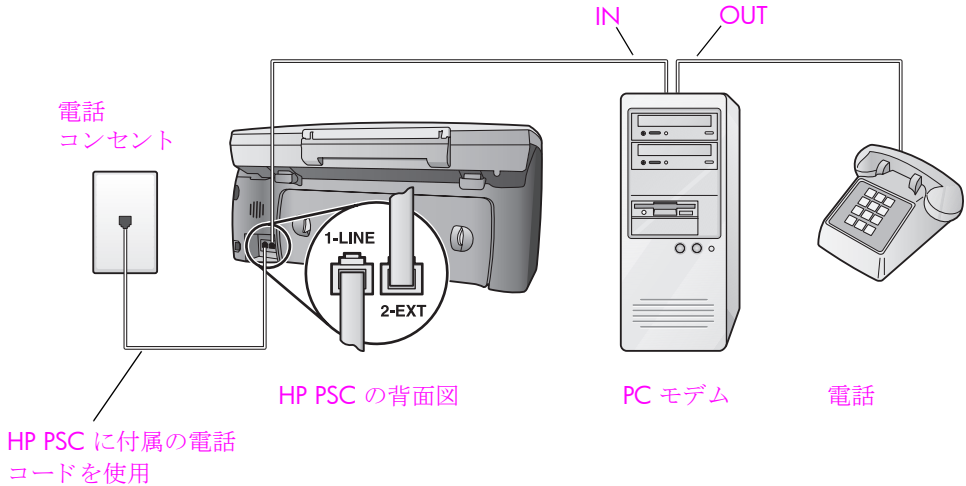
ファクス呼び出し音に手動で応答する方法

ファクス着信に直接応答してください。そうしないと HP PSC でファクスを受信できなくなります。電話の親機や親子電話から手動でファクスを受信する方法については、97 ページの「ファクスを手動で受信する」を参照してください。

ケース I: 電話とファクスと PC モデムとボイスメールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線で PC モデムも利用して電話会社からボイスメールも利用する場合は、次のように HP PSC を接続します。

注意： ボイスメールを利用する場合、HP PSC ではファクスを自動受信できません。そのため、着信ファクスに直接手動で応答してください。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

注意： 電話回線を PC モデムと HP PSC と一緒に利用しているため、同時に両方を使用することはできなくなります。たとえば、ファクスの送受信中は電子メールを送信したりインターネットにアクセスできなくなります。

1 HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2 コンピュータ (PC モデム) の背面と電話コンセント間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを電話コンセントから抜き、HP PSC の背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。
3 PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注意！ モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP PSC でファクスを受信できなくなります。
4 電話を PC モデムの背面の 「OUT」ポートにつなぎます。
5 HP PSC に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP PSC の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

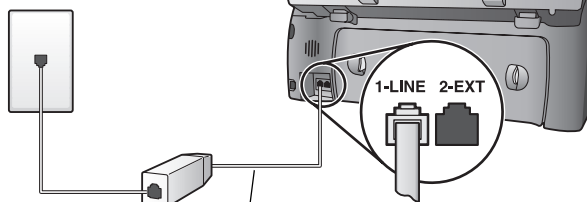
   注意！ 付属のコードで電話コンセントと HP PSC を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、209 ページの「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。
6 [応答するまでの呼び出し回数] 設定を [応答しない] に変更します。詳細については 96 ページの 「ファクスの着信に手動で応答するよう hp psc を設定する」を参照してください。

ファクス呼び出し音に手動で応答する方法

ファクス着信に直接応答してください。そうしないと HP PSC でファクスを受信できなくなります。電話の親機や親子電話から手動でファクスを受信する方法については、97 ページの 「ファクスを手動で受信する」を参照してください。

DSL 回線からファクスする

電話会社からデジタル加入者線 (DSL) サービスを利用する場合は、次のように電話コンセントと HP PSC の間に DSL フィルタを取り付けます。このフィルタは、HP PSC が電話回線と正しく通信するのを妨げるデジタル信号を除去するものです。

注意！ DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、HP PSC でファクスを送受信できなくなります。

1 まず、オフィスに合ったセットアップ方法にしたがって HP PSC を接続します。詳しくは、160 ページの 「適切なファクス セットアップ方法の見分け方」を参照してください。
2 DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
3 HP PSC に付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタの空きポートに、もう一方の端を HP PSC の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

   注意： 先のセットアップ方法で、すでに HP 付属のコードで HP PSC を電話コンセントにつないでいることでしょう。その場合は、コンセントからそのコードを抜いて、それを DSL フィルタの空きポートに接続してください。

   注意！ 付属のコードで DSL フィルタと HP PSC を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの見分け方について詳しくは、209 ページの 「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。
4 DSL フィルタのコードを電話コンセントに接続します。

15 hp instant share の直接接続のセットアップと使用

直接接続の HP PSC 2550 を使用すると、HP Instant Share で写真を簡単に送信し、家族や友人と楽しむことができます。写真を撮影するかまたは画像をスキャンしてそれを選択し、コンピュータのソフトウェアを使用するだけで、それらを電子メールで送り先に送信することができます。また、(お住まいの国や地域により異なりますが) オンライン フォト アルバムや、オンライン写真仕上げサービスに写真をアップロードすることもできます。

HP Instant Share を使用すると、いつでも写真を家族や友人に見てもらうことができます。今までのように大量にダウンロードしたり、画像の容量が大きすぎて開けないということはありません。電子メールに写真のサムネイル画像を添付して送信するのですが、これにセキュアな Web ページへのリンクが示されており、このリンクから家族や友人に写真を簡単に表示、共有、印刷、保存してもらうことができます。

注意 : 一部のオペレーティング システムには HP Instant Share をサポートしていないものありますが、HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) ソフトウェアを使用すれば、家族や友人に写真を添付ファイルとして電子メール送信できます。(詳しくは、179 ページの 「hp psc で写真または画像を送信する (Macintosh)」を参照してください。)

このセクションでは次のトピックについて説明します。

hp instant share の使用 - 5 つだけの簡易操作 (Windows)

HP Instant Share は、HP PSC 2550 (HP PSC) で以下のように簡単に使用できます。

1. HP PSC にフォト メモリ カードを挿入し、送信する画像を選択します。
2. HP PSC のフロント パネルから **[E メール]** ボタンを押します。

   コンピュータで、[HP フォト イメージング ギャラリ] ([HP ギャラリ]) から [HP Instant Share] タブが開きます。
3. **[HP Instant Share]** タブから、**[HP Instant Share を開始]** をクリックします。
4. HP Instant Share から、電子メールの送り先を指定します。

   注意 : 電子メール アドレスを指定するには、[アドレス帳] から設定することもできます。
5. 電子メール メッセージを送信します。

HP Instant Share の使用方法について詳しくは、以下の手順を参照してください。

- 176 ページの 「[E メール] ボタンの使用」
- 177 ページの 「hp instant share の [フォト メニュー] オプションの使用」
- 177 ページの 「スキャンした画像の使用」
- 178 ページの 「hp instant share を hp ディレクタから開く」

注意： HP Instant Share をお使いになるには、コンピュータからインターネットに接続できる状態にしてください。AOL または CompuServe をご使用の場合は、HP Instant Share を使用する前にインターネット サービス プロバイダに接続しておいてください。

[E メール] ボタンの使用

HP PSC から [E メール] ボタンを押すと、電子メール アドレスのある人なら誰にでも簡単に写真を送信できます。詳しくは、53 ページの 「メモリ カードの使用」を参照してください。

1. 送信する写真を見つけ、**[OK]** を押してそれを選択します。
2. **[E メール]** を押します。

   [HP ギャラリ] に [HP Instant Share] タブが表示されます。

   選択した写真が HP PSC から [HP ギャラリ] に送られます。デジタル画像のパスとファイル名が、画面下の [選択トレイ] に表示されます。

   注意： 選択した写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されていることを確認します。万が一選択した写真と違っていても、このディスプレイに表示されている写真が HP ギャラリに送信されます。
3. **[コントロール]** 領域から、**[HP Instant Share を開始]** をクリックします。

   [インターネットに接続] 画面が作業領域に表示されます。
4. **[次へ]** をクリックします。

   [簡単セットアップ - 地域と使用条件] 画面が表示されます。
5. リストからお住まいの国または地域を選択します。
6. **[サービス条件]** を読み、**[同意する]** ボックスをチェックして **[次へ]** をクリックします。

   [HP Instant Share E-mail の作成] 画面が表示されます。
7. **[宛先]**、**[差出人]**、**[件名]**、**[メッセージ]** フィールドに記入します。

   注意： 電子メールのアドレス帳を開いて利用するには、[アドレス帳] をクリックして HP Instant Share に登録して HP パスポートを入手します。

   注意： 電子メールを複数のアドレスに送信するには、[複数の受信者にメールを送る方法] のリンクをクリックしてください。
8. **[次へ]** をクリックします。

   [キャプションの追加] 画面が表示されます。
9. 写真のタイトルを入力して、**[次へ]** をクリックします。

   写真が HP Instant Share サービスの Web サイトにアップロードされます。

写真がアップロードされたら、[写真がメールされました] 画面が表示されます。

この電子メールは、写真を 60 日間保存するセキュアな Web ページへのリンク先を表示して送信されます。

10 **[完了]** をクリックします。

HP Instant Share の Web サイトがブラウザに表示されます。

このサイトから画像や写真を選択して、いくつかの処理オプションを選択できます。

hp instant share の [フォト メニュー] オプションの使用

メモリ カードの使用については、53 ページの 「メモリ カードの使用」を参照してください。

1 メモリ カードから写真を選択します。

2 フロント パネルから、**[フォト]** を押し、**[9]** を押します。

コンピュータの [HP ギャラリ] に [HP Instant Share] タブが表示されます。

選択した写真が HP PSC から [HP ギャラリ] に送られます。デジタル画像のパスとファイル名が、画面下の [選択トレイ] に表示されます。

注意： 選択した写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されていることを確認します。万が一選択した写真と違っていても、このディスプレイに表示されている写真が HP ギャラリに送信されます。

3 [コントロール] 領域から、**[HP Instant Share を開始]** をクリックします。

[インターネットに接続] 画面が作業領域に表示されます。

HP Instant Share E-mail の詳細については、178 ページの 「hp instant share を hp ディレクタから開く」のステップ 6 に進んでください。

スキャンした画像の使用

画像のスキャン方法については、85 ページの 「スキャン機能の使用」を参照してください。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を置きます。

2 **[スキャン]** を押します。

スキャンの プレビュー画像がコンピュータの [HP スキャン] ウィンドウに表示されます。ここから編集が行えます。

プレビュー画像の編集について詳しくは、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

3 **[HP スキャン]** ウィンドウから、プレビュー画像に必要な編集を行います。編集が終了したら、**[適用]** をクリックします。

HP PSC からスキャン内容が HP ギャラリに送信され、その画像が自動的に開かれて表示されます。

4 スキャンした画像の編集が終了したら、それを選択します。

注意： HP ギャラリには、画像を編集して目的どおりに編集できるツールが多数用意されています。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

5 **[HP Instant Share]** タブをクリックします。

6 [コントロール] 領域から、**[HP Instant Share を開始]** をクリックします。

[インターネットに接続] 画面が作業領域に表示されます。

7 [HP Instant Share] を使用するには、下記の **hp instant share を hp ディレクタから開く** の手順 6 に進んでください。

hp instant share を hp ディレクタから開く

ここでは、HP Instant Share の電子メール サービスの使用方法について説明します。ここでは写真も画像も、画像として説明します。HP ディレクタの使用方法の詳細については、ソフトウェアに添付されているオンライン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。

1. **[HP ディレクタ]** を開きます。
2. [HP ディレクタ] から、**[HP ギャラリ]** をクリックします。
   [HP フォト イメージング ギャラリ] が表示されます。
3. 画像が保存されているフォルダから、画像を選択します。
   注意： 詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。
4. **[HP Instant Share]** タブをクリックします。
5. [コントロール] 領域から、**[HP Instant Share を開始]** をクリックします。
   [インターネットに接続] 画面が作業領域に表示されます。
6. **[次へ]** をクリックします。
   [簡単セットアップ - 地域と使用条件] 画面が表示されます。
7. リストからお住まいの国または地域を選択します。
8. **[サービス条件]** を読み、**[同意する]** ボックスをチェックして **[次へ]** をクリックします。
   [HP Instant Share サービスを選択します] 画面が表示されます。
9. **[HP Instant Share E メール]** を選択 : 電子メールで写真を送信します。
10. **[次へ]** をクリックします。
11. [HP Instant Share E-Mail の作成] 画面で、**[送信先]**、**[差出人]**、**[件名]**、および **[メッセージ]** フィールドを記入します。
    注意： 電子メールのアドレス帳を開いて利用するには、[アドレス帳] をクリックして HP Instant Share に登録して HP パスポートを入手します。
    注意： 電子メールを複数のアドレスに送信するには、[複数の受信者にメールを送る方法] をクリックしてください。
12. **[次へ]** をクリックします。
    [キャプションの追加] 画面が表示されます。
13. デジタル画像のタイトルを入力して、**[次へ]** をクリックします。
    画像が HP Instant Share サービスのサイトにアップロードされます。
    画像がアップロードされたら、[写真がメールされました] 画面が表示されます。
    この電子メールは、画像を 60 日間保存するセキュアな Web ページへのリンク先を表示して送信されます。
14. **[完了]** をクリックします。
    HP Instant Share の Web サイトがブラウザに表示されます。
    このサイトから画像を選択して、いくつかの処理オプションを選択できます。

hp psc で写真または画像を送信する (Macintosh)

ご使用の HP PSC を Macintosh に接続している場合、電子メール アドレスのある人なら誰にでも簡単に写真を送信できます。[HP ギャラリ] から [電子メール] をクリックすると、コンピュータにインストール済みの電子メール アプリケーションから電子メール メッセージを作成できます。[HP ディレクタ] から、[HP ギャラリ] を開きます。詳細については、オンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**の **hp イメージング ギャラリ** セクションを参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 179 ページの 「[E メール] ボタンの使用」
- 179 ページの 「hp instant share の [フォト メニュー] オプションの使用」
- 180 ページの 「スキャンした画像の使用」
- 180 ページの 「hp ディレクタから電子メール オプションを開く」

[E メール] ボタンの使用

HP PSC から [E メール] ボタンを押すと、電子メール アドレスのある人なら誰にでも簡単に写真を送信できます。詳しくは、53 ページの 「メモリ カードの使用」を参照してください。

1 送信する写真を見つけ、**[OK]** を押してそれを選択します。
2 **[E メール]** を押します。
選択した写真が HP PSC から Macintosh 上の電子メール プログラムに送信されます。その後、コンピュータの画面に表示されるプロンプトに従うと、その写真を電子メールの添付ファイルとして送信することができます。詳細については、オンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**の **hp イメージング ギャラリ** セクションを参照してください。
注意 : 選択した写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されていることを確認します。万が一選択した写真と違っていても、このディスプレイに表示されている写真が HP ギャラリに送信されます。

hp instant share の [フォト メニュー] オプションの使用

電子メール アドレスのある人になら誰にでも写真を送信することによって、家族や友人と写真を共有できます。

1 メモリ カードから写真を選択します。
詳しくは、53 ページの 「メモリ カードの使用」を参照してください。
2 フロント パネルから、**[フォト]** を押し、**[9]** を押します。
その写真が、コンピュータの [HP ギャラリ] に表示されます。
注意 : 選択した写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されていることを確認します。万が一選択した写真と違っていても、このディスプレイに表示されている写真が HP ギャラリに送信されます。
3 **[電子メール]** をクリックします。
Macintosh で電子メール プログラムが開きます。
この後、コンピュータ 画面上の指示に従いながら、写真を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

スキャンした画像の使用

画像のスキャン方法については、85 ページの 「スキャン機能の使用」を参照してください。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を置きます。
2 **[スキャン]** を押します。
   スキャンの プレビュー画像がコンピュータの [HP スキャン] ウィンドウに表示されます。ここから編集が行えます。
   プレビュー画像の編集について詳しくは、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。
3 **[HP スキャン]** ウィンドウから、プレビュー画像に必要な編集を行います。編集が終了したら、**[適用]** をクリックします。
   HP PSC からスキャン内容が HP ギャラリに送信され、その画像が自動的に開かれて表示されます。
4 スキャンした画像の編集が終了したら、それを選択します。
   注意： HP ギャラリには、画像を編集して目的どおりに編集できるツールが多数用意されています。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。
5 **[電子メール]** をクリックします。
   Macintosh で電子メール プログラムが開きます。
   コンピュータ 画面上の指示に従いながら、画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

hp ディレクタから電子メール オプションを開く

1 **[HP ディレクタ]** を開き、**[HP ギャラリ]** をクリックします (OS 9 の場合)。
   または
   ドックから **[HP ディレクタ]** をクリックし、**[HP ディレクタ]** メニュー (OS X の場合) の **[ソフト]** セクションから **[HP ギャラリ]** を選択します。
   [HP フォト イメージング ギャラリ] が開きます。
2 画像を選択します。
   詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン **hp フォト イメージング ヘルプ**を参照してください。
3 **[電子メール]** をクリックします。
   Macintosh で電子メール プログラムが開きます。
   コンピュータ 画面上の指示に従いながら、画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

hp instant share への登録が必要な理由 (Windows の場合)

直接接続の HP PSC 2550 で、[アドレス帳] の使用を選択した場合に必要になるのは HP Instant Share のユーザ登録だけです。ユーザー登録は、HP の製品登録とはまったく別のログオン手続きで、HP パスポートインフラストラクチャによって行われます。

HP Instant Share の [アドレス帳] で電子メール アドレスを保存して送信先リストを作成するよう選択すると、登録を行うようメッセージが表示されます。HP Instant Share 電子メールをアドレス指定する場合、[アドレス帳] を設定して [アドレス帳] を開くには、まず登録が必要です。

16 hp instant share のネットワーク設定と使用

ネットワークに接続した HP PSC 2550 の HP Instant Share を使用すると、写真を簡単に送信して家族や友人に見せることができます。写真を撮るか画像をスキャンしたら、まず写真か画像を選択します。次に、お使いのデバイスのカラー グラフィックス ディスプレイ上で簡単なメニューを使用し、写真に 送り先 のタグを付けます。このタグには、E メール アドレスか、E メールの配布リストが含まれます。-- また、(お住まいの国や地域により異なりますが) オンライン フォト アルバムや、オンライン写真仕上げサービスに写真をアップロードすることもできます。

HP Instant Share を使用すると、いつでも写真を家族や友人に見てもらうことができます。今までのように大量にダウンロードしたり、画像サイズが大きすぎて開けないということはありません。E-メールに写真のサムネイル画像を添付して送信するのですが、これに安全な Web ページへのリンクが示されており、このリンクから家族や友人に写真を簡単に表示、共有、印刷、保存してもらうことができます。

コンピュータに保存した写真を送ることもできます (Windows のみ)。HP PSC 2550 (HP PSC) に付属する HP フォト イメージング ディレクタ (HP ディレクタ) ソフトウェアから HP Instant Share にアクセスするだけです。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 181 ページの 「始める前に」
- 182 ページの 「hp instant share の使用 - 5 段階の簡単な操作」
- 188 ページの 「ネットワーク構成ページの印刷」
- 188 ページの 「hp instant share への登録が必要な理由」

始める前に

HP PSC で HP Instant Share を使用するには、次のものが必要です。

- インターネット サービス プロバイダ (ISP) を経由したインターネットへのアクセス。
- ローカル エリア ネットワーク。
- ネットワークに接続された HP PSC。

また、HP Instant Share サーバーへの接続を可能にするため、HP PSC で次のネットワーク設定が必要です。

- DNS IP アドレス。
- 完全なプロキシ名か IP アドレス (インターネットへのアクセスにプロキシを使用している場合)。
- プロキシ サーバーのユーザー名とパスワード (プロキシで認証が必要な場合)。

hp instant share の使用 - 5 段階の簡単な操作

HP Instant Share は、HP PSC で以下のように簡単に使用できます。

1 HP Instant Share に登録します。
2 HP PSC にフォト メモリ カードを挿入し、送信する写真を 1 枚か複数枚選択します。
3 HP PSC のフロント パネルから **[E メール]** ボタンを押します。-
4 メールの送り先 を **[電子メール一覧]** から選択します。
5 メッセージを送信します。

HP Instant Share の使用方法について詳しくは、以下の手順を参照してください。

- 182 ページの 「hp instant share の登録 （Windows）」
- 184 ページの 「hp instant share の登録 （Macintosh）」
- 186 ページの 「[E メール] ボタンの使用-」
- 186 ページの 「hp instant share の [フォト メニュー] オプションの使用」
- 187 ページの 「hp instant share の [スキャン メニュー] オプションの使用」
- 187 ページの 「hp instant share の送り先の編集または追加」
- 187 ページの 「hp instant share を hp ディレクタから開く」

注意： HP Instant Share をお使いになるには、コンピュータからインターネットに接続できる状態にしてください。AOL または CompuServe をご使用の場合は、HP Instant Share を使用する前にインターネット サービス プロバイダに接続しておいてください。

hp instant share の登録 （Windows）

HP Instant Share の登録は、インストール ソフトウェアの最後でオプションが表示されたときに行うか、お使いのコンピュータの HP ディレクタで行います。このセクションでは、特に HP ディレクタから HP Instant Share の E-メール サービスに登録する方法について説明します。

1 インストール ソフトウェアから [HP Instant Share の登録] オプションをクリックします。

   または

   [HP ディレクタ] を開き、**[設定]** ドロップダウン メニューから **[HP Instant Share のセットアップ]** を選択します。-

   [HP Instant Share のセットアップへようこそ] 画面がブラウザに表示されます。

2 コンピュータに複数の HP PSC をインストールしている場合は、[HP Instant Share] で登録するデバイスをドロップダウン リストから選択します。-

3 **[スタート]** をクリックして [HP Instant Share のセットアップ] プログラムを開始します。

   このセットアップ プログラムは、お使いのデバイスを HP Instant Share サーバーに登録し、ユーザーを HP Instant Share に登録します。

   [インターネットに接続] 画面が表示されます。

注意： HP Instant Share を使用するには、インターネットに接続していなければなりません。

4 **[今後、この画面を表示しない]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。
[簡単セットアップ - 地域と使用条件] 画面が表示されます。-
5 ドロップダウン リストからお住まいの地域を選択します。-
6 **[使用条件]** を読み、**[同意する]** ボックスをチェックして **[次へ]** をクリックします。
[HP Passport サインイン] 画面が表示されます。-
7 **[アカウントをお持ちでない方は、ここをクリックしてください]** をクリックします。
8 **HP Passport** 認証アカウントを設定し、**[次へ]** をクリックします。
[HP Passport に登録されました] 画面が表示されます。
9 ［閉じる］をクリックます。
[HP Passport サインイン] 画面に戻ります。-
10 **HP Passport ユーザー ID** と **パスワード** を入力します。
11 **[ユーザー ID とパスワードを保存する]** チェック ボックスを選択して、ユーザー ID とパスワードを保存します。
12 **[次へ]** をクリックします。
[Instant Share の送り先のセットアップ] 画面が表示されます。
お使いのデバイスが 送り先 がすでにインストールされた状態で出荷されている場合は、画面左の [共有メニューでの現在の送り先] リストにそれらが表示されます。
13 送り先 をリストに追加するには、**[作成]** をクリックします。
[HP Instant Share サービスを 1 つ選択してください。] 画面が表示されます。
14 **[HP Instant Share E メール]** を選択します。これで、画像や E メールの添付ファイルを HP Instant Share デバイスから直接送ることができます。画像のソースとして、フォト カード、スキャナ、キャプチャ デバイス （カメラ内のフォト カード）などを利用できます。
15 **[次へ]** をクリックします。
16 それぞれの画面で求められる各フィールドを入力することで、HP Instant Share E メール サービスに対する 送り先 をあらかじめ設定しておきます。-
17 それぞれの画面の指示に従って、登録プロセスを完了します。
セットアップ アプリケーションによって、HP Instant Share デバイス ID とパスコードがデバイスに書き込まれます。

注意： HP Instant Share の設定をまだ完了していない場合は、セットアップが済んでいないこと、また HP Instant Share がデバイスで有効になっていないことを知らせるメッセージが表示されます。

セットアップ アプリケーションが終了します。
18 ネットワーク構成ページを印刷します。
詳しくは、188 ページの 「ネットワーク構成ページの印刷」を参照してください。
19 DNS IP アドレスが記録されたことを確認します。

プロキシ サーバーを使用している場合は、サーバーの IP アドレスとポート番号が記録されたことを確認します。

情報が記録されていない場合は、次の操作を行います。

– インターネット サービス プロバイダ （ISP）から、DNS およびプロキシ サーバーの IP アドレスと、プロキシ サーバーのポート番号を入手します。（サーバーが自分のネットワーク上にある場合は、IP アドレスとポート番号をこれらのサーバーから入手します。）
– 情報を、組み込み Web サーバーに入力します。詳しくは、HP PSC 2550 の『ネットワーク セットアップ ガイド』を参照してください。

hp instant share の登録 （Macintosh）

HP Instant Share の登録は、インストール ソフトウェアの最後でオプションが表示されたときに行うか、お使いのコンピュータの HP ディレクタで行います。このセクションでは、HP Instant Share E メール サービスをインストール ソフトウェアから登録する手順について説明します。-

1. **[HP Instant Share 登録]** 画面で [HP Instant Share に登録] オプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。

   [HP Instant Share 設定アシスタントについて] 画面が表示されます。
2. 指示をよく読んでから、**[次へ]** をクリックします。

   セットアップ プログラムによって HP Instant Share 互換のデバイスがネットワークで検索され、それらが [デバイスの選択] 画面に表示されます。
3. HP Instant Share に登録するデバイスをリストから選択し、**[選択]** をクリックします。

   HP Instant Share の Web サイトにデバイスを登録できるようにするため、セットアップ プログラムが HP PSC のモデル名とシリアル番号を調べます。

   [登録に Web ブラウザを使用する] 画面が表示されます。

   ブラウザが [HP Instant Share 設定アシスタント] 画面に開きます。

   [HP Instant Share のセットアップへようこそ] 画面がブラウザに表示されます。
4. **[スタート]** をクリックして [HP Instant Share のセットアップ] プログラムを開始します。

   このセットアップ プログラムは、お使いのデバイスを HP Instant Share サーバーに登録し、ユーザーを HP Instant Share に登録します。

   [インターネットに接続] 画面が表示されます。
5. **[今後、この画面を表示しない]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。

   [簡単セットアップ - 地域と使用条件] 画面が表示されます。-
6. ドロップダウン リストからお住まいの地域を選択します。-
7. **[使用条件] を読み、[同意する]** ボックスをチェックして **[次へ]** をクリックします。

   [HP Passport サインイン] 画面が表示されます。-
8. **[アカウントをお持ちでない方は、ここをクリックしてください]** をクリックします。
9. HP Passport 認証アカウントを設定し、**[次へ]** をクリックします。

[HP Passport に登録されました !] 画面が表示されます。

10 ［閉じる］をクリックます。

[HP Passport サインイン] 画面に戻ります。-

11 **HP Passport ユーザー ID** と **パスワード** を入力します。

12 **[ユーザー ID とパスワードを保存する]** チェック ボックスを選択して、ユーザー ID とパスワードを保存します。

13 **[次へ]** をクリックします。

[Instant Share の送り先のセットアップ] 画面が表示されます。

お使いのデバイスが 送り先 がすでにインストールされた状態で出荷されている場合は、画面左の [共有メニューでの現在の送り先] リストにそれらが表示されます。

14 送り先 をリストに追加するには、**[作成]** をクリックします。

[HP Instant Share サービスを 1 つ選択してください。] 画面が表示されます。

15 **HP Instant Share E メール]** を選択します。これで、画像や E メールの添付ファイルを HP Instant Share デバイスから直接送ることができます。画像のソースとして、フォト カード、スキャナ、キャプチャ デバイス（カメラ内のフォト カード）などを利用できます。

16 **[次へ]** をクリックします。

17 それぞれの画面で求められる各フィールドを入力することで、HP Instant Share E メール サービスに対する 送り先 をあらかじめ設定しておきます。-

送り先 の作成が終了すると、[HP Instant Share の送り先のセットアップ] 画面が表示されます。

作成した 送り先 が [共有メニューでの現在の送り先] リストに表示されます。

18 **[終了]** をクリックします。

セットアップ アプリケーションによって、HP Instant Share デバイス ID とパスコードがデバイスに書き込まれます。

[HP Instant Share 設定アシスタントの終了] 画面が表示されます。

注意 : HP Instant Share の設定をまだ完了していない場合は、セットアップが済んでいないこと、また HP Instant Share がデバイスで有効になっていないことを知らせるメッセージが表示されます。

19 **[終了]** をクリックします。

セットアップ アプリケーションが終了します。

20 ネットワーク構成ページを印刷します。

詳しくは、188 ページの 「ネットワーク構成ページの印刷」を参照してください。

21 DNS IP アドレスが記録されたことを確認します。

プロキシ サーバーを使用している場合は、サーバーの IP アドレスとポート番号が記録されたことを確認します。

情報が記録されていない場合は、次の操作を行います。

– インターネット サービス プロバイダ (ISP) から、DNS およびプロキシ サーバーの IP アドレスと、プロキシ サーバーのポート番号を入手します。(サーバーが自分のネットワーク上にある場合は、IP アドレスとポート番号をこれらのサーバーから入手します。)
– 情報を、組み込み Web サーバーに入力します。詳しくは、HP PSC 2550 の『ネットワーク セットアップ ガイド』で構成について説明している章を参照してください。

[E メール] ボタンの使用-

HP PSC の [E メール] ボタンを押すと、電子メール アドレスのある人なら誰にでも簡単に写真を送信できます。- 詳しくは、53 ページの 「メモリ カードの使用」を参照してください。

1 フォト メモリ カードから写真を 1 枚か複数枚選択します。
2 **[E メール]** を押します。
 [E メール リスト] が HP PSC のカラー グラフィックス ディスプレイに表示されます。
 [E メール リスト] は、**[共有メニュー]** の電子メールの簡略版で、[送り先] だけで構成されています。
3 写真の送信先となる [送り先] の番号に対応するフロント パネル上の番号を押します。
 HP PSC が写真を HP Instant Share サーバーに送信し、また電子メール メッセージを写真へのリンクを持つ受取人に送信します。
 注意 : 送信する前に電子メールのメッセージを変更するか、[送り先] をさらに追加する場合は、お使いのコンピュータから [HP ディレクタ] を開きます。[設定] から [HP Instant Share のセットアップ] を選択します。HP Passport のユーザー名とパスワードを使用して HP Instant Share にログインし、送り先 を編集するか追加します。

hp instant share の [フォト メニュー] オプションの使用

メモリ カードの使用については、53 ページの 「メモリ カードの使用」を参照してください。

1 メモリ カードが HP PSC の適切なスロットに挿入されていることを確認してください。
2 写真を 1 枚以上選択します。
3 **[フォト]** を押し、次に **[9]** を押します。
 [フォト メニュー] が表示されますので、[HP Instant Share] を選択します。
 [共有メニュー] が表示されます。このメニューには、HP Instant Share で設定した電子メール、オンライン フォト アルバム、写真仕上げサービスなどの送り先 が表示されます。
4 写真の送信先となる HP Instant Share の 送り先 の番号に対応するフロント パネル上の番号を押します。
 HP PSC は選択した写真を、その送り先へ送信します。

hp instant share の [スキャン メニュー] オプションの使用

画像のスキャン方法については、85 ページの 「スキャン機能の使用」を参照してください。

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
2 まだ点灯していなければ、**[スキャン]** ボタンを押してください。
  [スキャン メニュー] が表示され、オプションが一覧表示されます。
3 [HP Instant Share] を選択するには、**[2]** を押してください。
  [共有メニュー] が表示されます。このメニューには、HP Instant Share で設定した電子メール、オンライン フォト アルバム、写真仕上げサービスなどの送り先 が表示されます。
4 画像の送信先となる HP Instant Share の送り先の番号に対応するフロント パネル上の番号を押します。
  選択した画像が HP PSC によってその送り先に送信されます。

hp instant share の送り先の編集または追加

HP Instant Share の 送り先を編集したり追加する手順を次に説明します。

送り先を編集するには

1 **[HP ディレクタ]** を開きます。
2 **[設定]** から **[HP Instant Share のセットアップ]** を選択します。
  [HP Passport サインイン] 画面が表示されます。
3 **Passport** のユーザー ID と パスワードを使用して HP Instant Share にログインします。
4 **[次へ]** をクリックします。
  [HP Instant Share の送り先のセットアップ] 画面が表示されます。
5 **[共有メニューでの現在の送り先]** リストから、送り先 を選択します。
6 **[変更]** をクリックして、選択した送り先を編集します。

電子メールの送り先を作成するには

1 **[HP ディレクタ]** を開きます。
2 **[設定]** から **[HP Instant Share のセットアップ]** を選択します。
  [HP Passport サインイン] 画面が表示されます。
3 **Passport** のユーザー ID と パスワードを使用して HP Instant Share にログインします。
4 **[次へ]** をクリックします。
  [HP Instant Share の送り先のセットアップ] 画面が表示されます。
5 **[作成]** をクリックします。
6 画面の指示に従います。
7 操作が完了したら、**[この製品に保存]** をクリックします。

hp instant share を hp ディレクタから開く

HP ディレクタを使用して HP Instant Share サーバーにアクセスする場合の詳細については、175 ページの 「hp instant share の直接接続のセットアップと使用」を参照してください。

ネットワーク構成ページの印刷

ネットワーク構成ページは、HP PSC から印刷できます。構成ページは、プリント サーバーの構成、ネットワークの統計情報、その他のネットワーク設定情報に関する有用な情報を提供します。

ネットワーク構成ページを印刷する手順の詳細については、HP PSC 2550 の『ネットワーク セットアップ ガイド』で構成について説明している章を参照してください。

> 注意 : HP Instant Share の使用を予定している場合は、DNS の IP アドレスと、プロキシ サーバーの IP アドレスおよびポートを ISP から入手してください。

hp instant share への登録が必要な理由

HP PSC 2550 では、アドレス帳 の使用、送り先 の作成と保存、またはあらかじめ設定した 送り先の実行を選択した場合に、HP Instant Share のユーザー登録が求められます。ユーザー登録は、HP の製品登録とはまったく別のログオン手続きで、HP Passport セットアップ プログラムを使用して行います。

HP Instant Share の [アドレス帳] で電子メール アドレスを保存して送信先リストを作成するよう選択すると、登録を行うようメッセージが表示されます。HP Instant Share 電子メールをアドレス指定する場合、[アドレス帳] を設定して [アドレス帳] を開くには、まず登録が必要です。

送り先は、任意の HP Instant Share サービス （HP Instant Share の E メール、オンライン フォト アルバムへのアップロード、オンラインの写真仕上げサービスなどを含む）によって定義します。送り先には、あらかじめプリファレンスを適用し、また HP PSC 上で画像に直接サービスを適用できるようにするため、保存しておきます。送り先の作成を選択する場合は、まず登録プロセスを完了します。

17 トラブルシューティング情報

このセクションでは、HP PSC 2550 (HP PSC) のトラブルシューティング情報について説明します。インストールおよび設定に関する問題について詳しく説明します。動作時のトピックについては、オンライン ヘルプのトラブルシューティングの項を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 189 ページの 「インストール時のトラブルシューティング」
- 215 ページの 「動作時のトラブルシューティング」

インストール時のトラブルシューティング

このセクションでは、HP PSC のネットワーク接続、ファクスのセットアップ、ソフトウェアとハードウェアのインストール、および HP Instant Share のセットアップに関連する一般的な問題のいくつかに関して、インストールおよび設定時のトラブルシューティングのヒントについて説明します。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 190 ページの 「有線ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング」
- 191 ページの 「ワイヤレス ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング」
- 207 ページの 「ファクス セットアップ時のトラブルシューティング」
- 198 ページの 「ソフトウェアおよびハードウェアのインストール時のトラブルシューティング」
- 214 ページの 「hp instant share セットアップ時のトラブルシューティング」

有線ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング

問題	考えられる原因とソリューション
コンピュータがデバイス (HP PSC) を検出できない	• ケーブルを調べ、正しく接続されていることを確認します。 • LAN カード （NIC）が正しく設定されていることを確認します (Windows のみ)。 – 「コントロールパネル」を開きます。 – [システムのプロパティ] ダイアログ ボックスで、[ハードウェア] タブを選択します。 – [デバイス マネージャ] をクリックします。 – お使いのカードが [ネットワーク アダプタ] に表示されていることを確認します。 – お使いのカードに付属するマニュアルを参照してください。 • ネットワーク接続がアクティブになっているかチェックします。 – HP PSC のカバーにあるネットワーク ランプが点灯しているかチェックします。 ランプが青に点灯していれば、HP PSC はネットワークに接続されています。 – ネットワーク ランプが点灯していない場合は、きちんと接続されていることを確認するために、HP PSC からゲートウェイ、ルータ、ハブへのケーブル接続を確認してください。 • 電源ケーブル、HP PSC とハブまたはルータ間のケーブル、ハブまたはルータとコンピュータ間のケーブル、(該当する場合) モデムまたはインターネット接続との間のケーブルを全て確認してください。
「システム要件エラー : TCP/IP が存在しません」を受け取りました。	LAN カード （NIC）が正しく装着され、TCP/IP 用に設定されていることを確認します （Windows のみ）。 • 上記の 190 ページの 「コンピュータがデバイス (HP PSC) を検出できない」の説明を参照してください。

設定

問題	考えられる原因とソリューション
コンピュータがデバイス (HP PSC) を検出できない	HP PSC を初めてネットワークに接続するとき、HP PSC にはネットワーク上のコンピュータや他のデバイスに割り当てられているのと同じ範囲内にある IP アドレスが動的に割り当てられます。セットアップ実行中に手動でネットワーク設定を構成した場合で、しかもコンピュータに割り当てられた範囲内にない静的な IP アドレスを割り当てた場合は、コンピュータがデバイスを検出できません。 • ネットワークで使用されている範囲内の静的 IP アドレスを割り当てるか、DHCP または AutoIP を使用してアドレスを割り当ててください。 静的 IP アドレスの使用は推奨されません。

問題	考えられる原因とソリューション
ルータなしにケーブル モデムを使用している	ケーブル モデムを持つ PC を使用している場合で、他のコンピュータ用に独立した LAN があり、しかも DHCP かルータを使用していない場合は、AutoIP を使用して IP アドレスを割り当てます。静的 IP アドレスは割り当てないでください。 • ケーブル モデムがある PC には、インターネット サービス プロバイダ（ISP）によって静的もしくは動的 IP アドレスが割り当てられます。 • それ以外のコンピュータと HP PSC には、AutoIP を使用して IP アドレスを割り当てます。

ワイヤレス ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング

問題	考えられる原因とソリューション
コンピュータがデバイス (HP PSC) を検出できない	ケーブルが正しく接続されていないか破損している： • ケーブルを調べ、正しく接続されていることを確認します。 • ネットワーク接続がアクティブになっているかチェックします。 – HP PSC のカバーにあるネットワーク ランプが点灯しているかチェックします。 ランプが青に点灯していれば、HP PSC はネットワークに接続されています。 – ネットワーク ランプが点灯していない場合は、きちんと接続されていることを確認するために、HP PSC からゲートウェイ、ルータ、ハブへのケーブル接続を確認してください。 • 電源ケーブル、HP PSC とハブまたはルータ間のケーブル、ハブまたはルータとコンピュータ間のケーブル、(該当する場合) モデムまたはインターネット接続との間のケーブルを全て確認してください。
コンピュータがデバイス (HP PSC) を検出できない	LAN カード（NIC）が正しく設定されていない（Windows のみ - Ad-Hoc モード）： • **[マイコンピュータ]** を右クリックします。 • [システムのプロパティ] ダイアログ ボックスで、**[ハードウェア]** タブを選択します。 • **[デバイス マネージャ]** をクリックします。 • お使いのカードが [ネットワーク アダプタ] に表示されていることを確認します。 • NIC が TCP/IP 用に設定されていることを確認します。 • お使いのカードに付属するマニュアルを参照してください。
インストール後に Ethernet ケーブルを取り外すとデバイスをネットワークに接続できない	• アクセス ポイント / ゲートウェイで MAC フィルタ機能が有効になっている場合は、HP PSC の MAC アドレスをアクセス ポイントに入力します。これで、HP PSC をワイヤレス ネットワークに接続できるはずです。

問題	考えられる原因とソリューション
「システム要件エラー : TCP/IP が存在しません」が発生した	• LAN カード （NIC）が正しく装着され、TCP/IP 用に設定されていることを確認します （Windows のみ）。 – 190 ページの 「コンピュータがデバイス (HP PSC) を検出できない」の説明を参照してください。
インストール中に [プリンタが見つかりません] 画面が表示される	• HP PSC が、CAT-5 Ethernet ケーブルでネットワークと接続されていることを確認します。 • HP PSC の電源がオンになっていることを確認します。 • HP PSC の内部ネットワーク コンポーネントが工場出荷時のデフォルト設定になっていることを確認します。プリント サーバーを以前に設定したことがある場合は、工場出荷時のデフォルト設定にリセットしなければならないことがあります。 – 通信モード : ad-hoc （ピア ツー ピア） – ネットワーク名 (SSID): hpsetup – 暗号化 : 無効 ネットワーク構成ページを印刷することで、プリント サーバーの設定をチェックできます。ネットワーク構成ページを印刷する場合の詳細については、HP PSC 2550 の『ネットワーク セットアップ ガイド』で構成について説明している章を参照してください。 **注意 :** 工場出荷時のデフォルト設定を復元する場合の詳細については、HP PSC 2550 の『ネットワーク セットアップ ガイド』で構成について説明している章を参照してください。 • HP PSC とコンピュータをより近くに移動してください。コンピュータとプリンタの距離が離れている場合は、距離を縮めます。可能な場合、コンピュータとプリント サーバーの間の経路の障害を取り除き、無線による干渉を最小限にしてください。
インストール時にネットワーク名を決定できないか確認できない	セットアップ プログラムが複数のネットワークを検出したか、アクセス ポイントからネットワーク名を読み取れなかったか確認できなかった可能性があります。 • [ネットワーク名を選択] 画面で次の操作を行います。 – 新しい SSID エントリを入力します。**[ワイヤレス ネットワーク名 （SSID）]** を入力することを選択した場合は、**[通信モード]** （[Ad-Hoc] か [インフラストラクチャ]）も選択しなければなりません。 または 既存のネットワーク名をリストから選択します。リストには、内部ネットワーク コンポーネントのブートアップ時に検出された SSID が最大 12 まで表示されます。 **注意 :** SSID エントリは大文字と小文字を区別し、またスペースを含む最大 32 の英数字で構成できます。ネットワーク名フィールドには、必ず入力しなければなりません。

問題	考えられる原因とソリューション
インストールの最後で検証に失敗する	拡張された暗号化フォーム（WPA や EAP-PSK などの動的暗号化）を使用しています。 • 上に記した暗号化の方法は、組み込み Web サーバー経由で入力しなければなりません。詳しくは、HP PSC の『ネットワーク セットアップ ガイド』を参照してください。 動的暗号化では、それぞれのデバイスが異なるキーを持ち、またすべてのキーが頻繁に変更されます。動的暗号化では、侵入者がリバース エンジニアリングを行う前にキーが変更される可能性が高いため、侵入者が解読することはより困難です。
インストールの最後で検証に失敗する	SSID か WEP キーが間違って設定されている可能性があります。 1 Ethernet ケーブルが接続された状態で、ネットワーク構成ページを印刷します。 注意： ネットワーク構成ページを印刷する場合の詳細については、HP PSC 2550 の『ネットワーク セットアップ ガイド』で構成について説明している章を参照してください。 2 構成ページに示されるネットワーク SSID と WEP キーが、ワイヤレス ネットワークで使用しているものと一致していることを確認します。 3 いずれか一方、または両方が間違っている場合は、構成ページから入手した URL かデバイス IP アドレスを、Web ブラウザの [アドレス] フィールドに入力します。 HP PSC EWS の [ホーム] ページが表示されます。 4 **[ネットワーク]** タブを選択します。 5 **[ネットワークの設定]** ページで、**[ワイヤレス]** タブを選択します。 6 該当する部分（**[ネットワーク名]** および **[暗号化]**）に正しい値を入力します。 7 **[適用]** をクリックします。

問題	考えられる原因とソリューション
インストールの最後で検証に失敗する	ネットワークで複数の WEP キーが使用されていますが、送信に間違ったキーが選択されました。 **1** ネットワーク構成ページを印刷します。 **注意：** ネットワーク構成ページを印刷する場合の詳細については、HP PSC 2550 の『ネットワーク セットアップ ガイド』で構成について説明している章を参照してください。 **2** ネットワーク構成ページから入手した URL か デバイス の IP アドレスを、Web ブラウザの [アドレス] フィールドに入力します。 EWS [ホーム] ページに HP PSC 2550 の [デバイス情報] が表示されます。 **3** **[ホーム]** ページのナビゲーション メニューから、**[言語の選択]** をクリックします。 **4** ドロップダウン ボックスを使用して、Web インタフェース用の言語を選択します。- **5** **[ネットワーク]** タブをクリックします。 [ネットワーク設定] ページが表示されます。[全般] タブが開きます。 **6** **[ワイヤレス]** タブをクリックします。 **7** **[暗号化]** 領域まで下方向にスクロールします。この領域で、**[静的 （WEP）]** 暗号化パラメータを追加できます。 **8** **[有効]** を選択します。 **9** **[静的 （WEP）]** に、ネットワークで使用されている WEP キーを入力します。 静的暗号化では、ネットワーク上の全デバイスに対して同じキーが使用され、またキーは長期間変更されません。 **10** 送信データの暗号化に使用するキーを選択します。（インストーラは、デフォルトとして Key 1 を割り当てます。） **11** **[適用]** をクリックします。 **12** インストールが停止した場合は、HP PSC のソフトウェア CD-ROM を再起動します。

問題	考えられる原因とソリューション
インストールの最後で検証に失敗する	インストール ソフトウェアがサポートしていない拡張認証プロトコル （LEAP、PEAP、EAP − MD5、EAP-TLS、EAP-TTLS など）を使用しています。 **1** ネットワーク構成ページを印刷します。 **注意：** ネットワーク構成ページを印刷する場合の詳細については、HP PSC 2550 の『ネットワーク セットアップ ガイド』で構成について説明している章を参照してください。 **2** ネットワーク構成ページから入手した URL か デバイス の IP アドレスを、Web ブラウザの [アドレス] フィールドに入力します。 EWS [ホーム] ページに HP PSC 2550 の [デバイス情報] が表示されます。 **3** **[ネットワーク]** タブをクリックします。 [ネットワーク設定] ページが表示されます。[全般] タブが開きます。 **4** **[ワイヤレス]** タブをクリックします。 **5** **[認証]** 領域までスクロールし、**[拡詳細設定]** をクリックします。 [ワイヤレス通信モード] ページが表示されます。 **6** **[インフラストラクチャ]** を選択して **[次へ]** をクリックします。 [ワイヤレス ネットワーク名] ページが表示されます。 **7** 検出されたネットワークのリストからネットワーク名 （SSID）を選択するか、新しいワイヤレス ネットワークの名前を入力します。 **8** **[次へ]** をクリックします。 [ワイヤレス認証] ページが表示されます。 **9** **[EAP/802.1x]** か **[EAP/PSK]** を選択します。 **10** **[EAP/802.1x]** を選択した場合は、お使いのデバイスがワイヤレス ネットワークで使用する認証方法を選択し、認証サーバーの情報を入力し、認証サーバーで HP PSC を検証し、必要な証明書を設定し、サーバーの設定を入力してください。 または **[EAP/PSK]** を選択した場合は、事前共有キーの生成にソフトウェアが使用する **[パス フレーズ]**（スペースを含んで 8 ～ 63 文字の長さ）を入力します。- **注意：** このネットワーク上のすべてのデバイスは、同じパス フレーズを使用しなければなりません。 **11** 画面の指示に従って、選択した認証と暗号化のタイプに HP PSC を設定します。 **12** 設定が終了したら、**[次へ]** をクリックします。 [構成の確認] ページが表示されます。 **13** 情報が正しいことを確認し、**[完了]** をクリックします。

問題	考えられる原因とソリューション
セットアップが失敗する	デバイスがアクセス ポイント (インフラストラクチャ) かコンピュータ (ad-hoc) の範囲内にないため、デバイスが信号を受信していません。 • HP PSC とコンピュータをより近くに移動してください。コンピュータとプリンタの距離が離れている場合は、距離を縮めます。可能な場合、コンピュータとプリント サーバーの間の経路の障害を取り除き、無線による干渉を最小限にしてください。
セットアップが失敗する	USB 用にセットアップしたにもかかわらず、ネットワークに接続しようとしています。 1 HP PSC をローカル使用に設定してある場合は、先にこのソフトウェアを削除してください。 2 USB ケーブルを、お使いのコンピュータと HP PSC から取り外します。 3 CAT-5 Ethernet ケーブルを使用して HP PSC をネットワークに接続し、ソフトウェアをインストールします。

ワイヤレス インフラストラクチャ モードのトラブルシューティング

問題	考えられる原因とソリューション
HP PSC が WLAN を検出できない	• アクセス ポイントが自身のネットワーク名 (SSID) を発信していることを確認します。 – アクセス ポイントの『ユーザーズ ガイド』を参照し、アクセス ポイントの設定をチェックします。 – [ネットワーク名のブロードキャスト] などのオプションをオンにし、[サイレント ブロードキャスト] をオフにします。 • アクセス ポイントの電源をいったんオフにしてからオンにします。次に HP PSC 2550 ソフトウェアのセットアップ プログラムをもう一度実行します。 • アクセス ポイントと HP PSC の距離を近づけます。次に HP PSC 2550 ソフトウェアのセットアップ プログラムをもう一度実行します。 • 製造メーカーの Web サイトで、ファームウェアアップデートをアクセス ポイントについて調べます。 – ファームウェアをアクセス ポイントについてアップデートします。 – HP PSC 2550 ソフトウェアのセットアップ プログラムをもう一度実行します。

問題	考えられる原因とソリューション
HP PSC がコンピュータを検出できない	• 別のワイヤレス デバイスを使用して、ワイヤレス ネットワークが機能していることを確認します。 • HP PSC が動作していることを確認します。(詳しくは、191 ページの 「ワイヤレス ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング」を参照してください。) • HP PSC とコンピュータの IP アドレスおよびサブネット マスクが同等である (同じネットワーク上にある) ことを確認します。 • アクセス ポイントの暗号化設定を確認します。アクセス ポイントと HP PSC では、同じ暗号化のキーと設定を使用しなければなりません。詳しくは、HP PSC の『ネットワーク セットアップ ガイド』を参照してください。
コンピュータがデバイスを検出できない	• ファイアウォールを使用している場合は、HP PSC にアクセス許可を与えます。 • 試しにファイアウォールを一時的に無効にし、ファイアウォールによって HP PSC がコンピュータにアクセスできなくなっているかどうかを調べます。

ワイヤレス ad-hoc モードのトラブルシューティング

問題	考えられる原因とソリューション
HP PSC がコンピュータを検出できない	• 別のワイヤレス デバイスを使用して、ワイヤレス ad-hoc ネットワークが機能していることを確認します。 • HP PSC が動作していることを確認します。(詳しくは、191 ページの 「ワイヤレス ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング」を参照してください。) • HP PSC とコンピュータの IP アドレスおよびサブネット マスクが同等である (同じネットワーク上にある) ことを確認します。 • コンピュータのワイヤレス アダプタが自分のネットワーク名 (SSID) をブロードキャストしていることを確認します。 – HP PSC からネットワーク構成ページを印刷し、SSID を確認します。(詳しくは、HP PSC 2550 の『ネットワーク セットアップ ガイド』で構成について説明している章を参照してください。) • アクセス ポイントの暗号化設定を確認します。アクセス ポイントと HP PSC では、同じ暗号化のキーと設定を使用しなければなりません。詳しくは、HP PSC の『ネットワーク セットアップ ガイド』を参照してください。 • 製造メーカーの Web サイトで、ファームウェア アップデートをワイヤレス アダプタについて調べます。 – ファームウェアをアップデートします。 – HP PSC 2550 ソフトウェアのセットアップ プログラムをもう一度実行します。

ソフトウェアおよびハードウェアのインストール時のトラブルシューティング

ソフトウェアまたはハードウェアのインストール時に問題が検出された場合は、以下のトピックを参照して問題を解決してください。

HP PSC ソフトウェアの通常のインストール時は、以下の処理が実行されます。

- HP PSC の CD-ROM が自動的に実行される
- ソフトウェアがインストールされる。
- 一連のファイルがハード ドライブにコピーされる。
- HP PSC を接続するよう要求される。
- 緑色の OK とチェック マークがインストール ウィザードの画面に表示される。
- コンピュータを再起動するよう要求される。
- ファクス セットアップ ウィザードが実行される。
- 登録プロセスが実行される。

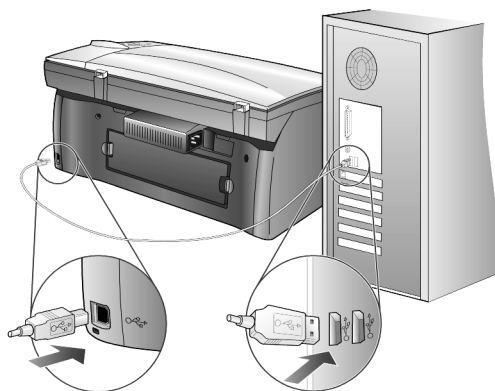
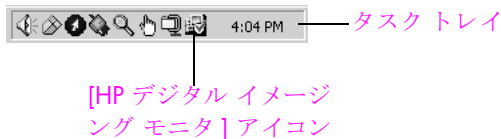
これらのいずれかの処理が実行されない場合は、インストールに問題がある可能性があります。PC に対するインストールをチェックするには、以下の事柄を確認します。

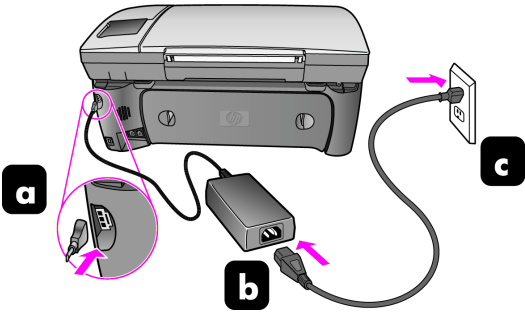
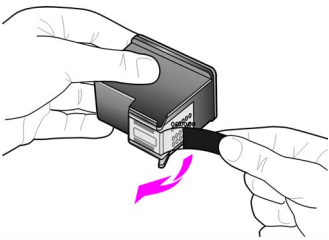
- HP ディレクタ を起動し、画像のスキャン、ドキュメント スキャン、および HP ギャラリのアイコンが表示されることを確認します。
  HP ディレクタの起動について詳しくは、37 ページの 「hp ディレクタ ソフトウェアによる hp psc のフル活用」を参照してください。アイコンがすぐに表示されない場合は、お使いのコンピュータに HP PSC が接続されるまで数分待たなければならないこともあります。または、202 ページの 「hp ディレクタのアイコンのいくつかが表示されない」を参照してください。
- [プリンタ] ダイアログ ボックスを開き、HP PSC がリスト表示されることを確認します。
- タスク トレイに HP デジタル イメージング モニタのアイコンが表示されていることを確認します。表示されていれば、HP PSC が待機中であることを示しています。

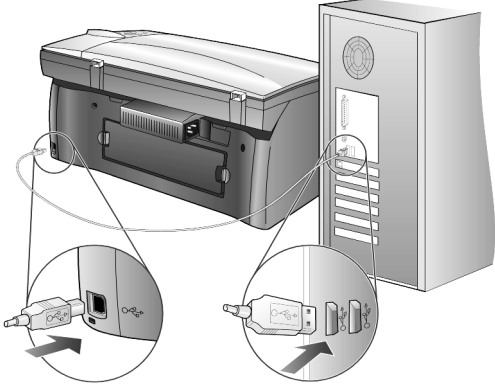
ソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング

このセクションは、HP PSC ソフトウェアのインストール時に発生する可能性がある問題を解決する際に使用してください。

問題	考えられる原因とソリューション
コンピュータの CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入したが、何も実行されない	**以下の手順に従って操作します。** **1** Windows の **[スタート]** メニューの **[ファイル名を指定して実行]** を選択します。 **2** **[ファイル名を指定して実行]** ダイアログ ボックスで、**d:\setup.exe** と入力 (CD-ROM ドライブにドライブ文字 d が割り当てられていない場合は、該当するドライブ文字を使用してください) し、**[OK]** をクリックします。
最小システム チェック画面が表示される	お使いのシステムが、ソフトウェアのインストールに必要な最小の要件を満たしていません。**[詳細]** をクリックして、具体的な問題点を確認してください。その後、問題点を修正した後、ソフトウェアをインストールしてください。

問題	考えられる原因とソリューション
赤の X が USB 接続プロンプトに表示される	 通常は、プラグ アンド プレイが成功したことを示す緑のチェック記号が表示されます。赤の X は、プラグ アンド プレイ が失敗したことを示します。 **実行する手順** **1** フロント パネル カバーがしっかりと取り付けられていることを確認した後、HP PSC の電源ケーブルをいったん抜き、再度差し込みます。 **2** USB ケーブルおよび電源ケーブルが接続されていることを確認します。 **3** USB ケーブルが正しくセットアップされていることを以下のようにして確認します。 – USB ケーブルを、いったん抜き、再度差し込みます。 – USB ケーブルを、キーボードや給電されないハブに接続してはいけません。 – USB ケーブルは、3 m 以下の長さとしてください。 – お使いのコンピュータに USB デバイスが複数個接続されている場合は、インストール中、ほかのデバイスの接続を解除した方がよい場合もあります。 **4** インストール処理を継続し、指示されたらコンピュータをリブートします。**HP ディレクタ**を起動し、必須のアイコン (**画像のスキャン**、**ドキュメント スキャン**、および **HP ギャラリ**) が表示されることを確認します。 **5** 必須のアイコンが表示されない場合は、本ソフトウェアを削除した後、202 ページの 「hp ディレクタのアイコンのいくつかが表示されない」の手順に従って再インストールしてください。

問題	考えられる原因とソリューション
不明なエラーが発生したことを示すメッセージが出力される	インストールを引き続き実行してみてください。うまくいかない場合は、インストールを中止し、再度実行してください。画面上の指示に従ってください。エラーが発生した場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。この手順の詳細については、202 ページの 「hp ディレクタのアイコンのいくつかが表示されない」を参照してください。

問題	考えられる原因とソリューション
hp ディレクタのアイコンのいくつかが表示されない	必須アイコン (画像のスキャン、ドキュメント スキャン、ファクス送信、および HP ギャラリ) が表示されない場合は、インストールが完了していない可能性があります。 インストールが未完の場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。HP PSC のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP PSC プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。 再インストールには、20 分から 1 時間程度かかります。Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法には、次の 3 つがあります。 **Windows コンピュータからアンインストールする方法 1** **1** お使いのコンピュータから HP PSC の接続を解除します。 **2** Windows のタスク バーで、**[スタート]** 、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** (XP)、**[HP]**、**[PSC All-In-One 2500]**、**[アンインストール]** の順にクリックします。 **3** 画面上の指示に従ってください。 **4** 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、**[いいえ]** をクリックします。 共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。 **5** コンピュータを再起動します。 **注意 :** コンピュータを再起動する前に HP PSC の接続を解除することが重要です。 **6** ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP PSC 2550 の CD-ROM を挿入し、画面に表示される指示に従って操作します。 **7** ソフトウェアのインストールが完了したら、HP PSC をコンピュータに接続します。[On] ボタンを使用して、HP PSC の電源をオンにします。インストール処理を継続するには、画面上の指示、および HP PSC に添付されている セットアップ ポスターの指示に従って操作してください。 HP PSC を接続し、電源を入れると、すべてのプラグ アンド プレイ イベントが完了するまでに数分待たなければならないこともあります。 ソフトウェアのインストールが完了すると、システム トレイに [ステータス モニタ] アイコンが表示されます。 **8** ソフトウェアが正しくインストールされているかどうかを確認するには、デスクトップで **HP ディレクタ** アイコンをダブルクリックしてください。HP ディレクタ に主要なアイコン ([画像のスキャン]、[ドキュメント スキャン]、[ファクス送信]、および [HP ギャラリ]) が表示されている場合、ソフトウェアは正しくインストールされています。

問題	考えられる原因とソリューション
hp ディレクタのアイコンのいくつかが表示されない *(続き)*	**Windows コンピュータからアンインストールする方法 2** この方法は、[スタート] メニューから [ソフトウェアのアンインストール] が利用できない場合に使用します。 1 Windows のタスク バーで、**[スタート]**、**[設定]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックします。 2 **[アプリケーションの追加と削除]** をダブルクリックします。 3 **HP PSC [& Officejet & OfficeJet 3.0]** を選択して、**[変更と削除]**をクリックします。 4 画面上の指示に従って操作します。 5 コンピュータを再起動します。 6 セットアップ プログラムを起動し、再インストールの指示に従います。 **Windows コンピュータからアンインストールする方法 3** この方法は、[スタート] メニューで [アンインストール] が利用できない場合に使用します。 1 HP PSC 2550 ソフトウェア セットアップ プログラムを起動します。 2 **[アンインストール]** を選択して、画面上の指示に従って操作します。 3 コンピュータを再起動します。 4 HP PSC 2550 ソフトウェアのセットアップ プログラムをもう一度実行します。 5 **[再インストール]** を起動し、画面の指示に従います。 **Macintosh コンピュータからアンインストールするには** 1 Macintosh から HP PSC の接続を解除します。 2 **[アプリケーション :HP All-in-One Software]** フォルダをダブルクリックします。 3 **[HP アンインストーラ]** をダブルクリックします。 4 画面上の指示に従って操作します。 5 ソフトウェアのアンインストールが終了したら、HP PSC を切断し、コンピュータを再起動します。 6 ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP PSC 2550 の CD-ROM を挿入します。 **注意 :** ソフトウェアの再インストール時は、セットアップ ポスターの指示に従って操作してください。ソフトウェアのインストールが完了するまで、HP PSC をコンピュータに接続してはいけません。 7 デスクトップで、CD-ROM を開いて **[hp all-in-one インストーラ]** をダブルクリックし、表示される指示に従って操作します。

問題	考えられる原因とソリューション
ファクス ウィザードが起動されない	**以下のようにファクス ウィザードを起動します。** **1** **HP ディレクタ**を起動します。詳しくは、37 ページの「hp ディレクタ ソフトウェアによる hp psc のフル活用」を参照してください。 **2** **[設定]** メニューをクリックし、**[ファクスの設定とセットアップ]** を選択した後、**[ファクス セットアップ ウィザード]** を選択します。
登録画面が表示されない	▸ Windows の [スタート] メニューにある HP フォルダの**製品登録**プログラムを起動します。つまり、**[スタート]**、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム] (XP)**、**[HP]**、**[PSC All-In-One 2500]**、[製品登録] の順にクリックします。
タスク トレイにデジタル イメージング モニタが表示されない	タスク トレイにデジタル イメージング モニタが表示されない場合は、HP ディレクタ を起動して、必須アイコンがそこに表示されるかどうかを確認します。詳しくは、202 ページの「hp ディレクタのアイコンのいくつかが表示されない」を参照してください。 タスク トレイは通常、デスクトップの右下隅に表示されます。 4:04 PM タスク トレイ [HP デジタル イメージング モニタ] アイコン

ハードウェアのインストール時のトラブルシューティング

このセクションは、HP PSC ハードウェアのインストール時に発生する可能性がある問題を解決する際に使用してください。

問題	考えられる原因とソリューション
フロント パネルに表示される言語が正しくない	言語および国 / 地域は通常、HP PSC を初めてセットアップする際に設定します。ただし、以下の手順に従うと、それらの設定値をいつでも変更できます。 1 [セットアップ] ボタンを押します。 2 [7] を押し、次に [1] を押します。 [プリファレンス] が選択されるので、次に [言語と国 / 地域の設定] を選択します。 一連の言語がリスト表示されます。スクロールするには、上下の矢印を使用します。 3 該当する言語で [OK] ボタンを押します。 4 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は [1]、[いいえ] の場合は [2] を押します。 選択した言語に適した国 / 地域を選択するよう指示されます。スクロールするには、上下の矢印を使用します。 5 キーパッドを使用し、該当する国 / 地域の 2 桁の数字を入力します。 6 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は [1]、[いいえ] の場合は [2] を押します。 7 言語と国 / 地域は、以下のようにしてセルフテスト レポートを印刷すると、確認できます。 a. [セットアップ] ボタンを押します。 b. [1] を押し、次に [4] を押します。 これで [レポートの印刷]、そして [セルフテスト レポート] が選択されます。 日本でご使用の場合、メニューの国 / 地域の設定において日本以外の国を選択すると、ファクスに関する日本の通信規定や法律に違反した構成になる恐れがありますので日本以外は選択しないでください。また、モデムが正しく機能しない場合があります。
プリント カートリッジの位置を調整するよう示すメッセージがフロント パネル ディスプレイに表示される	HP PSC では、新しいプリント カートリッジを取り付けるたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。詳しくは、128 ページの 「プリント カートリッジの位置調整」を参照してください。 注意 : 特定のカートリッジで調整を行った場合、そのカートリッジをいったん取り外して再装着すると、調整を求めるメッセージは表示されません。

問題	考えられる原因とソリューション
HP PSC の電源がオンにならない	各電源コードがしっかりと接続されていることを確認した後、HP PSC の電源がオンになるまで数秒待ちます。また、HP PSC がテーブルタップに接続されている場合は、テーブルタップの電源がオンになっていることも確認してください。
HP PSC が印刷しない	まず、プリント カートリッジがインク切れになっていないことを確認します。それについては、123 ページの 「セルフテスト レポートの印刷」を参照してください。 ただし、その前に、プリント カートリッジをチェックし、その包装が正しく取り除かれていることを確認してください。銅の接点やインク ノズルにさわらないように注意してピンクのタブをゆっくりと引き、プラスチック テープを取り除きます。 プリント カートリッジの交換が必要な場合は、125 ページの 「プリント カートリッジの交換」を参照してください。
紙詰まりやカートリッジのブロックに関するメッセージがフロント パネル ディスプレイに出力される	紙詰まりやカートリッジのブロックに関するエラー メッセージがフロント パネル ディスプレイに出力される場合は、HP PSC の内部に梱包用材料が詰まっている可能性があります。プリント カートリッジ交換用カバーを開けて、プリント カートリッジから梱包用材料などの不要なものを取り除きます。

問題	考えられる原因とソリューション
USB ケーブルが接続されていない	USB ケーブルを使ってコンピュータを HP PSC に接続するのは、簡単です。USB ケーブルの一方の端をコンピュータの背後に接続し、他方の端を HP PSC の背後に接続するだけで済みます。コンピュータの背後にある任意の USB ポートに接続できます。 注意： AppleTalk は、サポートされていません。

インストール時のその他のトラブルシューティングについて

インストール時に発生するその他の問題の詳細については、Read Me ファイルを参照してください。Windows の場合は、タスク バーで **[スタート]** ボタンを押した後、**[プログラム]**、**[HP]**、**[PSC All-In-One 2500 Series]**、**[Readme]** の順に選択すると、Read Me ファイルにアクセスできます。Macintosh の OS 9 または OS X の場合は､HP PSC ソフトウェア CD-ROM の最上位のフォルダにあるアイコンをダブルクリックすると、readme ファイルにアクセスできます。

readme ファイルには、次のような情報が含まれています。

- インストールに失敗した後、再インストール ユーティリティを使用し、HP PSC を再インストールできる状態までコンピュータを戻す方法
- Windows 98 で再インストール ユーティリティを使用して、コンポジット USB システムドライバーが見つからないエラーから復帰する方法

  ソフトウェアをインストールする前にハードウェアがインストールされている場合、このエラーが発生する可能性があります。再インストール ユーティリテを実行した後、PC を再起動して、HP PSC をコンピュータに接続する前に HP PSC ソフトウェアをインストールします。

詳細については、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/jp/hho

ファクス セットアップ時のトラブルシューティング

このセクションは、HP PSC のファクス機能をセットアップする際に発生する可能性がある問題を解決する際に使用してください。

HP PSC のファクス機能のセットアップ方法については、159 ページの「ファクスのセットアップ」を参照してください。

HP PSC のファクス機能の使用時に発生する可能性がある問題の解決方法の詳細については、ソフトウェアに付属するオンラインの **HP フォト イメージング ヘルプ**の **HP PSC 2400/2500 Series** のトラブルシューティングに関するセクションを参照してください。

<table>
<tr><th>問題</th><th>考えられる原因とソリューション</th></tr>
<tr><td>ファクスの送信および受信がうまく行えない</td><td>

• HP PSC が、「 1-LINE」というラベルの付いたポートから HP PSC と同梱されている電話コードを使って壁側のモジュラー ジャックに接続されていることを確認してください。* これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式コードとは違います。下図の 2 つのタイプのコードと、コードの終端を比較してみてください。

2 線式コード
2 線式電話コード (HP PSC と同梱) の終端部

4 線式コード
4 線式電話コードの終端部 (HP PSC に直接接続すると、ファクス使用時に問題が発生する場合があります)

* この原因 / ソリューションが当てはまるのは、2 線式電話コードが HP PSC と同梱されている次のような国 / 地域だけです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

4 線式コードが使用されている場合は、それを取り外し、HP PSC と同梱されている 2 線式コードを HP PSC (「1-LINE」というラベルが付いているポート) に接続します。このコードの接続方法の詳細については、159 ページの 「ファクスのセットアップ」を参照してください。

注意： 2 線式コードの長さが不十分で延長しなければならない場合は、電話コード延長コネクタをお求めください。HP PSC の 2 線式コードを延長コネクタの一方の端に接続し、そのコネクタの他端につないだ 4 線式コードを壁側のモジュラー ジャックに接続します。

• HP PSC が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていること、および HP PSC と電話線を共有するその他の機器および設備が正しく接続されていることを確認してください。

HP PSC の背面にある 1-LINE ポートは壁側のモジュラー ジャックとの接続に使用し、2-EXT ポートは PC モデムや留守番電話などの機器の接続に使用します。詳細および接続図については、159 ページの 「ファクスのセットアップ」を参照してください。

• 電話線分配器がファクス使用時の問題の原因となることがあります。分配器を取り除き、HP PSC を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

</td></tr>
</table>

問題	考えられる原因とソリューション
ファクスの送信および受信がうまく行えない *(続き)*	• 壁側のモジュラー ジャックに電話を接続し、発信音を確認して、壁側のモジュラー ジャックの電話線が機能していることをチェックしてください。 • 電話線の音質が悪い (雑音がある) と、ファクスの使用時に問題が発生する可能性があります。電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。ノイズが聞こえたら、HP PSC の エラー補正モード (ECM) 機能をオフにし、ファクスの操作を再度実行してみてください。詳しくは、111 ページの 「エラー補正モード (ECM) を使用する」を参照してください。また、電話会社に連絡し、お使いの回線のノイズについてご報告ください。 • HP PSC と同じ電話線を使用するその他の機器が使用中であることもあります。たとえば、内線電話が使用中の場合や、PC モデムで電子メールの操作やインターネットへのアクセスを実行していると、HP PSC のファクス機能は使用できません。 • デジタル加入者線 (DSL) の使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファクスを使用することができません。DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。DSL フィルタは、HP PSC が電話線とうまくやり取りするのを妨害するデジタル信号を除去します。DSL フィルタの接続方法については、174 ページの 「DSL 回線からファクスする」を参照してください。 • HP PSC のカラー グラフィック ディスプレイに表示されるエラー メッセージをチェックしてください。製品のエラー状態が解除されるまで、ファクスの送受信は行うことができません。エラー状態の解決方法については、ソフトウェアに付属する **hp フォト イメージング ヘルプ**にある **hp psc 2400/2500 series** のトラブルシューティング セクションの「エラー メッセージ」セクションを参照してください。 • PBX または ISDN コンバータを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートに HP PSC が接続されていることを確認してください。 一部の ISDN システムでは、特定の電話機の複数のポートを設定できます。たとえば、電話およびグループ 3 ファクス用に 1 つのポートを割り当て、他方のポートを複数の目的用に割り当てることもできます。ファクス / 電話ポートに接続しているときに問題が解決しない場合は、複数の目的用のポート (「多用途」などのラベルが貼られている場合がある) を使用してみてください。

問題	考えられる原因とソリューション
ファクスの送信は行えるが、ファクスの受信が行えない	• 応答するまでの呼び出し回数機能が設定されておらず、呼び出しが所定の回数実行されても応答しない設定になっている可能性があります。詳しくは、160 ページの 「適切なファクス セットアップ方法の見分け方」を参照してください。 • ファクスと同じ電話番号でボイスメール サービスをお使いの場合は、ファクスを手動で受信しなければなりません。自動受信することはできません。ボイスメール サービスをお使いの場合のファクスのセットアップ方法については、159 ページの「ファクスのセットアップ」を参照してください。ファクスの手動受信については、96 ページの 「ファクスの着信に手動で応答するよう hp psc を設定する」を参照してください。

問題	考えられる原因とソリューション
ファクスの送信は行えるが、ファクスの受信が行えない *(続き)*	• HP PSC と同じ電話回線上に PC モデムがある場合は、モデムのソフトウェアがファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。モデムのファクス自動受信機能がオンになっていると、そのモデムが代わりに電話に出て、送信されたファクスをすべて受信します。そのため、HP PSC は、ファクスを受信することができません。 • HP PSC と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。 – 発信メッセージが長すぎるか音量が大きすぎるため、HP PSC がファクス トーンを検出している可能性がある。この場合、送信元のファクス機がファクス トーンの送信を停止するため、ファクスが受信されない。 – HP PSC がファクス トーンを検出できるだけの充分な時間が、留守番電話の発信メッセージの後にない。この問題は、デジタル留守番電話の場合によく発生します。 以下のアクションを実行すると、これらの問題が解決される場合があります。 a. 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信してみる。ファクスの受信に成功した場合は、留守番電話が問題の原因かもしれません。 b. 留守番電話を再接続し、発信メッセージを録音し直してみる。メッセージはできるだけ短くし (10 秒以下)、録音時はやさしくゆっくりとしゃべってください。そして、ファクスを再度受信してみてください。 • ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、HP PSC の 応答呼び出し音のパターン 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。たとえば、電話会社からファクス番号にダブルの呼び出し音パターンが割り当てられている場合は、応答呼び出し音のパターンの設定値としてダブル呼び出し音が選択されていることを確認します。この設定の変更については、112 ページの 「応答呼び出し音のパターン (着信識別音) の変更」 . 短い呼び出し音パターンと長い呼び出し音パターンが交互になっている場合など、HP PSC では一部の呼び出し音パターンを認識することができません。このようなタイプの呼び出し音パターンを使っている場合に問題があるときは、電話会社に依頼し、交互型でない呼び出し音パターンを割り当ててもらってください。 • 着信識別サービスを使用していない場合は、HP PSC の 応答呼び出し音のパターン 機能に [すべての呼び出し] が設定されていることを確認してください。詳しくは、112 ページの 「応答呼び出し音のパターン (着信識別音) の変更」を参照してください。

問題	考えられる原因とソリューション
ファクスの送信は行えるが、ファクスの受信が行えない *(続き)*	• HP PSC が留守番電話や PC モデムなどのほかのタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰し、ファクスの受信時に問題が発生する可能性があります。 ほかの機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、HP PSC 以外のすべてのものを電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。ファクスの受信に成功した場合は、取り外した機器のいずれかが問題の原因です。問題の原因となっている機器が判明するまで、機器を一度に 1 つずつ取り付け、ファクスを受信してみてください。
ファクスの受信は行えるが、ファクスの送信が行えない	• 短縮ダイヤルを使用してファクス番号をダイヤルしている場合は、HP PSC によるダイヤリングが速すぎたり、早すぎたりすることがあります。短縮ダイヤルのエントリを作成し直し、ポーズをいくつか挿入してみてください。詳しくは、107 ページの「短縮ダイヤル エントリの作成」を参照してください。 • 電話回線で PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線用の番号をダイヤルしていることを確認してください。 • 受信側のファクス機に問題がある場合もあります。それを調べるには、電話からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてみてください。ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイスメール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。
ファクス トーンが留守番電話に録音されている	• ファクスと同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、159 ページの 「ファクスのセットアップ」の記述に従って、留守番電話を HP PSC に直接 (または直接接続の PC モデムを介して) 接続してください。推奨される方法で接続しないと、ファクス トーンが留守番電話に録音される場合があります。
HP PSC を接続した時点以降、電話回線上で静電ノイズが聞こえる	• HP PSC が「1-LINE」というラベルの付いたポートから HP PSC と同梱されている電話コードを使って壁側のモジュラー ジャックに接続されていない場合は、電話回線上で静電ノイズが聞こえ、ファクスがうまく機能しないことがあります。* これは特殊な 2 線式コードで、オフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。詳しくは、209 ページの 「ファクスの送信および受信がうまく行えない」を参照してください。 * この原因 / ソリューションが当てはまるのは、2 線式電話コードが HP PSC と同梱されている次のような国 / 地域だけです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。 • 電話回線分配器を使用すると、電話回線の音質が影響を受け、静電ノイズが発生する場合があります。分配器を取り除き、HP PSC を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

hp instant share セットアップ時のトラブルシューティング

HP Instant Share セットアップ時のエラー (HP Passport のアカウントや アドレス帳などの設定に関するもの) については、HP Instant Share の画面に固有のヘルプを参照してください。動作時に固有なトラブルシューティングについては、次の 動作時のトラブルシューティング を参照してください。

お使いのデバイスを HP Instant Share 用に設定し、登録と送り先のセットアップが完了した後で、デバイスを使用して HP Instant Share のサービス (電子メール、オンライン フォト アルバム、オンライン写真仕上げなど) にアクセスしようとすると、次のエラー メッセージのいずれかが表示されることがあります。

エラー メッセージ	考えられる原因とソリューション
HP Instant Share サービスは一時的にご利用になれません。	HP Instant Share サーバーは現在、メンテナンスのためにダウンしています。 • 後で再度試みてください。
HP Instant Share: 正しくないネットワークの設定	デバイスのネットワーク接続が正しく設定されていません。DNS の IP アドレスが入力されていないか検出されません。 • ネットワーク構成ページを印刷し、DNS の IP アドレスが入力されているかを確認します。 • IP アドレスが構成ページに記入されていない場合は、HP PSC の組み込み Web サーバーにアクセスしてアドレスを入力します。 • 組み込み Web サーバーにアクセスする手順の詳細については、HP PSC 2550 の『ネットワーク セットアップ ガイド』で構成について説明している章を参照してください。
HP Instant Share: 接続が確立されていない	デバイスが HP Instant Share サービスに接続できません。考えられる原因としては、デバイスが DNS サーバーにアクセスできない、DNS サーバーの故障、プロキシ サーバーが必要、接続が切断されたか失敗した、HP Instant Share サーバーの停止などがあげられます)。 • 物理的な接続がいずれも、正しく接続されていることを確認します。 • ブラウザで HP PSC の組み込み Web サーバーに接続できることを確認します。(ネットワーク構成ページを印刷し、HP PSC の IP アドレスを入手します。) • ファイアウォールを設置している場合は、お使いのデバイスとインターネットの接続を可能にするため、プロキシ サーバーの設定をデバイスに追加する必要があるかどうかをインターネット サービス プロバイダに確認します。(プロキシ サーバーの設定を入力するには、HP PSC の組み込み Web サーバーにアクセスします。)
HP Instant Share: 接続が切断された	原因としては、HP Instant Share サービスのエラー、ケーブルが接続されていない、DNS サーバーの故障などが考えられます。 • 物理的な接続がいずれも、正しく接続されていることを確認します。 • 再度試みます。

動作時のトラブルシューティング

オンライン **HP フォト イメージング ヘルプ**の **hp psc 2400/2500 series** のトラブルシューティングのセクションには、HP PSC に関連する一般的な問題の一部に対するトラブルシューティング上のヒントが記述されています。Windows コンピュータでトラブルシューティング情報にアクセスするには、HP フォト イメージング ディレクタ で [ヘルプ] をクリックした後、[トラブルシューティングとサポート] を選択します。トラブルシューティング情報は、一部のエラー メッセージに表示される [ヘルプ] ボタンを使っても表示できます。

Macintosh (OS X) でトラブルシューティング情報にアクセスするには、ドックで [HP ディレクタ (All-in-One)] アイコンをクリックし、[HP ディレクタ] メニューで [HP ヘルプ] を選択した後、[HP フォト イメージング ヘルプ] を選択し、ヘルプ ビューアで hp psc 2400/2500 series トラブルシューティング をクリックします。

インターネットにアクセス可能な場合は、次の HP Web サイトからヘルプ情報を入手することができます

www.hp.com/jp/hho

この Web サイトには、よく寄せられる質問に対する回答も掲載されています。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 215 ページの 「hp instant share のトラブルシューティング」
- 217 ページの 「フォト メモリ カードのトラブルシューティング」
- 217 ページの 「ネットワークのトラブルシューティング」

hp instant share のトラブルシューティング

HP Instant Share の基本的なトラブルシューティングについては、下記の表を参照してください。HP Instant Share の Web サイトにアクセスすると、出力されたエラー メッセージに関するオンライン ヘルプが得られます。

エラー メッセージ	考えられる原因とソリューション
HP Instant Share サービスは一時的にご利用になれません。	HP Instant Share サーバーは現在、メンテナンスのためにダウンしています。 • 接続を後で再度試みてください。
HP Instant Share: 接続が切断された	原因としては、HP Instant Share サービスのエラー、ケーブルが接続されていない、DNS サーバーの故障などが考えられます。 • 物理的な接続がいずれも、正しく接続されていることを確認します。 • 再度試みます。
送り先ファイルを読み取れない	デバイスが、サーバーから HP Instant Share の送り先の一覧を読み取ることができませんでした。 • コンピュータ上で HP Instant Share 構成ユーティリティをもう一度実行し、送り先がデバイスに割り当てられていることを確認します。(HP Instant Share 構成ユーティリティを実行するには、[HP ディレクタ] を開き、[設定] メニューから [HP Instant Share のセットアップ] を選択します。)

エラー メッセージ	考えられる原因とソリューション
指定した送り先の数が多すぎる	デバイスに割り当てた HP Instant Share の送り先が多すぎます。 • コンピュータ上で HP Instant Share 構成ユーティリティをもう一度実行し、12 を超える送り先がデバイスに割り当てられていないことを確認します。(HP Instant Share 構成ユーティリティを実行するには、[HP ディレクタ] を開き、[設定] メニューから [HP Instant Share のセットアップ] を選択します。)
送り先が作成されていない	HP Instant Share の送り先がデバイスに割り当てられていません。 • コンピュータ上で HP Instant Share 構成ユーティリティをもう一度実行し、送り先がデバイスに割り当てられていることを確認します。(HP Instant Share 構成ユーティリティを実行するには、[HP ディレクタ] を開き、[設定] メニューから [HP Instant Share のセットアップ] を選択します。)
HP Instant Share のエラー	HP Instant Share のエラーが発生しました。 • 再度試みます。
HP Instant Share のストレージ制限を超えている	許可される最大数のファイルをすでに HP Instant Share サービスにアップロードしています。 • 古いファイルがアカウントから自動的に削除されます。このエラーは、数日か数週で解消されます。
送り先に送信する権限がない	デバイスに割り当てられた HP Instant Share の 1 つ以上の送り先が、このデバイスの所有者に所属していません。 • コンピュータ上で HP Instant Share 構成ユーティリティをもう一度実行し、正しい送り先をデバイスに割り当てていることを確認します。(HP Instant Share 構成ユーティリティを実行するには、[HP ディレクタ] を開き、[設定] メニューから [HP Instant Share のセットアップ] を選択します。)

画像を送り先に送信中に問題が発生した場合は、HP Instant Share のエラーレポートが HP PSC 上で印刷されます。このレポートには、次の情報が記載されます。

- 選択したサービス（電子メール、オンライン フォト アルバム、またはオンライン写真仕上げ）
- 送り先の名前
- 問題なく送信されたファイルの数
- 送信されなかったファイルの数
- 送信されなかったファイルの名前と、送信が失敗した原因

次のリストは、考えられるファイルの問題とソリューションの一部です。

問題	考えられる原因とソリューション
ファイル形式がサポートされていない	HP Instant Share サーバーに送信されているファイルの 1 つが、サポートされているファイル形式（JPEG、GIF、BMP、PNG、および TIFF）ではありません。 • ファイルをサポートされているファイル形式に変換してから、もう一度やり直します。

問題	考えられる原因とソリューション
ファイルの破損	送信したファイルが破損しています。 • ファイルを差し替えてから、もう一度やり直します。たとえば、デジタル写真を撮り直すか、画像を再生成します。
サポートされるファイル サイズを超えている	HP Instant Share サーバーに送信中のファイルの 1 つが、サーバーの制限値である 5 MB を超えています。 • ファイルのサイズを小さくしてから、もう一度やり直します。

フォト メモリ カードのトラブルシューティング

次に示すトラブルシューティングのヒントは、Macintosh の iPhoto ユーザーにだけ適用されます。

問題	考えられる原因とソリューション
メモリ カードをネットワークに接続された HP PSC に挿入したが、iPhoto がカードを検出できない	iPhoto がメモリ カードを検出するためには、カードがデスクトップ上に表示されていることが必要ですが、ネットワークに接続された HP PSC に挿入されたメモリ カードは自動的にはデスクトップにマウントされません。フォルダから iPhoto を起動するか、別名をダブルクリックするだけでは、挿入されてはいるがマウントされていないメモリ カードをアプリケーションが検出できません。この場合は、[HP ディレクタ] を起動し、[その他のソフト] から [iPhoto] を選択します。この方法で [HP ディレクタ] から iPhoto を起動した場合は、アプリケーションがメモリ カードを検出し、自動的にマウントします。
メモリ カードにビデオ クリップが保存されているが、メモリ カードの内容をインポートした後も iPhoto にクリップが表示されない	iPhoto が処理できるのはスチル写真だけです。ビデオ クリップとスチル写真を同時に管理するには、HP ディレクタ から [画像の転送] を使用します。

ネットワークのトラブルシューティング

CIFS (Common Internet File System) サーバーは、HP PSC 内のフォト メモリ カードへのネットワーク ドライブ文字アクセスを提供します。これにより、ネットワーク上で HP PSC のフォト メモリ カードからファイルの読み取り / 書き込みが可能になります。

CIFS サーバーは、ネットワーク ドライブとしてコンピュータ上に表示されます。フォト メモリ カードからファイルの読み取り / 書き込みを行えるばかりでなく、フォルダを作成して他の情報を保存することもできます。

次の表に、CIFS サーバーの制限を示します。

問題	考えられる原因とソリューション
ファイル名を入力しようとするとエラーメッセージが表示される	CIFS サーバーは、長いファイル名をサポートしていません。すべてのファイル名は、8.3 形式で表示されます。8.3 形式で、新しいファイル名を作成するかファイル名を変更します。 • 長いファイル名をフォト メモリ カードにコピーしようとすると、次のエラー メッセージが表示されます : ファイル名をコピーできません : ファイル名、ディレクトリ名、またはボリューム ラベルの構文が間違っています。 • 長いファイル名を新しいフォルダに割り当てようとすると、次のエラー メッセージが表示されます : フォルダ ______ を作成することができません。ファイル名、ディレクトリ名、またはボリューム ラベルの構文が間違っています。 • ファイル名を長いファイル名に変更しようとすると、次のエラーメッセージが表示されます: ファイル名を変更できません : ファイル名、ディレクトリ名、またはボリューム ラベルの構文が間違っています。
ファイル名が切り捨てられる	オリジナル ファイルが長いファイル名をサポートするデバイスで作成された場合、フォト メモリ カードはそれらのファイルを保存します。しかし、CIFS サーバーがファイル名を表示するときに、8.3 形式に合わせるために 冬î を使用して名前を切り捨てます。
ファイル名が大文字になる	すべてのファイル名は大文字に変換されます。ファイル システムは、ケース インデペンデントです。つまり、大文字と小文字は区別されません。
ファイル名が文字化けする	HP PSC は、Unicode をサポートしていません。ファイル名が別のアプリケーションで Unicode を使用して作成された場合、8.3 形式ではでたらめな文字になります。
ネットワーク上の他のユーザーが私のメモリ カードにアクセスすることができる	CIFS サーバーは、認証をサポートしていません。ネットワーク上の任意のユーザーがフォト メモリ カードにアクセスすることができます。
次のようなエラーメッセージが表示される。「ファイルか項目が見つかりません。パスやファイル名が正しいことを確認してください。」	CIFS サーバーが動作していません。後で再試行してください。

索引

■ お客様サポート窓口

本製品についてのご質問は、下記の hp 窓口へお問い合わせください。

■ 日本 hp インクジェットプリンタ ホームページ

http://www.hp.com/jp/inkjet/

ホームページ内の［サポート情報／ドライバ］をクリックしてください。よくあるお問い合せの解決方法や、最新のプリンタドライバの情報を入手できます。

■ 電話サポート（カスタマ・ケア・センタ）

TEL：0570-000511（ナビダイヤル）
　　　03-3335-9800（ナビダイヤルがご利用になれない場合にご使用ください）
FAX：03-3335-8338

● 電話受付時間：平日　　　　　9:00～17:00
　　　　　　　　土曜日／日曜日　10:00～17:00
　　　　　　　　（祝祭日、年始を除く）

● FAX によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

■ 修理に関するお問い合せ（hp クイックエクスチェンジサービス）

本製品に不具合が生じた場合、まずは下記電話窓口までご連絡ください。故障と診断された場合、「hp クイックエクスチェンジサービス」によって、良品のお届けと同時に故障した製品のお取り引きに伺います。

TEL：0570-000511（ナビダイヤル）
　　　03-3335-9800（ナビダイヤルがご利用になれない場合にご使用ください）

● 電話受付時間：平日　　　　　9:00～17:00
　　　　　　　　土曜日／日曜日　10:00～17:00
　　　　　　　　（祝祭日、年始を除く）

■ E メールサポート

http://japan.support.hp.com/

ホームページ内の［e-mail サポート］をクリックしてください。

オンラインカスタマ登録のお願い

hpでは大切なお客様へ必要な情報をお知らせするため、また適切なサービス・サポートを提供していくためにカスタマ登録をお願いしております。

カスタマ登録はオンライン（http://www.hp.com/jp/inkjet/）で簡単に行うことができます。

hpカスタマ登録の主なメリット

- プリンタドライバや関連情報のお知らせ
- スムーズなアフターサポート対応
- ニュースレター配信サービス（製品の使い方、サポート情報やキャンペーン情報等を予定）

＊ hpカスタマ登録に関する情報・サービスは、ホームページに最新情報を掲載しております。

http://www.hp.com/jp/inkjet/

日本ヒューレット・パッカード株式会社
本社　〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-24
http://www.hp.com/jp

リサイクル紙に印刷しています。

シンガポールまたはマレーシアで印刷

Q3093-90200